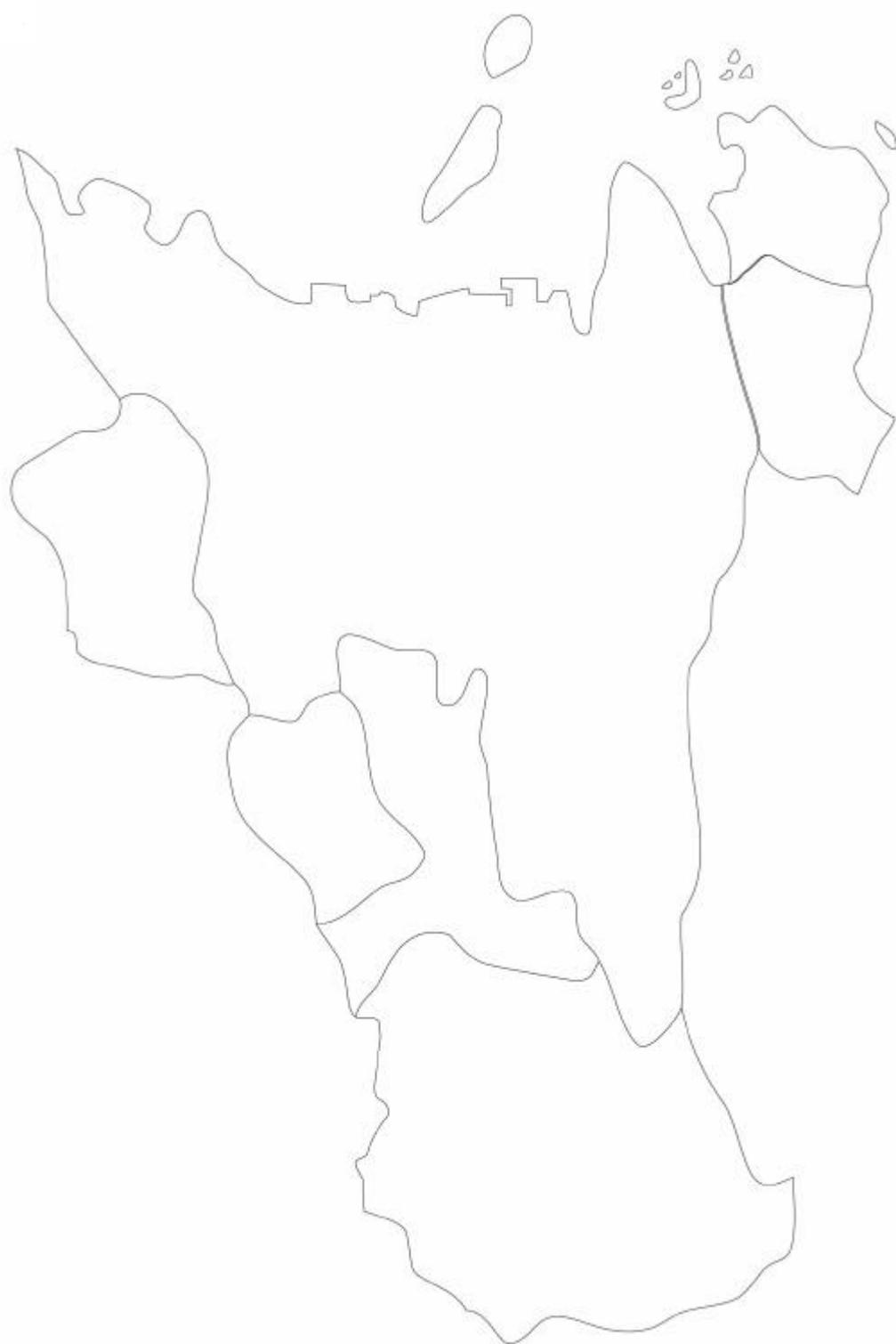


(別冊)

平成18・19年度

建設計画等実施計画



目 次

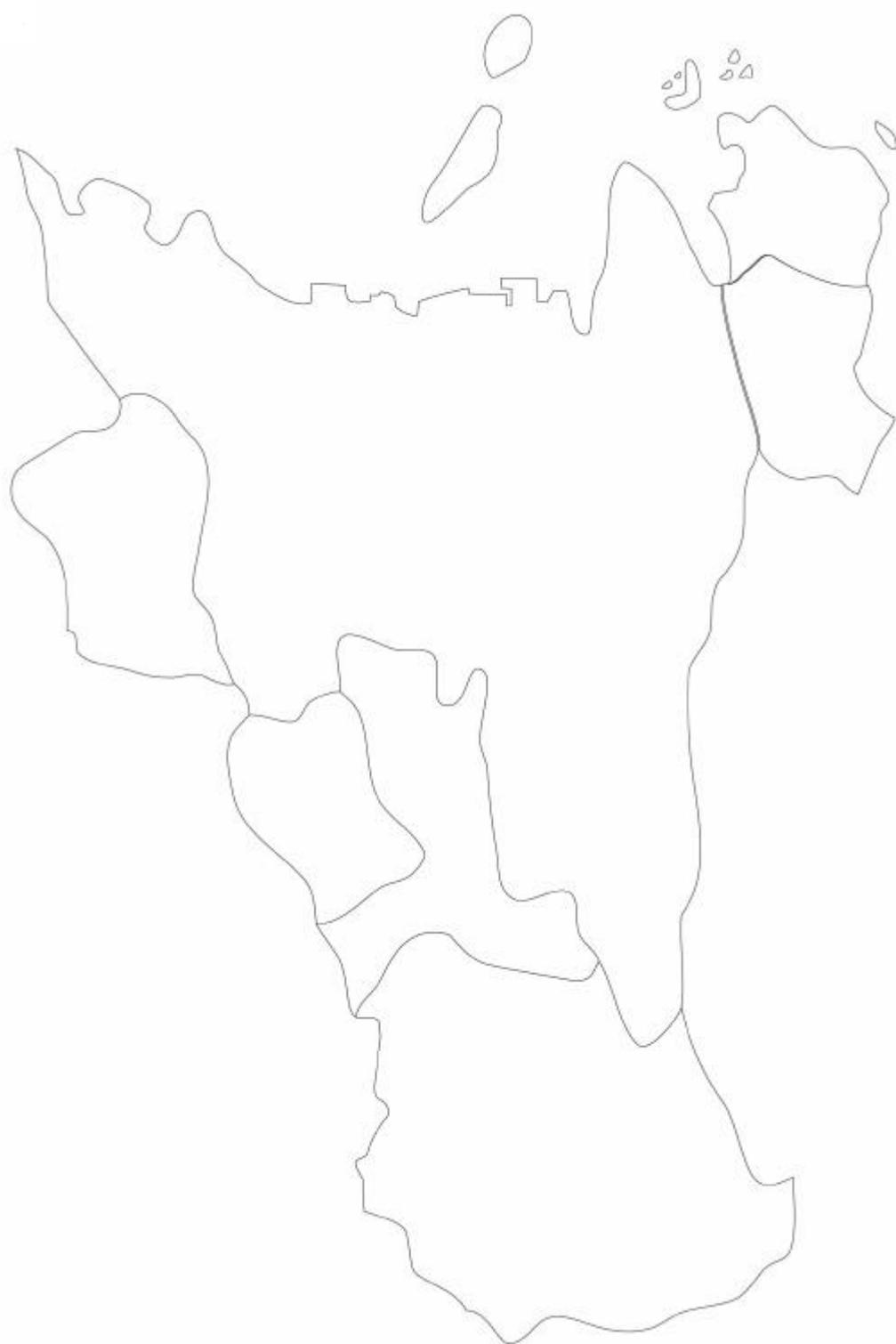
平成18・19年度建設計画等実施計画

【総論】

1 策定の趣旨	1
2 実施計画の構成	1
3 実施計画の期間	1
4 実施計画事業	1
5 実施計画事業の概算事業費	2

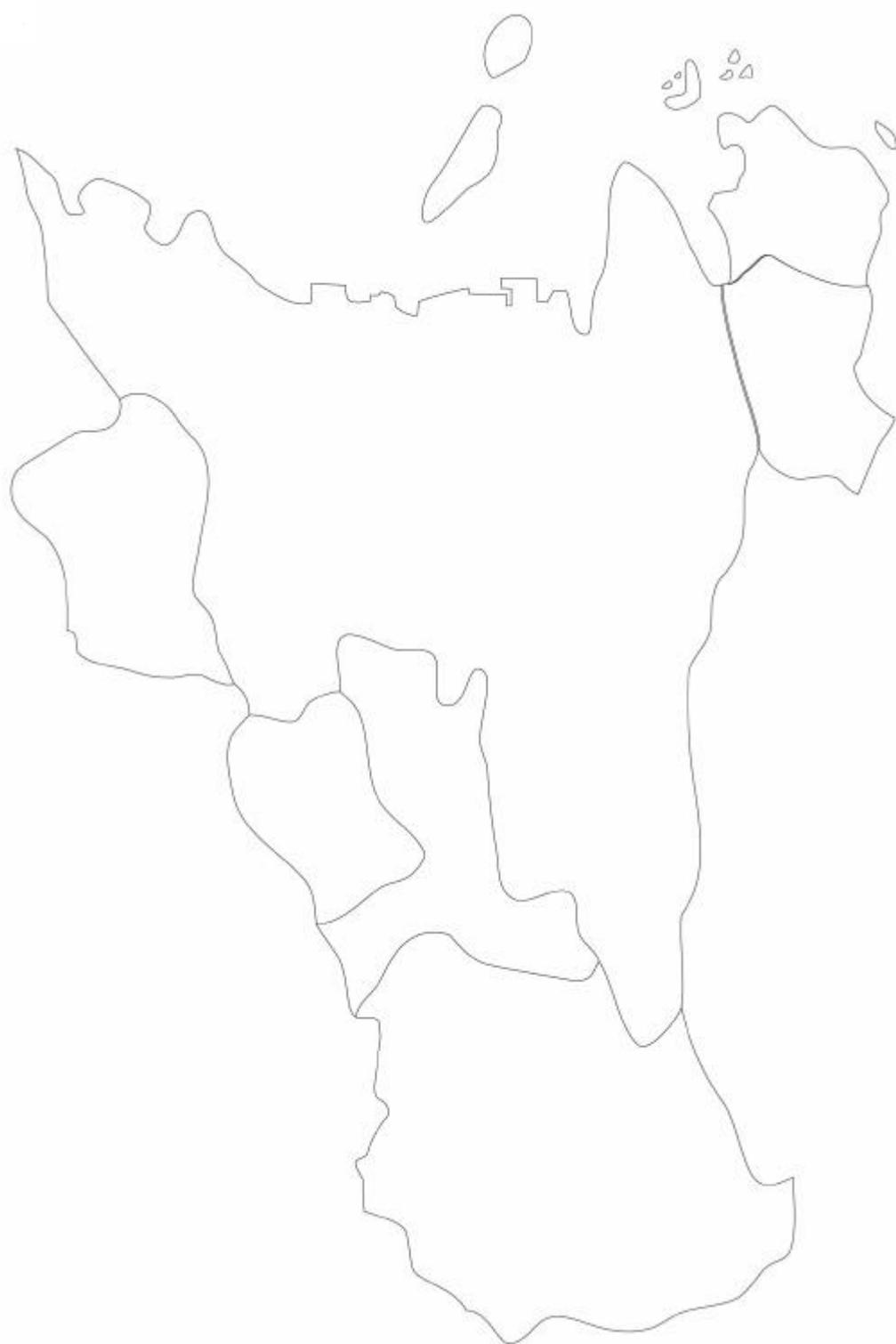
【各論】

牟礼地区の実施計画	3
庵治地区の実施計画	45
塩江地区の実施計画	83
香川地区の実施計画	117
香南地区の実施計画	155
国分寺地区の実施計画	193



平成 1 8 ・ 1 9 年度建設計画等実施計画

【総論】



1 策定の趣旨

本市は、平成17年9月26日に塩江町と、平成18年1月10日に牟礼町、庵治町、香川町、香南町、国分寺町と合併し、人口42万人余、面積375.09km²の新しい市としてスタートした。

この合併を機に、政令指定都市に準じた事務権限を有する「中核市」としての自治権を生かしながら、環瀬戸内海圏における中枢・中核都市として、さらに飛躍発展できるよう、それにふさわしい実力を備えた都市づくりを目指そうとしているところである。

こうした新しい市においては、これまでの各町のまちづくりの歩みを尊重する中で、旧町域内および市域全体の市民の一体感を醸成しながら、市民サービスを質的に低下させないよう、各合併協議会が策定した建設計画（合併基本計画）に沿って、地域特性、地域間バランスに配慮しつつ、合併後の市域全体を見据えたソフト事業、ハード事業を積極的に展開していく必要がある。

このようなことから、平成18年度・19年度の本市のまちづくり戦略プランの策定にあわせ、各町の建設計画（合併基本計画）への取り組みの明確化と、同計画の中で明らかにした本市の将来構想を展望した都市づくりの展開を図るため、平成18年度・19年度における建設計画等実施計画を定め、計画に掲げる施策・事業の計画的な実施と進行管理を行なうものである。

2 実施計画の構成

総論：各地区の建設計画等実施計画の事業総数、2年間の概算事業費総額（計画額）を示すもの。

各論：各地区の建設計画等実施計画の具体的な事業内容と、2年間の事業費（計画額）を示すもの。

3 実施計画の期間

実施計画の期間は、まちづくり戦略プランにあわせ、平成18年度および平成19年度の2か年度とする。

4 実施計画事業

実施計画において「実施計画事業」とは、計画の期間中に実施を予定する事業のうち、重点的に実施しようとする事業や中心的となるべき事業、大規模な事業、特色ある事業等で、本書に掲載している事業を指す。

実施計画事業数 234事業（各地区重複があるため、下記の地区ごとの事業数の合計とは合わない。）

牟礼地区 75事業
 庵治地区 68事業
 塩江地区 67事業
 香川地区 70事業
 香南地区 64事業
 国分寺地区 70事業

5 実施計画事業の概算事業費

各事業の事業費（計画額）については、計画段階において想定される概算事業費を掲載しているが、計画の検討や取組状況によって、実際の事業費は変更されものである。

また、本市の厳しい財政事情を踏まえ、事業費（計画額）については、より一層精査されていくものである。

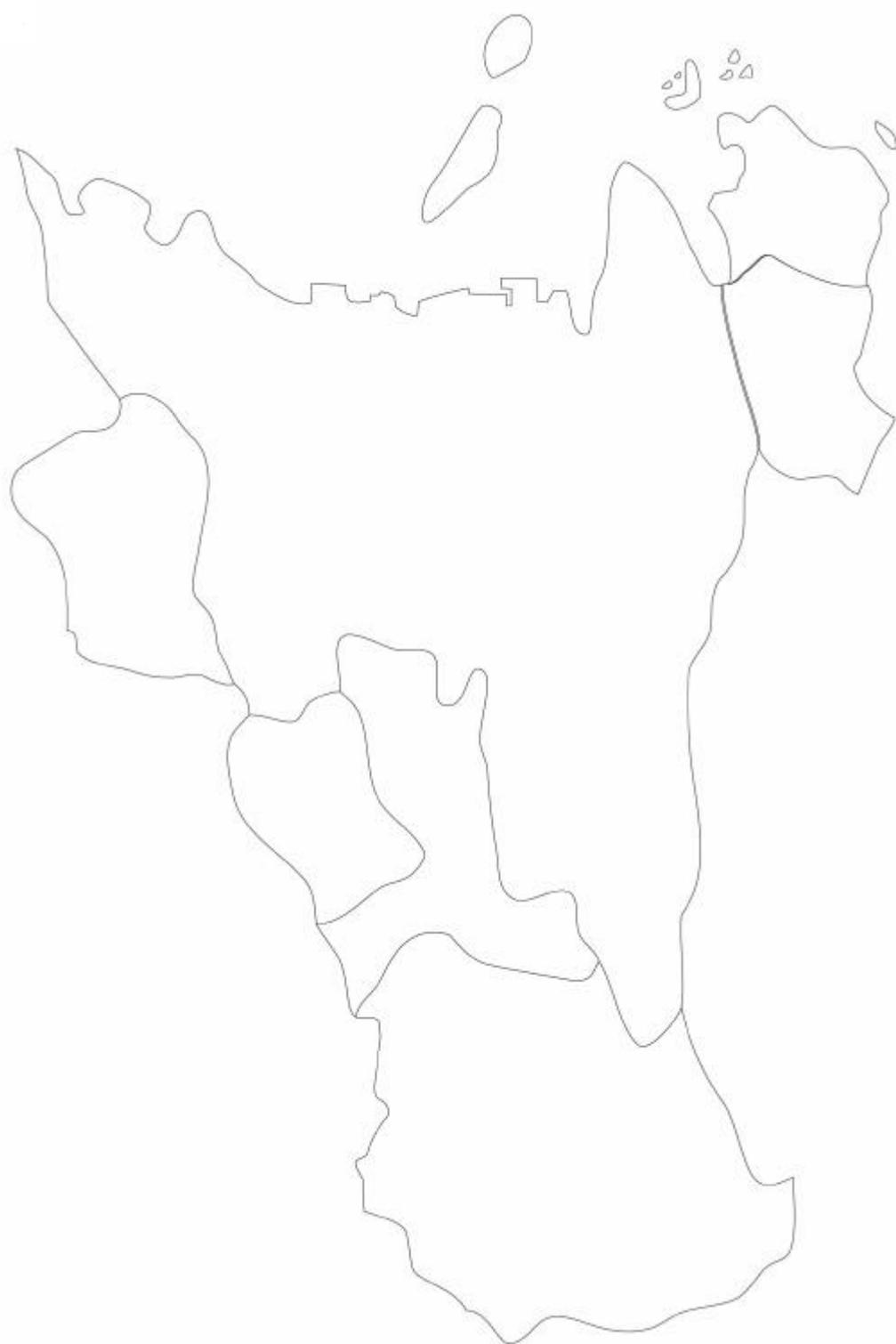
実施計画事業（234事業）の計画額を合計した概算事業費（計画額）は次のとおりである。

区 分	平成18年度・19年度概算事業費(万円)				事業費
	財 源 内 訳				
	国・県支出金	市債	その他	一般財源	
牟礼地区のみの事業	8,450	19,320	880	54,180	82,830
庵治地区のみの事業	14,960	51,380	60	35,670	102,070
塩江地区のみの事業	46,270	59,120	320	47,970	153,680
香川地区のみの事業	58,030	72,700	50	47,050	177,830
香南地区のみの事業	32,310	27,650	620	34,320	94,900
国分寺地区のみの事業	82,290	68,180	0	50,440	200,910
市全体等の事業	104,195	167,950	73,110	224,895	570,150
合 計	346,505	466,300	75,040	494,525	1,382,370

市全体等の事業とは、全市的事业および旧高松市や合併各町など、複数の地区で実施する事業で、各地区ごとに事業費を区別することができない事業を指し、それぞれの事業の事業費（計画額）のところに、「市全体」または「 地区」などと記載しているものである。

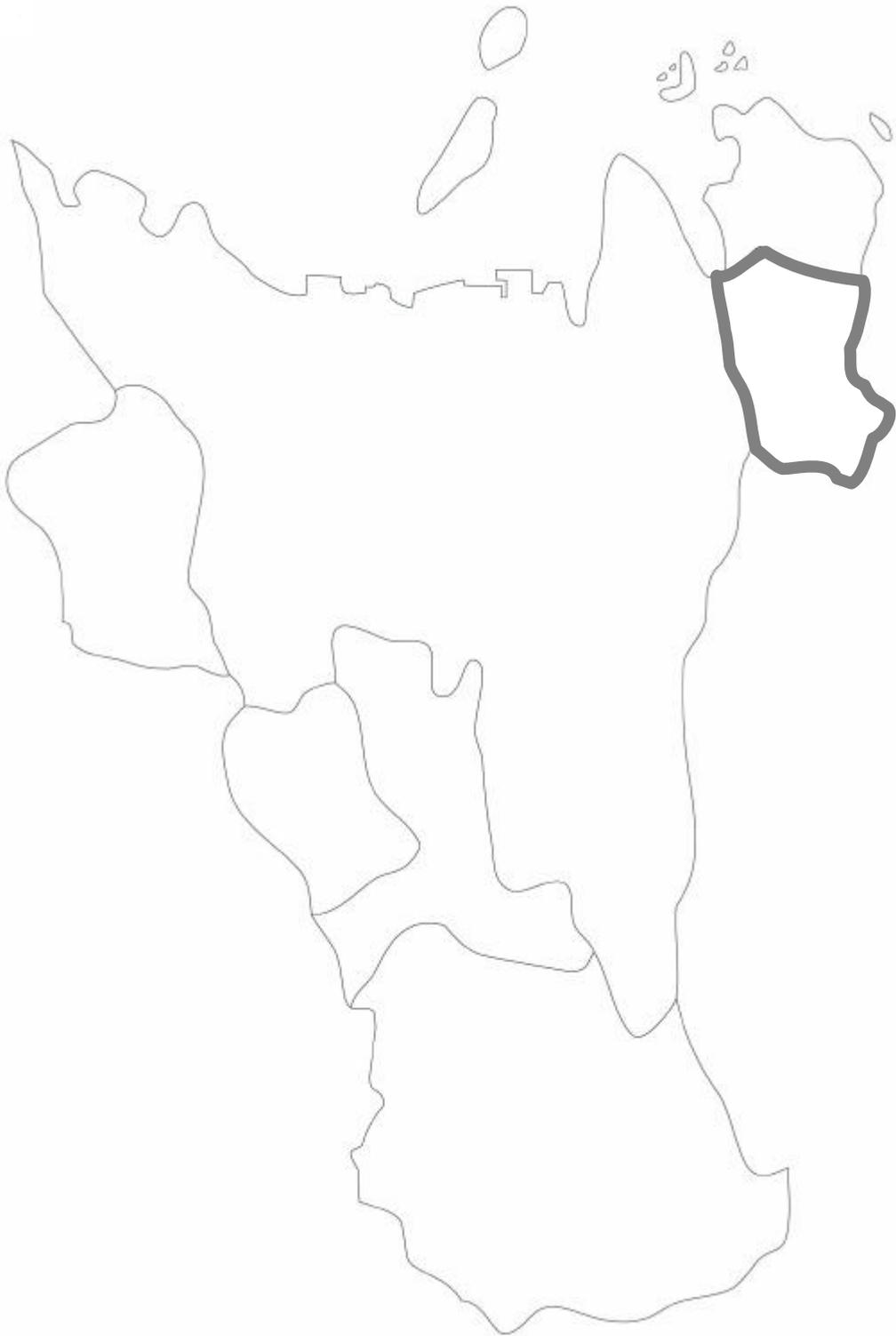
平成 1 8 ・ 1 9 年度建設計画等実施計画

【各論】



牟礼地区合併基本計画

平成18・19年度実施計画



目 次

牟礼地区の実施計画	3
連帯のまちづくり	9
地域包括支援センターの設置運営	10
男女共同参画社会の形成	11
公共交通旅客施設のバリアフリー化	11
重点取り組み事項関連事業の推進	12
循環のまちづくり	13
ため池の再編整備	14
水道管網の整備	14
下水道汚水施設の整備（東部処理区）	15
環境基本計画の策定	16
ごみ処理基本計画の策定	16
道の駅むれ（仮称）・房前公園（仮称）の整備	17
道の駅むれ（仮称）物販等施設の整備	18
近隣公園の整備（牟礼中央公園多目的広場の整備）	18
重点取り組み事項関連事業の推進	19
連携のまちづくり	21
ポンプ場の整備（浸水対策）	22
防災行政無線システムの整備	22
学校施設の耐震化	23
学校教育環境の整備	23
学校図書館の活性化	24
移動図書館巡回サービスの実施	24
公民館の耐震化	25
新成人祝賀講演会の開催	25
CATVの整備	26
電子市役所構築の推進	26
石の民俗資料館の運営	27
重点取り組み事項関連事業の推進	27
交流のまちづくり	29
観光地屋島の活性化	30
観光振興計画の策定	30
石のさとフェスティバルの開催	30
香川型水田農業振興総合対策の推進	31
認定農業者の育成・確保の推進	32
「高松産ごじまん品」生産・消費の促進	32
ため池の整備	33
市道の整備	33

都市計画マスタープランの策定	34
重点取組み事項関連事業の推進	34
参加のまちづくり	37
合併記念各種イベントの開催	38
合併記念市民交流・地域間交流事業の実施	39
合併一周年記念事業の実施	40
新しい総合計画の策定	41
行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）	41
自治会組織の充実とコミュニティづくり	42
重点取組み事項関連事業の推進	43

牟礼地区の実施計画

はじめに

牟礼地区は、通勤・通学や医療、買物など日常生活における交通利便性の高い地域であるとともに、香川県東部、さらには徳島県を経て京阪神地域に至る重要な位置にある。また、県立保健医療大学や県水産試験場、世界的に質の高い庵治石の産地として発展してきた石材産業など特色ある産業が立地している。

加えて、四国霊場85番札所の八栗寺、源平屋島合戦の史跡、イサム・ノグチ庭園美術館、石の民俗資料館など地域特有の個性ある交流資源を有している。

今後、高松市東部の発展を牽引する拠点機能を充実させる中で、このような特性や多様な交流資源を活用し、広域的な交流拠点としての役割が強く期待されるとともに、教育・芸術・文化面の潜在力は、新しい都市の魅力や活力を高めるうえで、積極的に活用していくことが求められており、合併基本計画において、牟礼地区は、「海、花、緑、石が調和した、芸術・文化の香り高い快適な生活交流ゾーン」として位置づけられている。

こうした役割と機能を踏まえ、個性ある活力に満ちた地域社会の実現に向けて、牟礼地区のまちづくりを展開する。

実施計画の期間：平成18・19年度

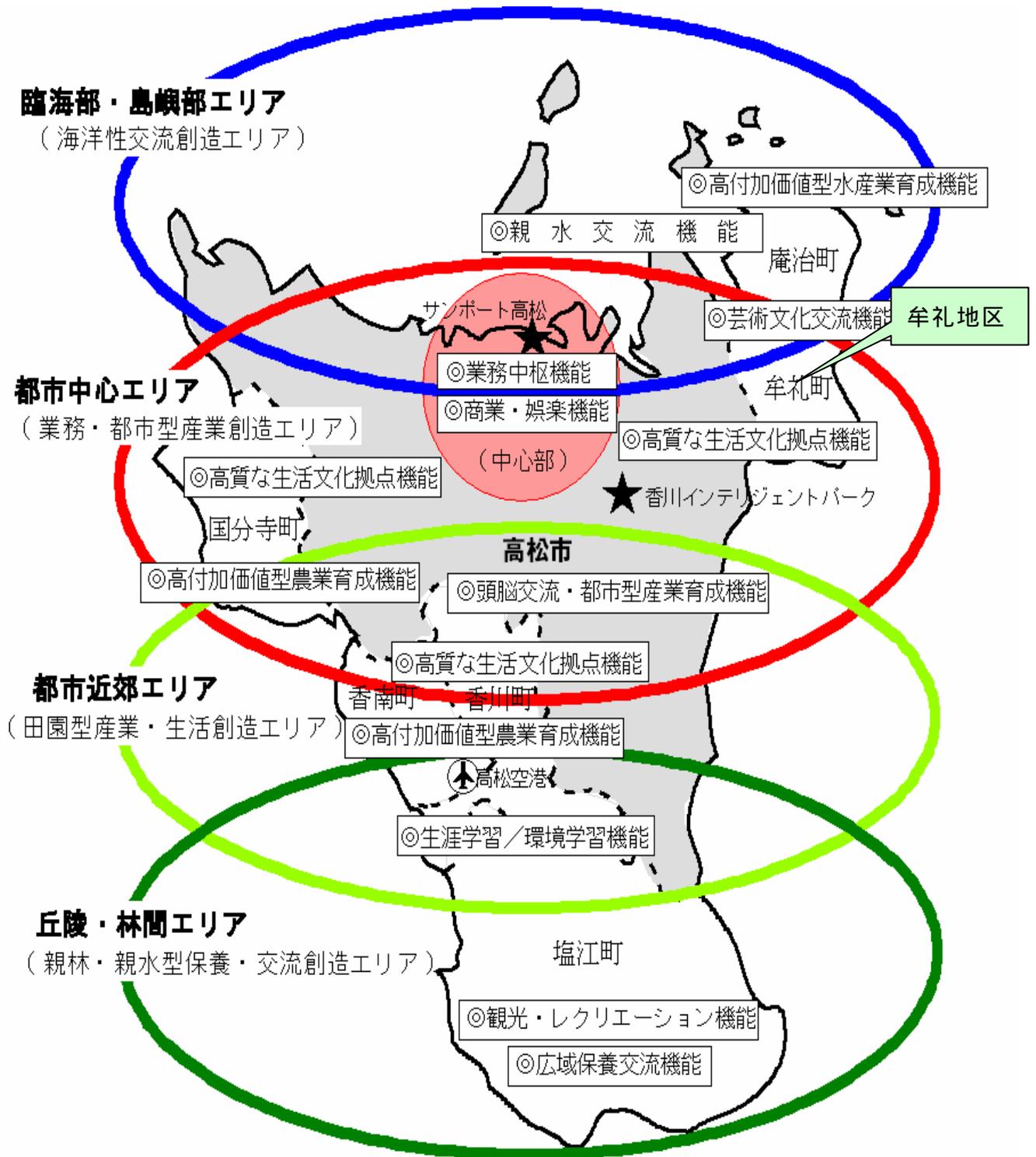
実施計画事業数：75事業（牟礼地区のみの事業：38事業、市全体等事業：37事業）

概算事業費

単位：万円

区分	国・県支出金	市債	その他	一般財源	事業費
牟礼地区のみの事業	8,450	19,320	880	54,180	82,830
市全体等の事業	65,280	30,690	73,110	186,150	355,230
合計	73,730	50,010	73,990	240,330	438,060

市全体等の事業とは、全市的事业および旧高松市や合併各町など、複数の地区で実施する事業で、各地区ごとに事業費を区別することができない事業を指し、それぞれの事業の事業費（計画額）のところに、「市全体」または「○○地区」などと記載しているものである。



(注) は特に重点的な育成が図られるべき機能

実施計画事業の概要について

連帯のまちづくり

老年人口比率の低い牟礼地区においても、今後確実な高齢化が見込まれ、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 地域包括支援センターの設置運営
- ・ 男女共同参画社会の形成
- ・ 公共交通旅客施設のバリアフリー化
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

循環のまちづくり

北に五剣山、南に里山の緑、その麓に広がるため池が点在する田園風景、瀬戸内海など、牟礼地区の多彩な自然環境と景観は、住民にうるおいと安らぎを与えるかけがえのない財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、良好な環境機能を維持・増進させることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、環境への負荷の少ないシステムの形成、地域の歴史や石のまちとしての個性を生かした快適なふれあい空間の形成などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現をめざし、循環のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ ため池の再編整備
- ・ 水道管網の整備
- ・ 下水道汚水施設の整備（東部処理区）
- ・ 環境基本計画の策定
- ・ ごみ処理基本計画の策定
- ・ 道の駅むれ（仮称）・房前公園（仮称）の整備
- ・ 道の駅むれ（仮称）物販等施設の整備
- ・ 近隣公園の整備（牟礼中央公園多目的広場の整備）
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

連携のまちづくり

牟礼地区は、利便性の高い生活都市として発展するとともに、源平屋島合戦などの史跡、石材彫刻などの芸術など、特徴ある固有の歴史、文化に恵まれている。

このため、これら歴史・文化や自然環境を生かした教育を充実し、住民一人ひとりが愛着を持てるまちを築けるよう、住民と行政が知恵を出し合い、連携することにより、安全で安心な生活環境のもと、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現をめざし、連携のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ ポンプ場の整備
- ・ 防災行政無線システムの整備
- ・ 学校施設の耐震化
- ・ 学校教育環境の整備
- ・ 学校図書館の活性化
- ・ 移動図書館巡回サービスの実施
- ・ 公民館の耐震化
- ・ 新成人祝賀講演会の開催
- ・ C A T V の整備
- ・ 電子市役所構築の推進
- ・ 石の民俗資料館の運営
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

交流のまちづくり

牟礼地区は、源平屋島合戦などの史跡が数多く残され、庵治石の産地として、歴史的・文化的に貴重な資源が潜在しており、これら個性的な資源を生かしたストーンツーリズムの展開など、地域資源をネットワークした活性方策が求められている。

また、サンポート高松では、国際的な会議・観光・交流の舞台として、集客型産業、交流産業を牽引力とする経済の浮揚と地域の活性化が期待されており、牟礼地区でも、豊富な地域資源を効果的に活用した観光・交流、集客によるまちづくりを同時に進めていく必要がある。

このため、歴史、石材加工技術などの地域資源を効果的に活用した交流の振興を図り、活力ある産業の創出を促進するとともに、これらを支える交流基盤の整備により、豊かな交流・産業資源を生かした活力のあるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 観光地屋島の活性化
- ・ 石のさとフェスティバルの開催
- ・ 香川型水田農業振興総合対策の推進
- ・ 認定農業者の育成・確保の推進
- ・ 「高松産ごじまん品」生産・消費の促進
- ・ ため池の整備
- ・ 市道の整備
- ・ 都市計画マスタープランの策定
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進
- ・ 観光振興計画の策定

参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を最大限に発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツなど様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおりである。

- ・ 合併記念各種イベントの開催
- ・ 合併記念市民交流・地域間交流事業の実施
- ・ 合併一周年記念事業の実施
- ・ 新しい総合計画の策定
- ・ 行財政改革の推進（行政改革計画の策定、行政評価システムの構築）
- ・ 自治会組織の充実とコミュニティづくり
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

連帯のまちづくり

牟礼地区の老年人口比率は、県内市町では下位に位置するものの、今後確実な高齢化が見込まれ、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち。さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

【 連帯のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり

- ・ 地域福祉の充実
- ・ 施設福祉・在宅福祉サービスの充実
- ・ 社会参加の促進
- ・ 地域社会のバリアフリー化の促進

(2) 保健と医療の充実したまちづくり

- ・ 健康づくりの推進
- ・ 地域医療体制の充実

(3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり

- ・ 保育サービスの充実
- ・ 子育て支援サービスの充実

(4) 基本的人権を尊重するまちづくり

- ・ 人権尊重社会の実現
- ・ 男女共同参画社会の実現

地域包括支援センターの設置運営<まちづくり戦略プランに掲載>

介護保険課

市全体事業費(計画額): 10億2,900万円

目的:

公正・中立な立場から、地域の高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために必要な支援を行うとともに、介護保険サービスのみならず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、支えあいなどの多様な社会資源を有機的に結びつけ、高齢者の心身の状態の変化に応じて生活の質が低下しないように適切なサービスを継続的に提供するため、地域包括支援センターの設置・運営を行う。

事業の概要:

地域包括支援センターの設置・運営

設置か所数: 8か所(全て直営)

センター	設置予定場所
中央	高松市保健センター
一宮	コトデン一宮駅前店舗
古高松	古高松公民館
山田	旧山田支所
勝賀	ふれあい福祉センター勝賀
香川	香川保健センター
-1(香南)	香南保健センター
-2(塩江)	塩江保健センター
牟礼	牟礼老人福祉センター
-1(庵治)	庵治保健センター
国分寺	国分寺保健センター

実施時期: 平成18年10月設置運営開始

センターの機能: 公正・中立性を確保し、要支援・要介護になるおそれのある高齢者や軽度の要介護認定者への介護予防マネジメント、ケアマネジャー支援、困難事例の相談、高齢者の権利擁護を推進するための活動拠点とする。

・ 共通的支援基盤構築

地域に、総合的、重層的なサービスネットワークを構築する。

・ 総合相談支援・権利擁護

高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぐ。また、虐待の防止など高齢者の権利擁護に努める。

・ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援する。

・ 介護予防マネジメント

介護予防事業、新たな予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なマネジメントを行う。

男女共同参画社会の形成 <まちづくり戦略プランに掲載>

女性センター
市全体事業費（計画額）：5,550万円

目的：

平成14年度スタートの「たかまつ男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画に関する意識高揚を図るとともに、同プランに続く「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定を行う。また、平成18年度から男女共同参画センター（女性センターを名称変更）に指定管理者制度を導入し、より柔軟な企画運営および施設管理を図る中で、男女共同参画社会の形成を促進する。

事業の概要：

「たかまつ男女共同参画プラン」の推進
「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定
男女共同参画都市宣言推進事業の実施
男女共同参画市民フェスティバルに対する助成
審議会等委員への女性登用の推進
男女共同参画センターの指定管理者による管理への移行

公共交通旅客施設のバリアフリー化

都市計画課交通政策室
事業費（計画額）：900万円

実施主体：高松琴平電気鉄道（株）

目的：

自動車交通の環境問題や、高齢者、障害者等の移動に配慮し、公共交通の快適性や利便性を高め、公共交通の利用を促進するため、駅施設のバリアフリー化を促進する。

事業の概要：

琴電志度線大町駅のバリアフリー化
プラットフォームスロープ設置および視覚障害者用誘導ブロックの敷設等の整備に対する助成

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：3億9,500万円
（うち市全体事業費（計画額）：3億5,700万円）

事業の概要：

介護予防の推進（介護保険課）

介護予防事業、包括的支援事業、任意事業、新予防給付事業の実施など
知的障害者小規模通所授産施設の運営（障害福祉課）

ほのぼのワークハウスの運営

シルバー人材センターの活動促進（長寿社会対策課）

シルバー人材センター機能の充実

幼保一元化による保育ニーズへの対応（こども未来課・学校教育課）

はらこどもセンターでの実施

人権教育の推進（人権教育課）

親子で人権を考える会・市民講座・研修会の開催、指導資料の作成など

循環のまちづくり

北に五剣山、南に里山の緑、その麓に広がるため池が点在する田園風景、瀬戸内海など、牟礼地区の多彩な自然環境と景観は、住民にうるおいと安らぎを与えるかけがえのない財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、良好な環境機能を維持・増進させることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、環境への負荷の少ないシステムの形成、地域の歴史や石のまちとしての個性を生かした快適なふれあい空間の形成などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現をめざし、循環のまちづくりを進める。

【 循環のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり

- ・ため池・河川の保全と活用
- ・地域が一体となった環境づくり

(2) 水資源を大切にすまちづくり

- ・上水道等の整備
- ・節水対策の推進
- ・下水道等の整備

(3) 環境型社会を構築すまちづくり

- ・環境衛生の充実
- ・地域環境の保全

(4) 自然景観と親しむ快適なまちづくり

- ・道の駅・海の駅の整備
- ・公園・緑地の整備

ため池の再編整備

土地改良課
事業費（交流のまちづくり「ため池の整備」を含む）

実施主体：県

目的：

ため池の改修、整備を図り、廃止されたため池を住民の憩いや学習の場として整備し、地域住民で管理運営するシステムを構築するなど、その有効活用を図る。

事業の概要：

牟礼川原地区ため池再編総合整備（松井池ほか9か所）

牟礼川原地区ため池保全施設整備（高府丁下池等の利活用保全）

キーワード：ため池再編

従来、個別に整備してきた老朽ため池を群としてとらえ、ため池の農業利用を基本としつつ、ため池の持つ多面的機能を活かした再編統合を図るもの

水道管網の整備

水道局水道整備課
事業費（計画額）：2,430万円

目的：

牟礼地区において水質基準に適合した安全で良質な水を安定的に供給するため、水源の確保と浄水施設や配水施設の整備、老朽施設の更新などを計画に推進する。

事業の概要：

平成18年度	老朽石綿セメント管の更新	約300m
	配水管の布設	約150m
平成19年度	配水管の布設を継続して計画的に実施する。	

キーワード：水質基準

・健康に関する項目

体重50kgの人が、一日に飲用する水の量を2リットルとし、食物、空気など水以外からの摂取も考慮しながら、人間が生涯にわたって連続摂取しても健康に影響が生じない水準を基準値としている。

・水道水が有すべき性状に関する項目

色、濁り、においなど生活利用上あるいは腐食性など施設管理上障害の生ずるおそれのある項目。

障害を生ずる濃度レベルを基に評価を行い、項目の選定、基準値の設定をしている。

下水道汚水施設の整備（東部処理区）

下水道建設課

事業費（計画額）：5,800万円

目的：

牟礼地区における快適な居住環境の確保と海や河川など公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、汚水枝線管渠など下水道施設の整備を進める。

事業の概要：

○平成18年度

汚水管渠工事 Φ200mm 約430m

○平成19年度

汚水管渠工事 Φ200mm 約260m

下水道普及状況

平成17年3月31日現在

区分	行政区域人口 A	事業計画処理人口 B	処理区域内人口 C	普及率 C/A
市域全体	421,213人	290,842人	221,289人	52.5%
牟礼地区	18,277人	18,582人	16,195人	88.6%

下水処理場の概要

施設名	敷地面積 ha	処理方法	処理能力 (m ³ /日最大)
牟礼浄化苑	約5.57	標準活性汚泥法	11,200

下水道の計画

平成18年1月現在

処理区名	全 体 計 画				事 業 計 画 区 域	
	都市計画決定面積 (ha)	計画区域 (ha)	計 (ha)	計画人口 (人)	事業計画区域 (ha)	計画人口 (人)
市域全体	6,161.4	1,735.1	7,896.5	316,600	6,414.6	290,842
牟礼地区	540.0	276.4	816.4	23,000	616.6	18,582

キーワード：水質の保全

汚水が直接、公共用水域に排出されると、水質の汚濁を進行させる。下水道は、河川、海域等の公共用水域に排出される汚水を収集し処理場において処理した後、浄化されたきれいな水を水域に還元することから、公共用水域の汚濁の進行をくい止める一方、水域の自然浄化作用を促進し、水質保全に大きな役割を果たしている。

環境基本計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

環境保全課

市全体事業費(計画額): 560万円

目的:

高松市環境基本計画(平成11年2月策定)策定後の社会情勢や環境を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併による市域の拡大や新たな環境問題等に的確に対応するため、環境基本計画を策定する。

事業の概要:

平成18年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催・環境審議会の開催
- ・環境審議会の開催
- ・基礎調査(自然環境調査・生物調査・環境意識アンケート・市域からの温室効果ガス排出量算定調査ほか)の実施

平成19年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催・環境審議会の開催
- ・環境審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施・環境基本計画の策定
- ・環境基本計画の策定

ごみ処理基本計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課

市全体事業費(計画額): 70万円

目的:

高松市ごみ処理基本計画(平成5年3月策定)策定後の社会情勢、廃棄物を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併地区を含めた新市域での安定的かつ効率的なごみ処理を行うため、新たな減量化率、資源化率の設定を含めた、ごみ処理基本計画を策定する。

事業の概要:

平成18年度

- ・庁内検討組織の設置
- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・市民提案の募集

平成19年度

- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・ごみ処理基本計画の策定

道の駅むれ（仮称）・^{ふきぎまき}房前公園（仮称）の整備

公園緑地課

事業費（計画額）：2億2,800万円

目的：

国が行う「道の駅」の整備と併行して、「牟礼地区都市再生整備計画」に基づき、瀬戸内海を一望できるロケーションを生かし、憩いの場としての機能も有する公園整備を行う。

事業の概要：

「道の駅むれ」（仮称）の整備（国土交通省直轄事業）平成17年度～平成18年度
房前公園（仮称）の整備

実施設計、公園整備工事

【公園整備の概要】

- ・整備内容：芝生広場・展望檣・展望さじき・保全緑地・多目的広場・物産館等
- ・施行面積：2.3ha
- ・事業期間：平成17年～平成21年度



道の駅むれ（仮称）・房前公園（仮称）イメージ図

【牟礼地区都市再生整備計画】

- ・計画期間：平成17年度～21年度

牟礼地区都市再生整備計画の事業内容

整備方針	項目	
交流拠点づくり	基幹事業	公園事業： 房前公園（仮称） 地域生活基盤施設： 案内情報板、回遊誘導サイン
	関連事業	道の駅整備事業： 道の駅むれ（仮称）、物販・飲食等施設
観光拠点づくり	基幹事業	道路事業： 町道の改良 高質空間形成施設： 観光地周辺の回遊軸の修景整備 地域生活基盤施設： 観光地周辺の駐車場、広場、案内情報板、 回遊誘導サイン
	提案事業	まちづくり活動推進事業： まちづくりNPOへの支援

道の駅むれ（仮称）物販等施設の整備

観光課
事業費（房前公園整備費に含む）

実施主体：市、国

目的：

国が実施する道の駅むれ（仮称）の整備にあわせて、他にみられない個性をつくり、地域産業を活かすため、物販・飲食等の施設を提供する。

事業の概要：

物販・飲食施設、遍路サービス施設の整備

近隣公園の整備（牟礼中央公園多目的広場の整備）

公園緑地課
事業費（計画額）：600万円

目的：

主として近隣に居住する者が利用に供する近隣公園である牟礼中央公園の一部未整備場所を整備する。

事業の概要：

牟礼中央公園

・未整備場所（面積0.16ha）を多目的広場として整備 平成18年度予定

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：9,120万円
（うち市全体事業費（計画額）：610万円）

事業の概要：

不法投棄監視体制の推進（廃棄物指導課）

ごみの不法投棄監視体制の充実に向けて、不法投棄防止用監視カメラの設置、パトロール強化等を進める

合併処理浄化槽設置の助成（下水道管理課）

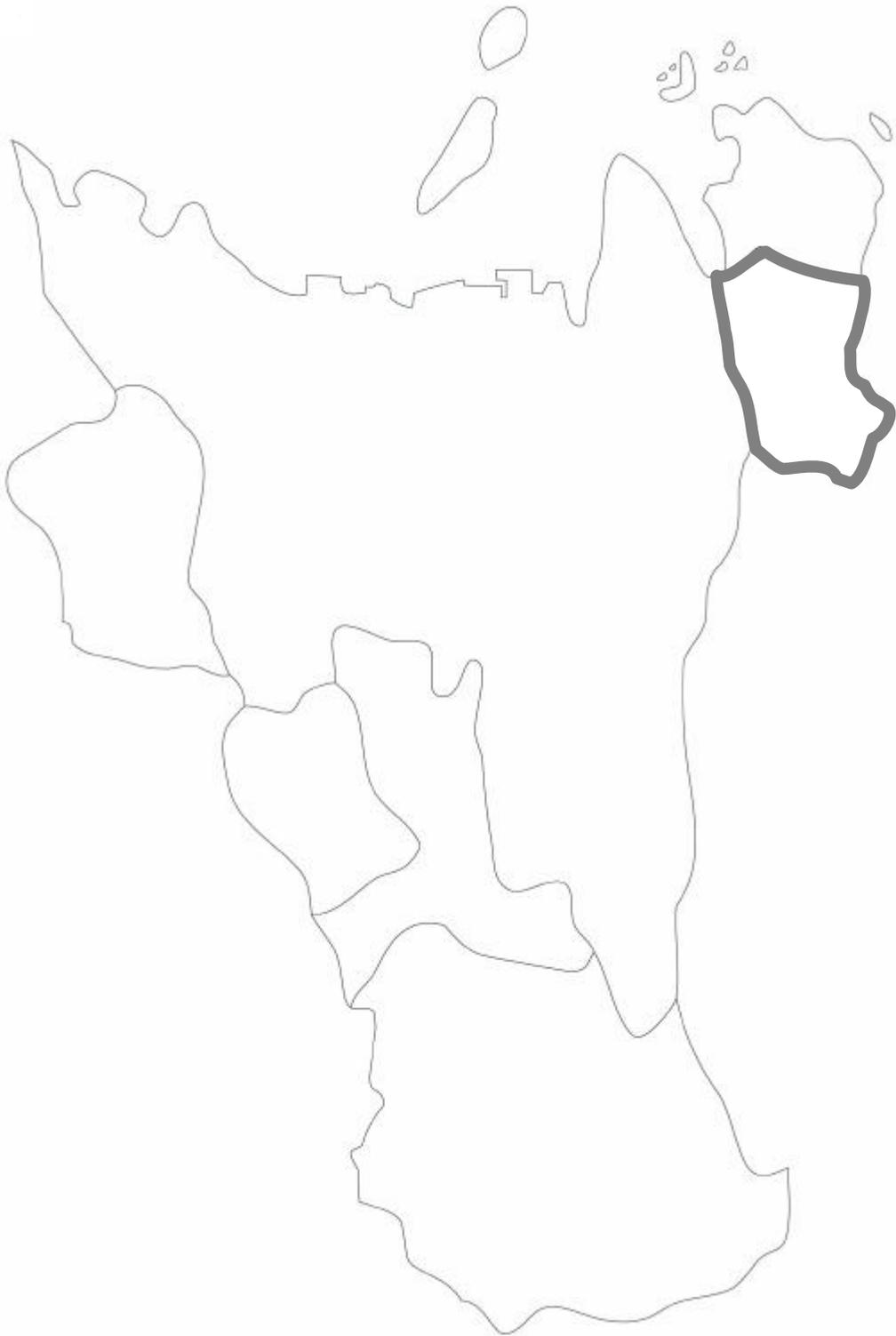
約80基

生活排水路の整備（河港課）

生活排水路の整備 整備延長L = 250.0m

ISO14001の推進（環境保全課）

ISO14001の定期審査など



連携のまちづくり

牟礼地区は、利便性の高い生活都市として発展するとともに、源平屋島合戦などの史跡、石材彫刻などの芸術など、特徴ある固有の歴史、文化に恵まれている。

このため、これら歴史・文化や自然環境を生かした教育を充実し、住民一人ひとりが愛着を持てるまちを築けるよう、住民と行政が知恵を出し合い、連携することにより、安全で安心な生活環境のもと、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現をめざし、連携のまちづくりを進める。

【 連携のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり

- ・ 自然災害対策の推進
- ・ 消防・防災体制の整備
- ・ 防犯対策の充実
- ・ 交通安全対策の充実

(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり

- ・ 家庭教育の充実
- ・ 学校教育の充実
- ・ 教育環境の整備
- ・ 生涯学習の充実
- ・ 生涯スポーツの充実

(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり

- ・ 地域情報化の推進
- ・ 電子市役所の構築
- ・ 土地の適正管理

(4) 歴史と伝統文化を生かしたまちづくり

- ・ 歴史と文化の保存・伝承
- ・ 文化交流の促進

ポンプ場の整備（浸水対策）

河港課
事業費（計画額）：3,490万円

目的：

住民が安全で安心して暮らすことのできる生活基盤や環境を整備するため、高潮により浸水被害を受ける地域における浸水対策として、既設のポンプ場施設の改修等を進める。

事業の概要：

御殿川ポンプ場：自動化工事
宮北川ポンプ場：オーバーホール

防災行政無線システムの整備＜まちづくり戦略プランに掲載＞

庶務課防災対策室
市全体事業費（計画額）：3億3,100万円

目的：

災害時等における緊急情報伝達システムを構築するとともに、合併地区で整備運用している情報連絡施設を、新市の組織体制に合わせて再構築し、全市域における防災行政無線設備として拡張整備することにより、市民に対する情報提供や避難勧告・指示を迅速に行う。

事業の概要：

平成18年度

市役所災害対策本部（基地局）のデジタル化整備および屋外子局13局の整備

平成19年度

ケーブルテレビ・コミュニティFMなど既設システムとの連携・整備

平成20年度以降

旧高松市消防団屯所52箇所および合併地区のデジタル化整備など

学校施設の耐震化<まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課
事業費(計画額): 930万円

目的:

学校施設の耐震診断を行い、その結果、大地震時に倒壊の危険性があるとされた校舎等について、計画的に耐震化を行い、児童・生徒等の安全を確保する。

事業の概要:

牟礼北小学校校舎、牟礼南小学校校舎・屋内運動場、牟礼中学校校舎・屋内運動場、牟礼小学校屋内運動場の耐震診断の実施

平成17年3月に見直しされた高松市地域防災計画で示された東南海・南海地震の想定震度6弱に基づき、耐震診断結果の評価(a, b, c, dの4段階)のうち、倒壊の危険性が高いa評価およびb評価の校舎等について、a評価のものから順次耐震化を行う。

学校教育環境の整備<まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課
合併地区全体事業費(計画額): 1,680万円

目的:

学校への防犯監視システム、扇風機の設置などを行い、児童・生徒にとって、安全で快適な、より良い教育環境を創出する。

事業の概要:

学校防犯監視システムの整備(小学校)

正門等に防犯カメラ、センサーを設置

職員室でアラーム音とともに、モニタ表示し、画像を録画

平成20年度末までに、全小学校に整備予定

教室への扇風機の設置(小・中学校)

平成18年度末までに全小・中学校に設置予定

自動体外式除細動器(AED)の設置(中学校)

平成18年度末までに全中学校に設置予定

学校図書館の活性化<まちづくり戦略プランに掲載>

学校教育課
事業費(計画額): 970万円

目的:

学校図書館指導員の効果的な配置を通じ、児童・生徒の読書活動を一層推進し、健全育成を図る。

事業の概要:

学校図書館指導員を全小・中学校に効果的に配置し、蔵書の貸し出し、返却、児童生徒への対応、データベースの整理等を行う。

学校図書館指導員の増員計画

地 域		旧高松市	庵治・塩江・香川・香南・国分寺地区	牟礼地区
小・中学校数		57校	16校	4校
配置 人員	増員数	5名	6名	0名
	増員後	23名	6名	4名
配置基準		6時間勤務/1人1日、 児童生徒数700名以上の学校:週3日配置 児童生徒数200名から700名未満の学校:週2日配置 児童生徒数200名未満の学校:週1日配置		4時間勤務/ 1人1日、 週5日配置

小・中学校図書データベース用パソコンを整備

移動図書館巡回サービスの実施<まちづくり戦略プランに掲載>

中央図書館
市全体事業費(計画額): 1億5,800万円

目的:

図書館から遠隔地にあり、図書館の利用が不便な市民等に対し図書館サービスを行う。

事業の概要:

移動図書館車による図書館サービスの充実

合併に伴い移動図書館車を1台(積載図書冊数3,000冊程度)増車し、3台の図書館車で市内の92ステーション(合併地区23ステーションを含む)を毎月巡回する。

(平成18年2月から実施)

平成18年度巡回ステーション

- ・旧高松市（70箇所）
- ・塩江地区（3箇所） 塩江支所・上西連絡事務所・塩江小学校
- ・牟礼地区（2箇所） 牟礼南小学校・牟礼北小学校
- ・庵治地区（3箇所） 深間庭球場・鎌野自治会館・庵治漁業協同組合
- ・香川地区（8箇所） 香川支所・香川総合体育館・浅野小学校・浅野公民館
大野公民館・大野小学校・川東公民館・東谷公民館
- ・香南地区（4箇所） 香南歴史民俗郷土館・香南公民館・香南幼稚園・池西農村環境改善センター
- ・国分寺地区（3箇所） 福家児童館・讃岐国分寺跡資料館・新居東児童館

香川図書館（仮称）開館時に、香川町の移動図書館サービスステーション、香南町の移動図書館サービスステーションは縮小

公民館の耐震化<まちづくり戦略プランに掲載>

社会教育課
事業費（計画額）：330万円

目的：

地域の拠点施設であり、災害時の避難所にも指定されている地区公民館のうち、昭和56年以前の旧耐震基準で建築されたものについて、耐震診断を行い、必要な耐震対策を実施し、住民の安全確保を図る。

事業の概要：

牟礼公民館（いきいきセンターを含む）の耐震診断。

耐震診断実施スケジュール

年度	コミュニティセンター・地区公民館施設の耐震診断
18	9館（林、鬼無、木太、太田、円座、東植田の各コミュニティセンター、香南、国分寺北部、国分寺南部の各公民館）
19	8館（川岡、西植田、多肥、屋島、三谷の各コミュニティセンター、牟礼<いきいきセンターを含む>、浅野、川東の各公民館）

新成人祝賀講演会の開催

社会教育課
市全体事業費（計画額）：150万円

目的：

講演を通じて、次代を担う新成人に新たな視点づくりを促し、豊かな人間形成を目指す。

事業の概要：

平成19年高松市成人式において、新成人を対象に講演を行う。

開催日時 平成19年1月8日（月・成人の日）

開催会場 サンポートホール高松大ホール

参加定員 1,500人

CATVの整備<まちづくり戦略プランに掲載>

広聴広報課
市全体事業費（計画額）：2億円

目的：

地域における総合的情報通信網として、CATV網の整備および合併地区へのエリア拡大を促進し、CATVによる市政情報の提供等情報通信機能の充実を図る。

事業の概要：

CATV関連施設整備事業に対する助成

- ・未整備合併地区へのエリア拡大

キーワード：CATV

光ファイバーケーブルなどを利用した特定地域対象の有線放送テレビ。自主制作を含む様々な番組を多チャンネルで放送する。ケーブルの有する大容量と双方向機能を活用し、放送と通信サービスを総合的に提供するメディアとして期待されている。（Cable Television）

電子市役所構築の推進<まちづくり戦略プランに掲載>

情報システム課
市全体事業費（計画額）：7,200万円

目的：

国の進める電子政府構築に対応して、電子市役所の構築を推進することにより、行政事務の一層の簡素化、効率化を図るとともに、より高度な行政サービスを実現する。

事業の概要：

平成18年度

- ・電子調達（CALS/EC）システム稼働（電子入札）
- ・戸籍総合システム稼働（現在戸籍・附票）
- ・財務会計システム再構築（調査検討、仕様書作成）
- ・生涯学習情報システム再構築（かがわ電子自治体システムへの移行）

平成19年度

- ・戸籍総合システム稼働（除籍、改製原戸籍）
- ・財務会計システム再構築（システム開発）
 - ・新生涯学習情報システム稼働（かがわ電子自治体システム内生涯学習施設予約部分）

平成20年度

- ・新財務会計システム稼働（予算編成）

石の民俗資料館の運営

歴史資料館

事業費（計画額）：5,980万円

目的：

市民が身近に芸術・文化に親しむことができるよう、市民の自主的な活動を促進する拠点として、芸術・文化施設の整備や機能の充実を図る。

事業の概要：

- 「鉄道展（仮称）」・「柴野栗山没200年記念事業展」などの特別展・企画展の開催
- ・各種教育普及事業の実施

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：6億5,400万円

（うち市全体事業費（計画額）：6億1,700万円）

事業の概要：

自主防災組織等の結成促進（消防局予防課）

河川の改修（河港課）

宮北川ほか2河川 L = 200.0m / 宮北川浚渫 1,000立方メートル

水門の整備（河港課）

中川水門の水門施設の電動化、浜北水門の警報装置の設置

防犯灯等の整備促進（市民生活課）

交通安全施設の整備（道路課）

自転車歩行者道、交差点改良、道路標識、区画線、防護柵、道路照明灯、視線誘導標、道路反射鏡、交差点案内標識などの整備

子どもの居場所づくりの推進（社会教育課）

子どもの居場所づくり指導者の養成、のびのび子どもプラザモデル事業の実施、子どもわくわく体験支援事業の実施

ジュニアリーダーの育成（社会教育課）
牟礼地区のジュニアリーダークラブへの助成
牟礼地区子ども会の育成（社会教育課）
校区子ども会への助成
障害児学級の設置（教育部総務課、学校教育課）
牟礼北小学校（1学級の新設）
まなびCAN開設5年記念事業の開催（生涯学習センター）
牟礼青少年団体の支援（社会教育課）
牟礼町青年会活動への助成
伝統文化の保存・継承の支援（文化振興課）
田井子ども神相撲、石切り唄の保存・継承への補助
牟礼図書館資料の充実（中央図書館）
町民運動会に対する助成（市民スポーツ課）
総合型地域スポーツクラブに対する助成（市民スポーツ課）
地籍調査の実施（土地改良課）
地区文化祭の開催（文化振興課）

交流のまちづくり

牟礼地区は、源平屋島合戦などの史跡が数多く残され、庵治石の産地として、歴史的・文化的に貴重な資源が潜在しており、これら個性的な資源を生かしたストーンツーリズムの展開など、地域資源をネットワークした活性方策が求められている。

また、サンポート高松では、国際的な会議・観光・交流の舞台として、集客型産業、交流産業を牽引力とする経済の浮揚と地域の活性化が期待されており、牟礼地区でも、豊富な地域資源を効果的に活用した観光・交流、集客によるまちづくりを同時に進めていく必要がある。

このため、歴史、石材加工技術などの地域資源を効果的に活用した交流の振興を図り、活力ある産業の創出を促進するとともに、これらを支える交流基盤の整備により、豊かな交流・産業資源を生かした活力のあるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

【 交流のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 魅力ある観光・交流を育てるまちづくり

- ・観光交流拠点の整備
- ・歴史と芸術・文化ネットワークの構築
- ・観光・交流イベントの充実

(2) 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり

- ・農業の振興
- ・水産業の振興
- ・石材産業の振興
- ・商工業の振興
- ・コミュニティビジネス等の振興

(3) 広域的な交流を育てるまちづくり

- ・国際交流の促進と人材の育成
- ・地域間交流の促進

(4) 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり

- ・道路の整備
- ・公共交通の整備
- ・都市基盤の整備

観光地屋島の活性化<まちづくり戦略プランに掲載>

観光課

市全体事業費(計画額): 1,170万円

目的:

本市の代表的な観光地である屋島の活性化を図るとともに、観光客の誘致を促進する。

事業の概要:

観光周遊ぐるりんバス(仮称)等運行事業

サンポート高松から、屋島山上、牟礼、庵治を巡る観光周遊バスを運行

屋島山上石あかりロード(仮称)

庵治石を利用した石あかりロードを屋島山上に設置

義経・与一合同サミットの開催

源義経ゆかりの14自治体と那須与一ゆかりの7自治体による合同サミットの開催

源平屋島運営協議会(仮称)の設置

義経ロードウォーク・源平屋島納涼祭の開催

観光振興計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

観光課

市全体事業費(計画額): 370万円

目的:

市町合併による、新しい市域の地理的優位性と多様な人的・物的観光資源を最大限に活用し、地域の個性や特色を生かすとともに、観光を取り巻く環境の変化に対応した持続可能な観光振興施策を展開するため、現行の観光振興計画に替えて、新しい観光振興計画を策定する。

事業の概要:

新しい本市観光振興計画を策定

環境の変化に対応し持続可能な観光振興を図ることができるよう、行政の過度の関与を控え、民間の自助努力を引き出していくことを基本的なコンセプトとする計画を策定(目標年次:平成29年度)

石のさとフェスティバルの開催<まちづくり戦略プランに掲載>

文化振興課

牟礼・庵治地区事業費(計画額): 6,000万円

実施主体：市，石のさとフェスティバル運営委員会

目的：

全国の三大石材産地の一つに数えられ、優秀な石材加工技術者を有する牟礼地区と庵治地区を中心に、国内外の作家が彫刻を制作し展示することにより、石の彫刻家の育成と石材業界の更なる技術向上、産業振興を図るとともに、市民が芸術作品に触れる場を提供し、高松の文化芸術の発展に寄与する。

事業の概要：

第7回石のさとフェスティバル開催（平成18年5月1日～6月30日）

石の彫刻コンクール

- ・応募作品の中から入選作50点を審査・決定し、庵治地区城岬公園等に展示する。
その中から、石の彫刻国際シンポジウムへの招待者や優秀賞・奨励賞等を決定する。

石の彫刻国際シンポジウム

- ・石の彫刻コンクール展優秀作品作家6名と国内外の招待作家6名が地元滞留して石材業者のサポートのもと石の彫刻作品を公開制作し、完成作品は庵治地区城岬公園等に展示する。

香川型水田農業振興総合対策の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：1億2,800万円

目的：

国は平成19年度から、経営規模が4ha以上の認定農業者や20ha以上の集落営農などに施策を重点化・集中化し、展開しようとしている。小規模農家が大半である本市農業の現状を考慮して、農業従事者の高齢化・後継者不足等から作業の省力化・効率化を目指し、農業機械の共同利用の促進、さらには、農作業支援体制の確立による農業振興を図る。

事業の概要：

米改革推進リーダー支援事業

売れる米づくりや水田農業の望ましい生産構造の実現を図るため、米改革推進リーダーを設置し、調整活動などを実施する。

地域水田農業ビジョン実現総合支援事業

地域で策定された地域水田農業ビジョンの実現のために必要な条件整備に関する事業を実施する。

麦、大豆本作化推進事業

「さぬきの夢2000」の品質向上および作付け拡大を図る。

農作業支援システム導入促進事業

担い手の労働を補完する定植・出荷・調整作業や担い手が少ない地域での農作業受託の実施などに必要な農業機械等の整備を行う。

認定農業者の育成・確保の推進

農林水産課
市全体事業費（計画額）：180万円

目的：

認定農業者連絡協議会を通じて、経営改善指導や遊休地等土地利用集積による規模拡大を推進する。

事業の概要：

認定農業者の連携推進

高松市認定農業者連絡協議会を開催し、認定農業者相互の連絡を密にし、効率的かつ安定的な農業経営の改善を図る。

キーワード：認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づく制度で、経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、基準に適合する農業者として市町村から認定を受けた者

「高松産ごじまん品」生産・消費の促進<まちづくり戦略プランに掲載>

農林水産課
市全体事業費（計画額）：900万円

実施主体：

高松市農産物ごじまん品推進協議会

目的：

生活者と生産者のニーズなどに対応しながら、市内農産物の需要拡大と地産地消を図り、本市農業の活性化を推進する。

事業の概要：

平成18年度において、新たに合併地区の特産品を高松産ごじまん品に選定し、「たかまつ食と農のフェスタ」等により新市域の農業のPRを図る。

情報発信等推進事業

新ごじまん品の認定、ご自慢品リーフレットの作成、米の消費拡大等

生産者・消費者相互理解促進事業

高松食と農のフェスタ、ごじまんキャラクターの利用促進等消費者と生産者の交流の推進

生産振興等対策事業

園芸塾の開催、米粉の利用拡大・定着化、新品目の実証圃・展示圃の設置
生産マニュアルの確立、加工品の普及等による生産振興の推進

ため池の整備

土地改良課
事業費（計画額）：8,750万円

実施主体：県

目的：

ため池の整備により、農業に必要不可欠な用水を確保し、安定的に水を供給して、環境の保全および農業の振興を図る。

事業の概要：

農地防災事業（ため池）

・白鹿池の整備	平成17年度	提体工	L = 104m
		取水施設工	1か所
		洪水吐工	1か所
・大平下池の整備	平成18年度	提体工	L = 82m
		取水施設工	1か所
		洪水吐工	1か所

市道の整備

道路課
事業費（計画額）：1億800万円

目的：

牟礼地区における、幅員が狭く、ネットワーク化が不十分な生活道路について、路側改良などによる拡幅や待避所の設置、1.5車線化などの整備を進め、地域住民の利便性の向上を図る。

事業の概要：

市道の改良事業

- ・宮ノ前川原線道路改良 W = 5 m L = 約 1 1 0 m
- ・中代 2 号線道路改良 W = 6 m L = 約 1 0 0 m
- 市道の舗装事業
 - ・道路打換舗装 L = 約 1, 2 0 0 m

都市計画マスタープランの策定<まちづくり戦略プランに掲載>

都市計画課

市全体事業費（計画額）：1, 1 3 0 万円

目 的：

平成 1 6 年 5 月の線引き制度の廃止を含む新しい都市計画制度の施行や合併による地域の拡大などを踏まえ、都市計画マスタープランの見直しを行い、土地利用などの基本方向を明らかにし、適正な土地利用の誘導を図る都市づくりの総合的な指針とする。

事業の概要：

- 都市計画マスタープランの修正
 - ・アンケート調査
 - ・地域別構想、全体構想の検討
 - ・対象範囲：都市計画区域

高松市都市計画区域

区 分	旧高松市	牟礼地区	香川地区	香南地区	国分寺地区	合 計
都計区域	161.95 km ²	16.48 km ²	20.36 km ²	14.72 km ²	26.25 km ²	239.76 km ²

キーワード：新しい土地利用コントロール制度

平成 1 6 年 5 月 1 7 日から都市計画法に基づく市街化区域・市街化調整区域を区分する制度（線引き制度）が廃止され、新しい土地利用コントロール制度が導入された。旧市街化調整区域は用途白地地域になり、新たな特定用途制限地域を指定するとともに、容積率・建ぺい率の指定や開発許可基準が変更になった。

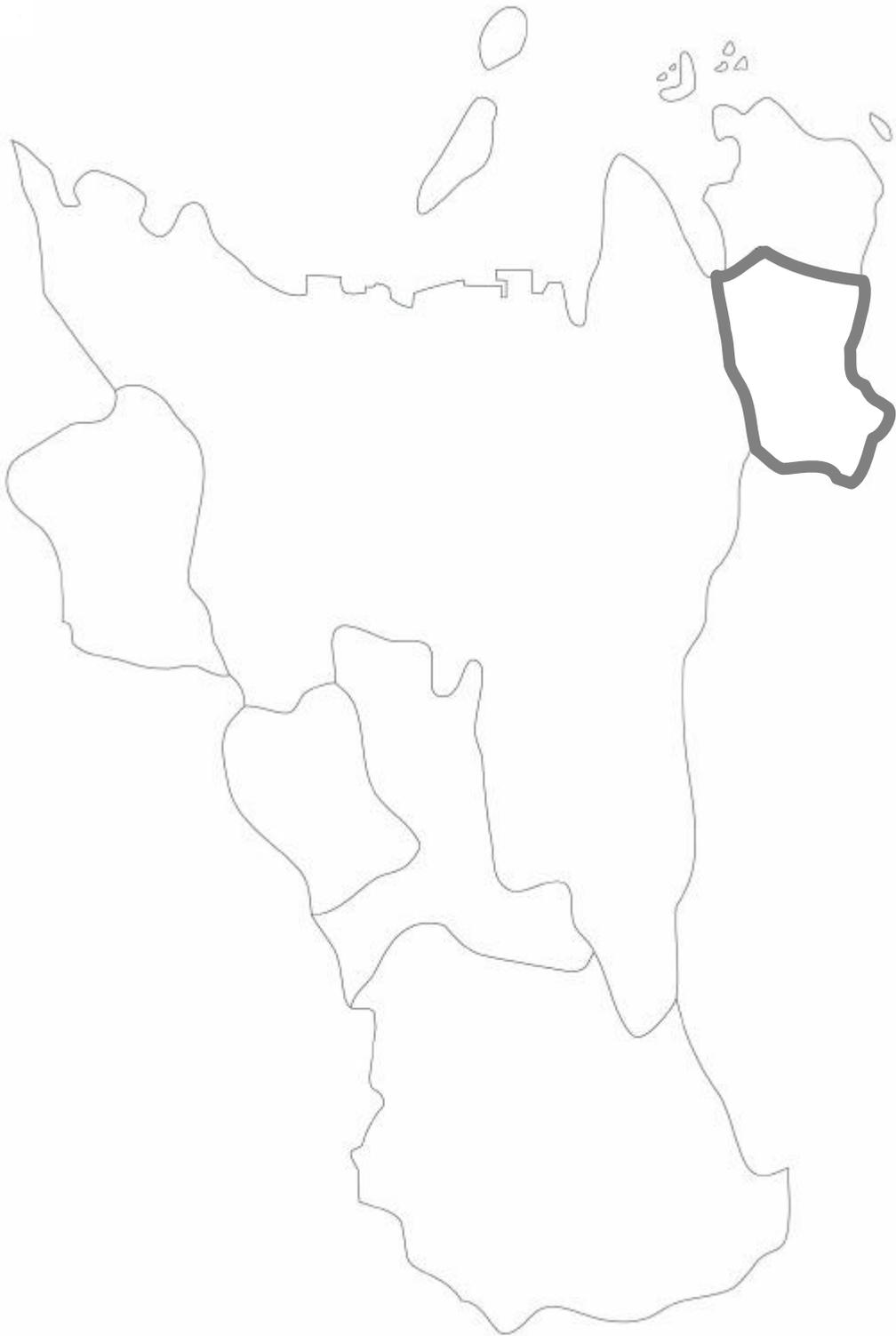
重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：3, 1 3 0 万円
（うち市全体事業費（計画額）：5 0 0 万円）

事業の概要：

- 観光総合パンフレット（日・英）の制作（観光課）
- のり養殖事業の助成（農林水産課）
- 讃岐石材加工協同組合の助成（商工労政課）
 - 公害対策研究事業補助・あじストーンフェア開催補助
- 中小企業指導団体等の助成（商工労政課）
 - 商工会への助成
- 牟礼町中小企業振興融資資金への利子補給（商工労政課）
 - 中小企業振興融資資金への利子補給
- (財)高松市国際交流協会による国際交流活動の促進（秘書課国際交流室）
 - 牟礼エルバートン親善委員会に対する助成
- おいでまい祭りの開催（観光課）
 - おいでまい祭り実行委員会への助成
- むれ源平まちづくり協議会への支援（観光課）
 - むれ源平まちづくり協議会への助成



参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を最大限に発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツなど様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

【 参加のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり
 - ・ 行財政運営の効率化と支所等の機能整備

- (2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり
 - ・ コミュニティ活動の支援

- (3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり
 - ・ 住民との協働の推進
 - ・ 情報公開の推進

合併記念各種イベントの開催<まちづくり戦略プランに掲載>

関係課

市全体事業費(計画額): 2億6,000万円

目的:

平成18年度の1年間を通じて、各種のイベントについて、「合併記念事業」として位置づけた取組みを行い、新しい市の一体感の醸成に資する。

事業の概要:

各イベントに「合併記念」の冠をつけて実施

合併記念各種イベント一覧表

実施月	事業名	担当課
4月	塩江さくらまつり	観光課
	さぬき高松ポンポコまつり	
4月~5月	歴史資料館収蔵品展「新たに仲間となりました」(仮称)	歴史資料館
	美術館「エミール・ガレとドーム兄弟展」	美術館
5月	フラワーフェスティバル・交通安全フェア	公園緑地課 交通安全対策課
	かがわ国際フェスタ2006	国際交流室
	暮らしをみなおす市民のつどい	市民生活課
	保育まつり	こども未来課
5~6月	50歳以上男子ファーストピッチソフトボール大会	市民スポーツ課
6月	石のさとフェスティバル	文化振興課
	ほたるの里フォトコンテスト写真公募展	美術館
	塩江ホテルまつり	観光課
	水道週間行事	水道局
6~7月	さわやかママさんバレーボール大会	市民スポーツ課
7月	アーツフェスタたかまつ2006	文化振興課
	外国人のど自慢・お国自慢交流大会	国際交流室
	福祉のつどい	障害福祉課
	国分寺いん石20周年展(仮称)	市民文化センター
7~9月	市民遠泳大会	市民スポーツ課
8月	屋島山上石あかりロード(仮称)	観光課
	高松まつり	
	塩江温泉まつり	
	ボン・フェスティバルIN香南	
	国分寺町まつり	
8~9月	高松市子ども会フットベースボール大会	社会教育課
9月	牟礼石あかりロード	観光課
	健康まつり	保健センター
	高松市合併ふれあい展	美術館
9~11月	市民スポーツフェスティバル	市民スポーツ課

実施月	事業名	担当課
10月	音のまつり	文化振興課
	高松秋のまつり	観光課
	仏生山竹あかりロード	
	義経・与一合同サミット	
	グリーンフェスタ国分寺盆栽まつり	農林水産課
	ファミリーマラソン in Aji	市民スポーツ課
	合併企画展	歴史資料館
10～11月	菊池寛記念館文学展「愛の手紙」(仮称)	菊池寛記念館
11月	男女共同参画フェスティバル	女性センター
	塩江もみじまつり	観光課
	農産品まつり	農林水産課
	平和記念室収蔵品巡回展	市民文化センター
	健脚大会	市民スポーツ課
	さわやかママさんソフトボール大会	
	60歳以上男子スローピッチソフトボール大会	
	まなびCAN開設5年記念事業	生涯学習センター
	美術館コレクション展	美術館
11～1月	高松冬のまつり	観光課
12月	元気ハツラツドッジボール大会	市民スポーツ課
	国分寺町冬のまつり	観光課
1月	新成人祝賀講演会	社会教育課
	まちづくり講演会	市民生活課
2月	新春子どもフェスティバル	社会教育課
	校区別混成ソフトバレーボール大会	市民スポーツ課
	たかまつ食と農のフェスタ	農林水産課
3月	塩江温泉竹あかりのみち	観光課
通年	サンポートにぎわいづくりイベント	

上記以外のイベントについても、随時、合併記念イベントに位置づけて実施するものとする。

合併記念市民交流・地域間交流事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,840万円

目的:

合併後の新しい市において、速やかな地域の一体化と融合を図るため、旧高松市や合併地区のそれぞれの市民が、新しい市の各地域の特色ある施設や地域資源を知るとともに、地域性のあるまつりにおけるイベントへの参加を通じてふれあうことにより、市民の一体感を醸成することを目的として合併記念市民交流・地域間交流事業を実施する。

事業の概要:

一体感醸成イベントの実施

旧高松市および合併地区における比較的規模の大きい“まつり”において、まつりの会場の一画を利用し、まつりのプログラムと関連づけながら、市民の一体感を醸成するイベント（プログラム）を付加して実施する。

最初のまつりとなる「フラワーフェスティバル・交通安全フェア」において、交流事業スタートイベントを実施する。

対象のまつりおよび開催月

名 称	地区名	開催月
フラワーフェスティバル・交通安全フェア	旧高松	5月
石のさとフェスティバル	庵 治	6月
塩江ホタルまつり	塩 江	6月
アーツフェスタたかまつ2006	旧高松	7月
ボン・フェスティバルIN香南	香 南	8月
塩江温泉まつり	塩 江	8月
牟礼石あかりロード	牟 礼	9月
ひょうげまつり	香 川	9月
高松秋のまつり	旧高松	10月
音のまつり	国分寺	10月

合併記念巡回ふれあいバスツアーの運行

各地域の特色ある施設やまつりなどを巡るバスツアーを運行する。

実施月

6月から11月までの6か月間

回数と対象

月2回実施する。集合地を2か所設けて、各回2台で運行する。訪問する地域ごとの一般ツアーと、特定のジャンルの施設等を巡る特別ツアーを運行する。

訪問見学場所

各地域の特色ある自然・歴史・文化・産業などに関連する施設、スポット、地域に根ざした“まつり”、休憩施設など

合併一周年記念事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費（計画額）：160万円

目 的：

市民の企画提案により、市全域の市民参加による合併一周年を祝う記念事業を実施する。

事業の概要：

市民から企画提案を募集
 市民による実行委員会で運営
 実施時期：1～2月ごろ

新しい総合計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課
 市全体事業費（計画額）：1,000万円

目的：

近隣町との合併による新しい高松市の誕生に伴い、新たな市域における主体的かつ計画的なまちづくりのための根幹的指針として、新しい総合計画を策定する。

策定に当たっては、現行の総合計画や合併地区の建設計画（合併基本計画）を踏まえながら、時代の潮流や国の動向、厳しい財政環境、新しい行政課題への対応、さらには市民の意見を反映する中で、成果主義に基づいた政策評価の考え方を取り入れながら、より戦略的な計画の策定を目指す。

事業の概要：

平成18年度 策定要綱の制定
 まちづくり100人委員会の設置
 市民意識調査の実施（合併地区）
 地区別まちづくり計画基礎調査の実施
 市民提言の募集 など

平成19年度 たかまつタウンミーティングの開催
 基本構想原案作成
 総合計画審議会設置・開催
 パブリックコメントの実施
 基本構想の議決
 主要事業計画策定 など

行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）
 <まちづくり戦略プランに掲載>

企画課行政改革推進室
 市全体事業費（計画額）：60万円

目的：

厳しい行財政環境、地方分権の進展、市町合併後の対応、少子高齢社会の到来、高度情報化の進展、市民の市政への参画意識の高まり等、本市を取り巻く状況に対応し、中核市にふさわしい行財政システムの確立を目指し、次期行財政改革計画を策定する。

また、総合計画の進行管理と行政評価を同一のシステムで行い、「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルの確立を目指すとともに、財務会計システムとの連携および調書作成作業の省力化・効率化を図ることにより、政策・施策・事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性を向上させる。

事業の概要：

次期行財政改革計画の策定

・平成18年度に、平成19年度を計画期間の始期とする次期行財政改革計画を策定。

行政評価システムの構築

- ・新たに策定する総合計画と連動させ、既の実施している事務事業評価に加え、施策評価・政策評価に発展させることにより、一体的な行政評価システムを構築する。
- ・「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルを確立することにより、政策・施策や事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性の向上を図る。

自治会組織の充実とコミュニティづくり

市民生活課

市全体事業費（計画額）：1億5,200万円

目的：

多様化する地域課題の解決に、地域の多様な人々が自らの問題として積極的にかかわり、主体的に参加し、選択・決定するという、地域みずからのまちづくりを推進する。

そのため、それぞれの地域で培われてきた歴史、文化、個性などをいかし、地域活動の基盤となる自治会組織の強化を図るとともに、自治会を中心に、各種の地域団体、NPO、企業等が連携する地域コミュニティ組織の構築を促進する

事業の概要：

自治会活動補助金や自治会加入・結成奨励に対する助成

地域コミュニティ構築の支援

自治会等各種団体と連携し、人材養成事業、地域ふれあい交流事業を実施

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：3,310万円
（うち市全体事業費（計画額）：2,900万円）

事業の概要：

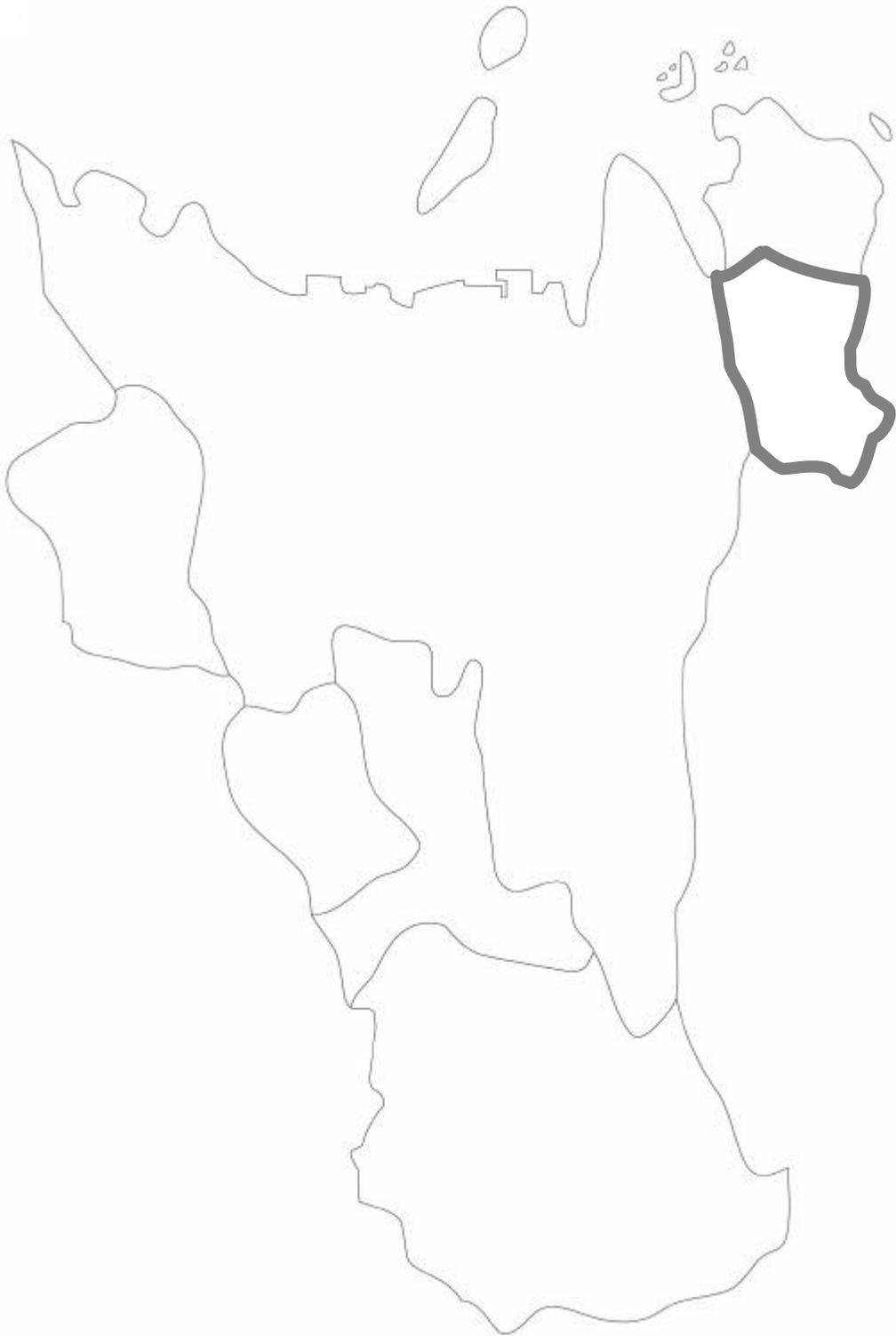
地域審議会の開催（市民生活課）

NPOとの協働の推進（市民生活課）

協働企画提案事業、ボランティア・市民活動センター管理運営委託など

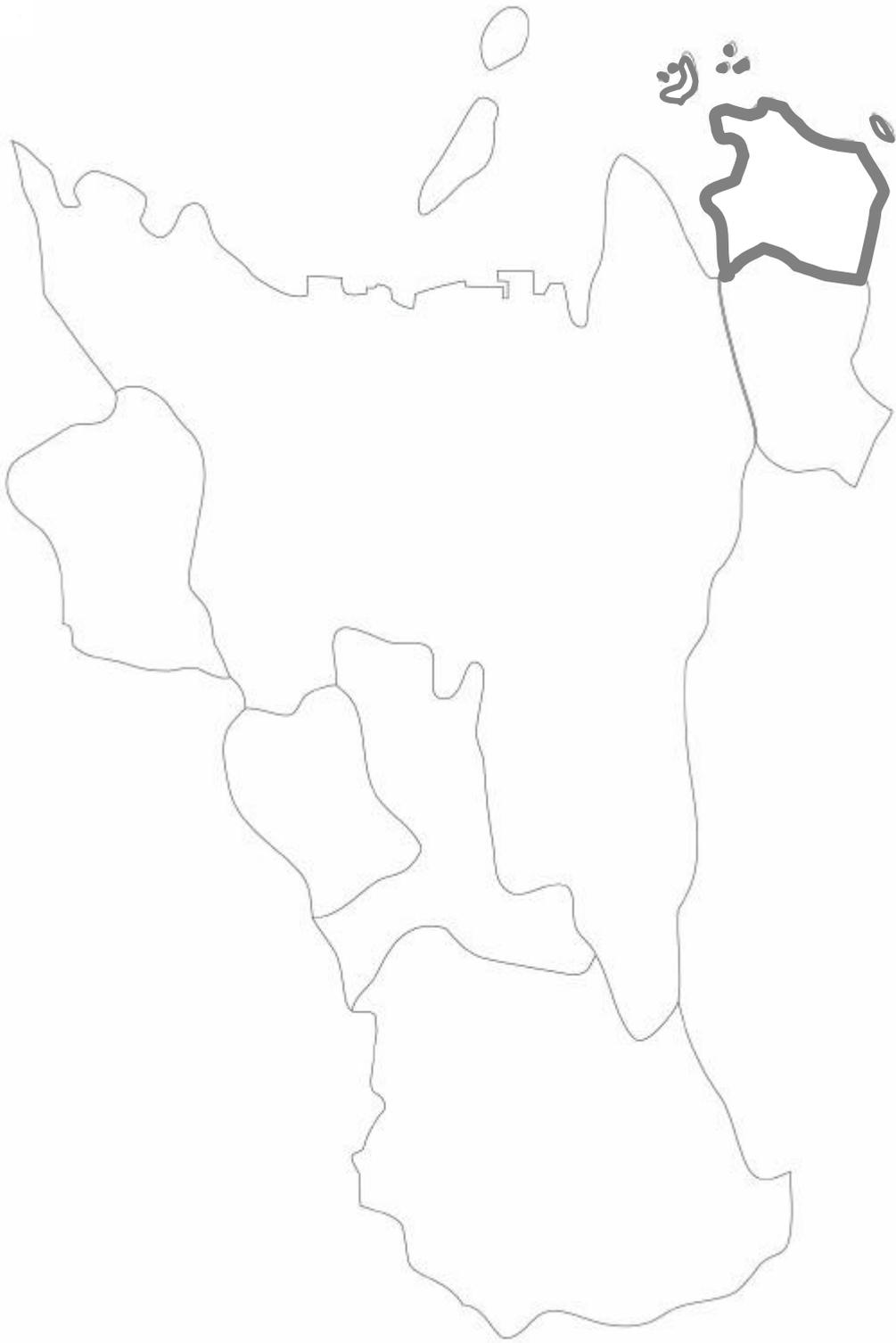
夢励人プロジェクト事業に対する助成（企画課）

情報公開制度および個人情報保護制度の推進（庶務課）



庵治地区建設計画

平成18・19年度実施計画



目 次

庵治地区の実施計画	45
連帯のまちづくり	51
地域包括支援センターの設置運営	52
社会福祉施設の整備促進	53
留守家庭児童会の実施	53
男女共同参画社会の形成	53
重点取り組み事項関連事業の推進	54
循環のまちづくり	55
水道管網の整備	56
下水道汚水施設の整備（東部処理区）	56
環境基本計画の策定	57
ごみ処理基本計画の策定	58
竜王山公園（仮称）の整備	58
重点取り組み事項関連事業の推進	59
連携のまちづくり	61
ポンプ場の整備（浸水対策）	62
急傾斜地崩壊の防止	62
防災行政無線システムの整備	62
学校施設の耐震化	63
学校教育環境の整備	63
学校図書館の活性化	64
移動図書館巡回サービスの実施	64
新成人祝賀講演会の開催	65
CATVの整備	65
電子市役所構築の推進	66
重点取り組み事項関連事業の推進	66
交流のまちづくり	69
観光地屋島の活性化	70
観光振興計画の策定	70
石のさとフェスティバルの開催	70
香川型水田農業振興総合対策の推進	71
認定農業者の育成・確保の推進	72
「高松産ごじまん品」生産・消費の促進	72
市道の整備	73
漁港の整備	73
港湾の整備	73
重点取り組み事項関連事業の推進	74
参加のまちづくり	75

合併記念各種イベントの開催	76
合併記念市民交流・地域間交流事業の実施	77
合併一周年記念事業の実施	78
新しい総合計画の策定	79
行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）	79
自治会組織の充実とコミュニティづくり	80
重点取り組み事項関連事業の推進	80

庵治地区の実施計画

はじめに

庵治地区は、三方が瀬戸内海に面した半島で、風光明媚な景観を擁するとともに、瀬戸内海の豊かな水産資源に恵まれ、香川県有数の漁業の町として発展し、最近では映画のロケ地として全国的な知名度を得ている。また、良質な花崗岩「庵治石」の産地で、全国有数の石材加工の生産地域が形成され、城岬公園や緑道公園やすらぎの道などに多くの石の彫刻が展示されており、身近に芸術に触れることのできる地域でもある。

このような庵治地区の優れた財産は、海や自然を舞台としたレクリエーションや保養の場を提供しており、地区住民のみならず、近隣の住民のやすらぎとうるおい、学習などの場として活用できる可能性をもっている。

今後、観光・交流機能の整備と受け入れ態勢の形成により、瀬戸内海を活用した広域的交流拠点としての役割を担うことが期待されており、建設計画において庵治地区は「豊かな自然と特徴ある地域産業を生かし、創造的生活を育てる海の交流拠点ゾーン」として位置づけられている。

こうした役割と機能を踏まえ、個性ある活力に満ちた地域社会の実現に向けて、庵治地区のまちづくりを展開する。

実施計画の期間：平成18・19年度

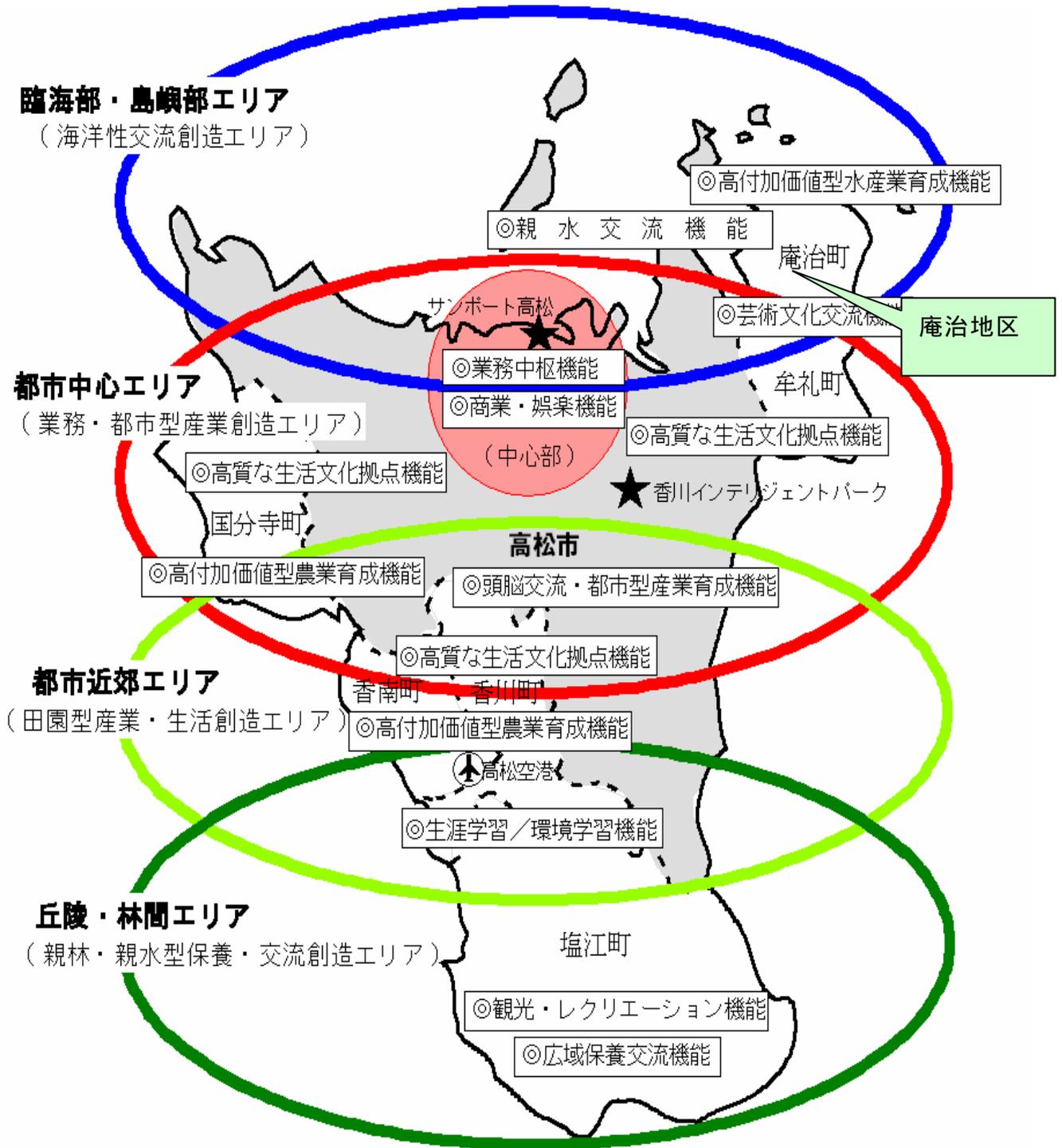
実施計画事業数：68事業（庵治地区のみの事業：31事業、市全体等事業：37事業）

概算事業費

単位：万円

区 分	国・県支出金	市債	その他	一般財源	事業費
庵治地区のみの事業	14,960	51,380	60	35,670	102,070
市全体等の事業	69,415	30,690	73,110	196,825	370,040
合 計	84,375	82,070	73,170	232,495	472,110

市全体等の事業とは、全市的事业および旧高松市や合併各町など、複数の地区で実施する事業で、各地区ごとに事業費を区別することができない事業を指し、それぞれの事業の事業費（計画額）のところに、「市全体」または「
・
地区」などと記載しているものである。



(注) ◎は特に重点的な育成が図られるべき機能

実施計画事業の概要について

連帯のまちづくり

庵治地区では、少子・高齢化が進行する中で、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

実施計画事業一覧

- ・ 地域包括支援センターの設置運営
- ・ 留守家庭児童会の実施
- ・ 重点取り組み事項関連事業の推進
- ・ 社会福祉施設の整備促進
- ・ 男女共同参画社会の形成

循環のまちづくり

南には霊峰五剣山がそびえ、三方を瀬戸内海に囲まれた庵治地区の豊かな自然環境は、生活にうるおいとやすらぎを提供する貴重な財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、海洋資源など良好な環境機能を維持・増進させるとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、環境への負荷の少ないシステムの形成、地域の歴史や石のまちとしての個性を生かした快適なふれあい空間の形成などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環のまちづくりを進める。

実施計画事業一覧

- ・ 水道管網の整備
- ・ 環境基本計画の策定
- ・ 竜王山公園（仮称）の整備
- ・ 下水道汚水施設の整備（東部処理区）
- ・ ごみ処理基本計画の策定
- ・ 重点取り組み事項関連事業の推進

連携のまちづくり

庵治地区は、半島地域であり、高潮被害や津波災害の発生の可能性など防災面でも大きな課題を有している一方、豊かな海洋性の自然を擁していると同時に、「船かくし」や「墓標の松」をはじめとする源平合戦ゆかりの史跡が残っており、庵治締太鼓、庵治盆踊りなどの貴重な文化財も数多く保存されている。

このため、住民と行政が知恵を出しあい、連携することによって、安全・安心な地域環境を築き、豊かな自然に抱かれた環境のもとでの教育・学習環境の充実、地域固有の歴史や文化を生かしたまちづくりを推進することなどにより、安全・安心、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

実施計画事業一覧

- ・ ポンプ場の整備（浸水対策）
- ・ 防災行政無線システムの整備
- ・ 学校教育環境の整備
- ・ 移動図書館巡回サービスの実施
- ・ C A T Vの整備
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進
- ・ 急傾斜地崩壊の防止
- ・ 学校施設の耐震化
- ・ 学校図書館の活性化
- ・ 新成人祝賀講演会の開催
- ・ 電子市役所構築の推進

交流のまちづくり

庵治地区は、豊かな海産資源に恵まれた漁業と庵治石の全国的なブランド力をもつ石材産業を中心に発展してきており、これら貴重な資源を活用し、“海との交流”を軸とした地場産業、観光交流の振興を図るまちづくりを進めていくことが重要である。

また、サンポート高松では、国際的な会議・観光・交流の舞台として、集客型産業、交流産業を牽引力とする経済の浮揚と地域の活性化が期待されており、庵治地区でも、豊富な地域資源を効果的に活用した観光・交流、集客によるまちづくりを同時に進めていく必要がある。

このため、歴史、石材加工技術などを活用した交流の振興を図り、活力ある産業の創出を促進するとともに、これらを支える交流基盤（交通・情報通信）の整備により、豊かな交流資源を生かした活気あふれるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

実施計画事業一覧

- ・ 観光地屋島の活性化
- ・ 石のさとフェスティバルの開催
- ・ 認定農業者の育成・確保の推進
- ・ 市道の整備
- ・ 港湾の整備
- ・ 観光振興計画の策定
- ・ 香川型水田農業振興総合対策の推進
- ・ 「高松産ごじまん品」生産・消費の促進
- ・ 漁港の整備
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

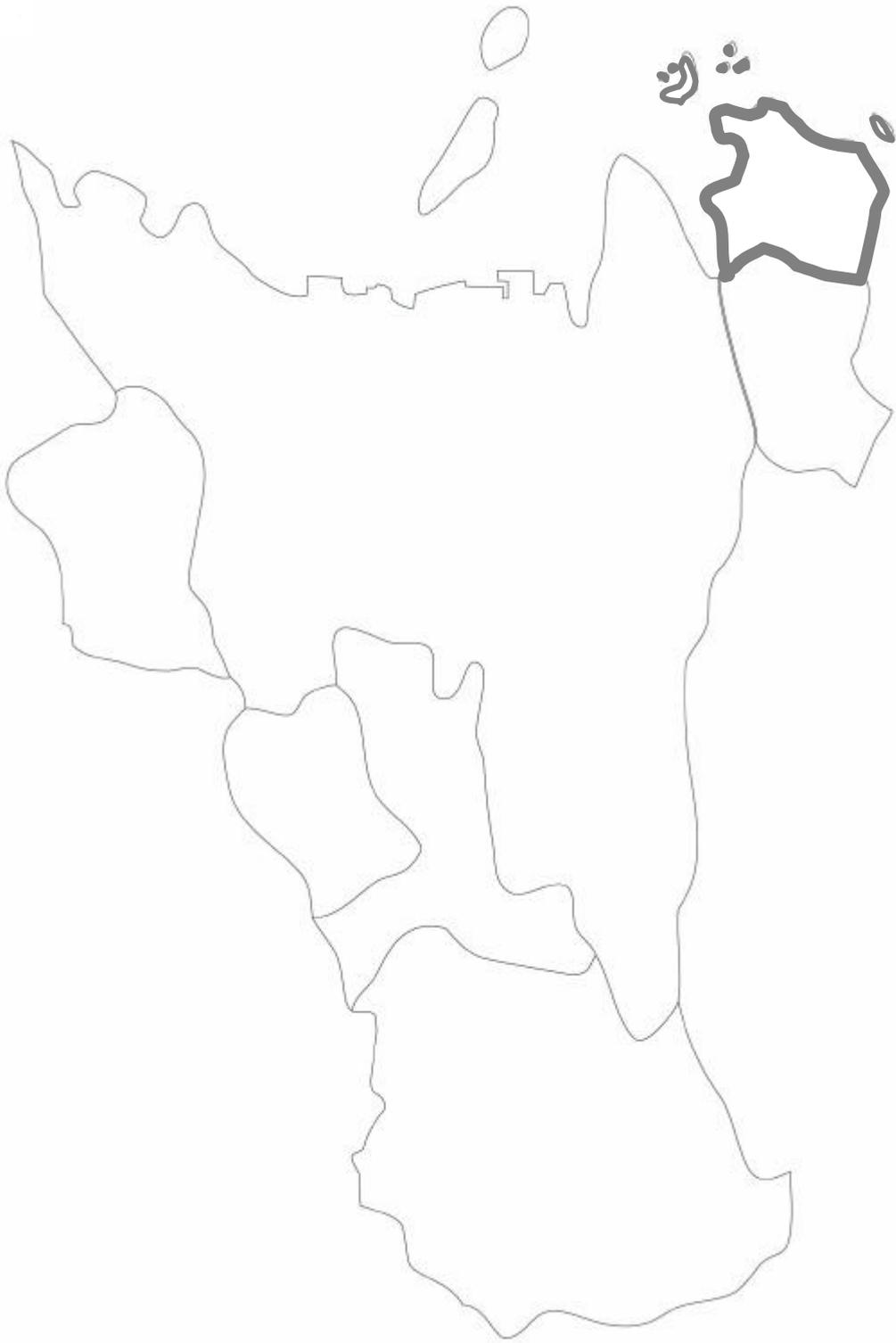
参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を可能な限り発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを強化し、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツなど、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

実施計画事業一覧

- ・ 合併記念各種イベントの開催
- ・ 合併一周年記念事業の実施
- ・ 新しい総合計画の策定
- ・ 自治会組織の充実とコミュニティづくり
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進
- ・ 合併記念市民交流・地域間交流事業の実施
- ・ 行財政改革の推進
(行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築)



連帯のまちづくり

庵治地区では、少子・高齢化が進行する中で、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち。さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

【 連帯のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり
 - ・ 地域福祉の充実
 - ・ 施設福祉・在宅福祉サービスの充実
 - ・ 社会参加の促進
 - ・ 地域社会のバリアフリー化の促進

- (2) 保健と医療の充実したまちづくり
 - ・ 健康づくりの推進
 - ・ 地域医療体制の充実

- (3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり
 - ・ 保育サービスの充実
 - ・ 子育て支援サービスの充実

- (4) 基本的人権を尊重するまちづくり
 - ・ 人権尊重社会の実現
 - ・ ハンセン病に関する啓発
 - ・ 男女共同参画社会の形成

地域包括支援センターの設置運営<まちづくり戦略プランに掲載>

介護保険課

市全体事業費(計画額): 10億2,900万円

目的:

公正・中立な立場から、地域の高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために必要な支援を行うとともに、介護保険サービスのみならず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、支えあいなどの多様な社会資源を有機的に結びつけ、高齢者の心身の状態の変化に応じて生活の質が低下しないように適切なサービスを継続的に提供するため、地域包括支援センターの設置・運営を行う。

事業の概要:

地域包括支援センターの設置・運営

設置か所数: 8か所(全て直営)

センター	設置予定場所
中央	高松市保健センター
一宮	コトデン一宮駅前店舗
古高松	古高松公民館
山田	旧山田支所
勝賀	ふれあい福祉センター勝賀
香川	香川保健センター
(香南)	香南保健センター
(塩江)	塩江保健センター
牟礼	牟礼老人福祉センター
(庵治)	庵治保健センター
国分寺	国分寺保健センター

実施時期 : 平成18年10月設置運営開始

センターの機能:

公正・中立性を確保し、要支援・要介護になるおそれのある高齢者や軽度の要介護認定者への介護予防マネジメント、ケアマネジャー支援、困難事例の相談、高齢者の権利擁護を推進するための活動拠点とする。

・ 共通的支援基盤構築

地域に、総合的、重層的なサービスネットワークを構築する。

・ 総合相談支援・権利擁護

高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぐ。また、虐待の防止など高齢者の権利擁護に努める。

・ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援する。

・ 介護予防マネジメント

介護予防事業、新たな予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なマネジメントを行う。

社会福祉施設の整備促進<まちづくり戦略プランに掲載>

障害福祉課
事業費(計画額): 3,850万円

目的:

社会福祉法人が行う身体障害者・知的障害者福祉施設、精神障害者社会復帰施設の整備に対し助成することにより、障害者の特性やニーズに応じた福祉施設の充実を図る。

事業の概要:

障害者施設の整備を促進し、施設福祉サービスの充実を図るため、高松市社会福祉法人助成条例等に基づき、社会福祉法人が行う知的障害者福祉施設整備に対し、助成を行う。

平成19年度

知的障害者授産施設(通所)

- ・設置主体: 社会福祉法人
- ・設置数: 1か所

知的障害者デイサービスセンター

- ・設置主体: 社会福祉法人
- ・設置数: 1か所

留守家庭児童会の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

社会教育課
事業費(計画額): 750万円

目的:

放課後、留守家庭で保護監督に欠ける小学校低学年の児童を対象に実施している留守家庭児童会を充実することにより、保護者の子育て支援と児童の健全育成を図る。

事業の概要:

庵治小学校の余裕教室に開設している留守家庭児童会に空調設備(エアコン)を設置

男女共同参画社会の形成<まちづくり戦略プランに掲載>

女性センター
市全体事業費(計画額): 5,550万円

目的:

平成14年度スタートの「たかまつ男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画に

関する意識高揚を図るとともに、同プランに続く「第2次たかまつ男女共同参画プラン」(仮称)の策定を行う。また、平成18年度から男女共同参画センター(女性センターを名称変更)に指定管理者制度を導入し、より柔軟な企画運営および施設管理を図る中で、男女共同参画社会の形成を推進する。

事業の概要：

「たかまつ男女共同参画プラン」の推進
 「第2次たかまつ男女共同参画プラン」(仮称)の策定
 男女共同参画都市宣言推進事業の実施
 高松市男女共同参画市民フェスティバルに対する助成
 審議会等委員への女性登用の推進
 男女共同参画センターの指定管理者による管理への移行

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
 事業費(計画額): 3億5,960万円
 (うち市全体事業費(計画額): 3億5,730万円)

事業の概要：

介護予防の推進(保健所保健センター)
 栄養改善、機能訓練、認知症予防、介護予防教室など
 シルバー人材センターの活動促進(長寿社会対策課)
 就業を通じて生きがいの増進と社会活動への参加
 人権教育の推進(人権教育課)
 親子で人権を考える会・市民講座・研修会の開催、指導資料の作成など
 ハンセン病に関する啓発(人権啓発課)
 大島青松園入所者との交流促進、啓発講演会、全国ハンセン病療養所所在市町村連絡協議会の開催(平成19年度)

循環のまちづくり

南には霊峰五剣山がそびえ、三方を瀬戸内海に囲まれた庵治地区の豊かな自然環境は、生活にうるおいとやすらぎを提供する貴重な財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、海洋資源など良好な環境機能を維持・増進させるとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、環境への負荷の少ないシステムの形成、地域の歴史や石のまちとしての個性を生かした快適なふれあい空間の形成などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環のまちづくりを進める。

【 循環のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり

- ・ 海岸・河川の保全と活用
- ・ 森林の保全と活用

(2) 水資源を大切にすまちづくり

- ・ 上水道等の整備
- ・ 節水対策の推進
- ・ 下水道等の整備

(3) リサイクル型社会を構築すまちづくり

- ・ 環境衛生の充実
- ・ 地域環境の保全

(4) 自然環境と親しむ快適なまちづくり

- ・ 公園・緑地・遊歩道の整備

水道管網の整備

水道局水道整備課・浄水課
事業費（計画額）：4,030万円

目的：

庵治地区において水質基準に適合した安全で良質な水を安定的に供給するため、水源の確保と浄水施設や配水施設の整備、老朽施設の更新などを計画的に推進するほか、高所地区での水圧不足の解消を図るため、水圧増強用配水管の整備を進める。

事業概要：

平成18年度	老朽石綿セメント管の更新	約 50 m
	配水管の布設（湯谷地区ほか）	約 560 m
	高圧配水池テレメータ設置	
平成19年度	配水管の布設（北山地区）	約 380 m

キーワード：水質基準

・健康に関する項目

体重50kgの人が、一日に飲用する水の量を2リットルとし、食物、空気など水以外からの摂取も考慮しながら、人間が生涯にわたって連続摂取しても健康に影響が生じない水準を基準値としている。

・水道水が有すべき性状に関する項目

色、濁り、においなど生活利用上あるいは腐食性など施設管理上障害の生ずるおそれのある項目。

障害を生ずる濃度レベルを基に評価を行い、項目の選定、基準値の設定をしている。

下水道汚水施設の整備（東部処理区）

下水道建設課
事業費（計画額）：2億8,000万円

目的：

庵治地区における快適な居住環境の確保と海や河川など公共用水域の水質保全を図るため、汚水枝線管渠の整備など下水道施設の整備を進める。

事業の概要：

平成18年度			
	汚水管渠工事	150 mm	約 1,500 m
平成19年度			
	汚水管渠工事	150 mm	約 1,500 m

■下水道普及状況

平成17年3月31日現在

	行政区域人口 A	事業計画処理人口 B	処理区域内人口 C	普及率 C/A
市域全体	421,213人	290,842人	221,289人	52.5%
庵治地区	6,465人	4,760人	2,693人	41.7%

■下水処理場の概要

施設名	敷地面積 ha	処理方法	処理能力 (m ³ /日最大)
庵治浄化センター	約 0.69	オキシデーション ディッチ法	1,750

■下水道の計画

平成18年1月現在

処理区名	全体計画				事業計画区域	
	都市計画決定面積 (ha)	計画区域 (ha)	計 (ha)	計画人口 (人)	事業計画区 域 (ha)	計画人口 (人)
市域全体	6,161.4	1,735.1	7,896.5	316,600	6,414.6	290,842
庵治地区		320.0	320.0	5,500	145.5	4,760

キーワード：水質の保全

汚水が直接、公共用水域に排出されると、水質の汚濁を進行させる。下水道は、河川、海域等の公共用水域に排出される汚水を収集し処理場において処理した後、浄化されたきれいな水を水域に還元することから、公共用水域の汚濁の進行をくい止める一方、水域の自然浄化作用を促進し、水質保全に大きな役割を果たしている。

環境基本計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

環境保全課

市全体事業費（計画額）：560万円

目的：

高松市環境基本計画（平成11年2月策定）策定後の社会情勢や環境を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併による市域の拡大や新たな環境問題等に的確に対応するため、環境基本計画を策定する。

事業の概要：

○平成18年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・基礎調査（自然環境調査・生物調査・環境意識アンケート・市域からの温室効果ガス排出量算定調査ほか）の実施

平成19年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・環境基本計画の策定

ごみ処理基本計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課

市全体事業費(計画額): 70万円

目的:

高松市ごみ処理基本計画(平成5年3月策定)策定後の社会情勢、廃棄物を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併地区を含めた新市域での安定的かつ効率的なごみ処理を行うため、新たな減量化率、資源化率の設定を含めた、ごみ処理基本計画を策定する。

事業の概要:

平成18年度

- ・庁内検討組織の設置
- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・市民提案の募集

平成19年度

- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・ごみ処理基本計画の策定

竜王山公園(仮称)の整備<まちづくり戦略プランに掲載>

公園緑地課

事業費(計画額): 2億5,700万円

目的:

庵治半島東部の「パイロット地区」において、瀬戸内海を眺望できる標高239mの竜王山の地理的条件を生かし、誰もが気軽に自然とふれあえ、憩いの場として利用できる広場や散策路を整備する。

事業の概要:

用地購入、実施設計など

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：3,440万円
（うち市全体事業費（計画額）：610万円）

事業の概要：

合併処理浄化槽設置の助成（下水道管理課）

約60基

生活排水路の整備（河港課）

約20m

河川の改良（河港課）

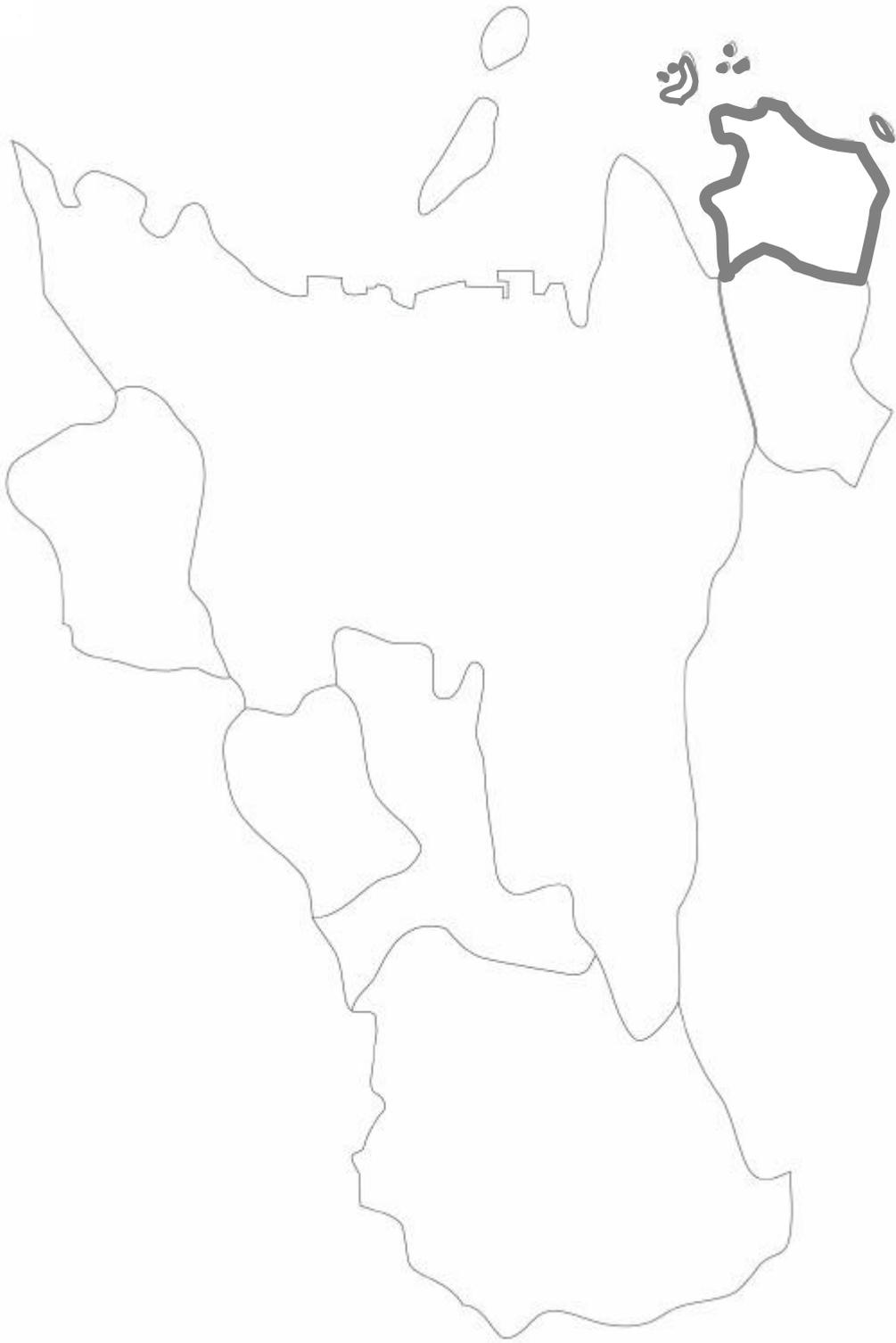
上長者川の改良 約20m

不法投棄監視体制の推進（廃棄物指導課）

ごみの不法投棄監視体制の充実に向けて、不法投棄防止用監視カメラの設置、パトロール強化等を進める

ISO14001の推進（環境保全課）

ISO14001の定期審査など



連携のまちづくり

庵治地区は、半島地域であり、高潮被害や津波災害の発生の可能性など防災面でも大きな課題を有している一方、豊かな海洋性の自然を擁しているとともに、「船かくし」や「墓標の松」をはじめとする源平合戦ゆかりの史跡が残っており、庵治締太鼓、庵治盆踊りなどの貴重な文化財も数多く保存されている。

このため、住民と行政が知恵を出しあい、連携することによって、安全・安心な地域環境を築き、豊かな自然に抱かれた環境のもとでの教育・学習環境の充実、地域固有の歴史や文化を生かしたまちづくりを推進することなどにより、安全、安心、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

【 連携のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり

- ・ 自然災害対策の推進
- ・ 消防・防災体制の整備
- ・ 防犯対策の充実
- ・ 交通安全対策の充実

(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり

- ・ 家庭教育の充実
- ・ 学校教育の充実
- ・ 教育環境の整備
- ・ 生涯学習・生涯スポーツの充実

(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり

- ・ 地域情報化の推進
- ・ 電子市役所の構築

(4) 歴史と伝統文化を生かしたまちづくり

- ・ 芸術文化の育成と交流の促進
- ・ 歴史と文化の保存・継承

ポンプ場の整備（浸水対策）

河港課
事業費（計画額）：3,800万円

目的：

住民が安全で安心して暮らすことのできる生活基盤や環境を整備するため、高潮により浸水被害を受ける地域における浸水対策として、既設のポンプ場施設の改修等を進める。

事業の概要：

汐入川ポンプ場のポンプ施設の自動化

急傾斜地崩壊の防止

河港課
事業費（計画額）：2,400万円

目的：

急傾斜地崩壊防止事業を進めることにより、住民が安全で安心して暮らすことのできる生活環境の整備を推進する。

事業の概要：

鞍谷地区（平成18年度）、王の下地区（平成19年度）においてブロック積み工法ほかで崩壊防止対策事業を実施

防災行政無線システムの整備＜まちづくり戦略プランに掲載＞

庶務課防災対策室
市全体事業費（計画額）：3億3,100万円

目的：

災害時における緊急情報伝達システムを構築するとともに庵治地区で既に運用している防災行政無線施設を、新市の組織体制に合わせて再構築し、全市域における防災行政無線設備として拡張整備することにより、市民に対する情報提供や避難勧告・指示を迅速に行う。

事業の概要：

平成18年度

市役所災害対策本部（基地局）のデジタル化整備および屋外子局13局の整備
 平成19年度
 ケーブルテレビ・コミュニティFMなど既設システムとの連携・整備
 平成20年度以降
 旧高松市消防団屯所52箇所および合併地区のデジタル化整備など

学校施設の耐震化<まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課
 事業費（計画額）：160万円

目的：

学校施設の耐震診断を行い、その結果、大地震時に倒壊の危険性があるとされた校舎等について、計画的に耐震化を行い、児童・生徒等の安全を確保する。

事業の概要：

庵治第二小学校校舎、庵治小学校屋内運動場の耐震診断の実施
 平成17年3月に見直しされた高松市地域防災計画で示された東南海・南海地震の想定震度6弱に基づき、耐震診断結果の評価（a, b, c, dの4段階）のうち、倒壊の危険性が高いa評価およびb評価の校舎等について、a評価のものから順次耐震化を行う。

学校教育環境の整備<まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課
 合併地区全体事業費（計画額）：1,680万円

目的：

学校への防犯監視システム、扇風機の設置などを行い、児童・生徒にとって、安全で快適な、より良い教育環境を創出する。

事業の概要：

学校防犯監視システムの整備（小学校）
 正門等に防犯カメラ、センサーを設置
 職員室でアラーム音とともに、モニタ表示し、画像を録画
 平成20年度末までに、全小学校に整備予定
 教室への扇風機の設置（小・中学校）
 平成18年度末までに全小・中学校に設置予定
 自動体外式除細動器（AED）の設置（中学校）
 平成18年度末までに全中学校に設置予定

学校図書館の活性化<まちづくり戦略プランに掲載>

学校教育課

合併地区（牟礼地区を除く）全体事業費（計画額）：2,440万円

学校図書館指導員の効果的な配置を通じ、児童・生徒の読書活動を一層推進し、健全育成を図る。

事業の概要：

学校図書館指導員を全小・中学校に効果的に配置し、蔵書の貸し出し、返却、児童生徒への対応、データベースの整理等を行う。

学校図書館指導員の増員計画

地 域	旧高松市	庵治・塩江・香川・香南・国分寺地区	牟礼地区
小・中学校数	57校	16校	4校
配 置 人 員	増員数	6名	0名
	増員後	23名	4名
配置基準	6時間勤務/1人1日、 児童生徒数700名以上の学校：週3日配置 児童生徒数200名から700名未満の学校：週2日配置 児童生徒数200名未満の学校：週1日配置		4時間勤務/ 1人1日、 週5日配置

小・中学校図書データベース用パソコンを整備

移動図書館巡回サービスの実施<まちづくり戦略プランに掲載>

中央図書館

市全体事業費（計画額）：1億5,800万円

目 的：

図書館から遠隔地にあり、図書館の利用が不便な市民等に対し図書館サービスを行う。

事業の概要：

移動図書館車による図書館サービスの充実

合併に伴い移動図書館車を1台（積載図書冊数3,000冊程度）増車し、3台の図書館車で市内の92ステーション（合併地区23ステーションを含む）を毎月巡回する。（平成18年2月から実施）

【平成18年度巡回ステーション】

- ・旧高松市（70箇所）
- ・塩江地区（3箇所） 塩江支所・上西連絡事務所・塩江小学校
- ・牟礼地区（2箇所） 牟礼南小学校・牟礼北小学校
- ・庵治地区（3箇所） 深間庭球場・鎌野自治会館・庵治漁業協同組合

- ・香川地区（8箇所） 香川支所・香川総合体育館・浅野小学校・浅野公民館
大野公民館・大野小学校・川東公民館・東谷公民館
- ・香南地区（4箇所） 香南歴史民俗郷土館・香南公民館・香南幼稚園・池西農村
環境改善センター
- ・国分寺地区（3箇所） 福家児童館・讃岐国分寺跡資料館・新居東児童館

香川図書館（仮称）開館時に、香川町の移動図書館サービスステーション、香南町の移動図書館サービスステーションは縮小

新成人祝賀講演会の開催

社会教育課
市全体事業費（計画額）：150万円

目的：

講演を通じて、次代を担う新成人に新たな視点づくりを促し、豊かな人間形成を目指す。

事業の概要：

平成19年高松市成人式において、新成人を対象に講演を行う。

開催日時 平成19年1月8日（月・成人の日）

開催会場 サンポートホール高松大ホール

参加定員 1,500人

CATVの整備<まちづくり戦略プランに掲載>

広聴広報課
市全体事業費（計画額）：2億円

目的：

地域における総合的情報通信網として、CATV網の整備および合併地区へのエリア拡大を促進し、CATVによる市政情報の提供等情報通信機能の充実を図る。

事業の概要：

CATV関連施設整備事業に対する助成

- ・未整備合併地区へのエリア拡大

キーワード：CATV

光ファイバーケーブルなどを利用した特定地域対象の有線放送テレビ。自主制作を含む様々な番組を多チャンネルで放送する。ケーブルの有する大容量と双方向機能を活用し、放送と通信サービスを総合的に提供するメディアとして期待されている。

(Cable Television)

電子市役所構築の推進<まちづくり戦略プランに掲載>

情報システム課

市全体事業費(計画額): 7,200万円

目的:

電子市役所構築により、市民サービスの拡充を図るとともに、市町合併による事務処理の増加や更なる事務の効率化・省力化に対応する。

事業の概要:

平成18年度

- ・電子調達(CALS/EC)システム稼働(電子入札)
- ・戸籍総合システム稼働(現在戸籍・附票)
- ・財務会計システム再構築(調査検討、仕様書作成)
- ・生涯学習情報システム再構築(かがわ電子自治体システムへの移行)

平成19年度

- ・戸籍総合システム稼働(除籍、改製原戸籍)
- ・財務会計システム再構築(システム開発)
- ・新生涯学習情報システム稼働(かがわ電子自治体システム内生涯学習施設予約部分)

平成20年度

- ・新財務会計システム稼働(予算編成)

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費(計画額): 6億5,230万円

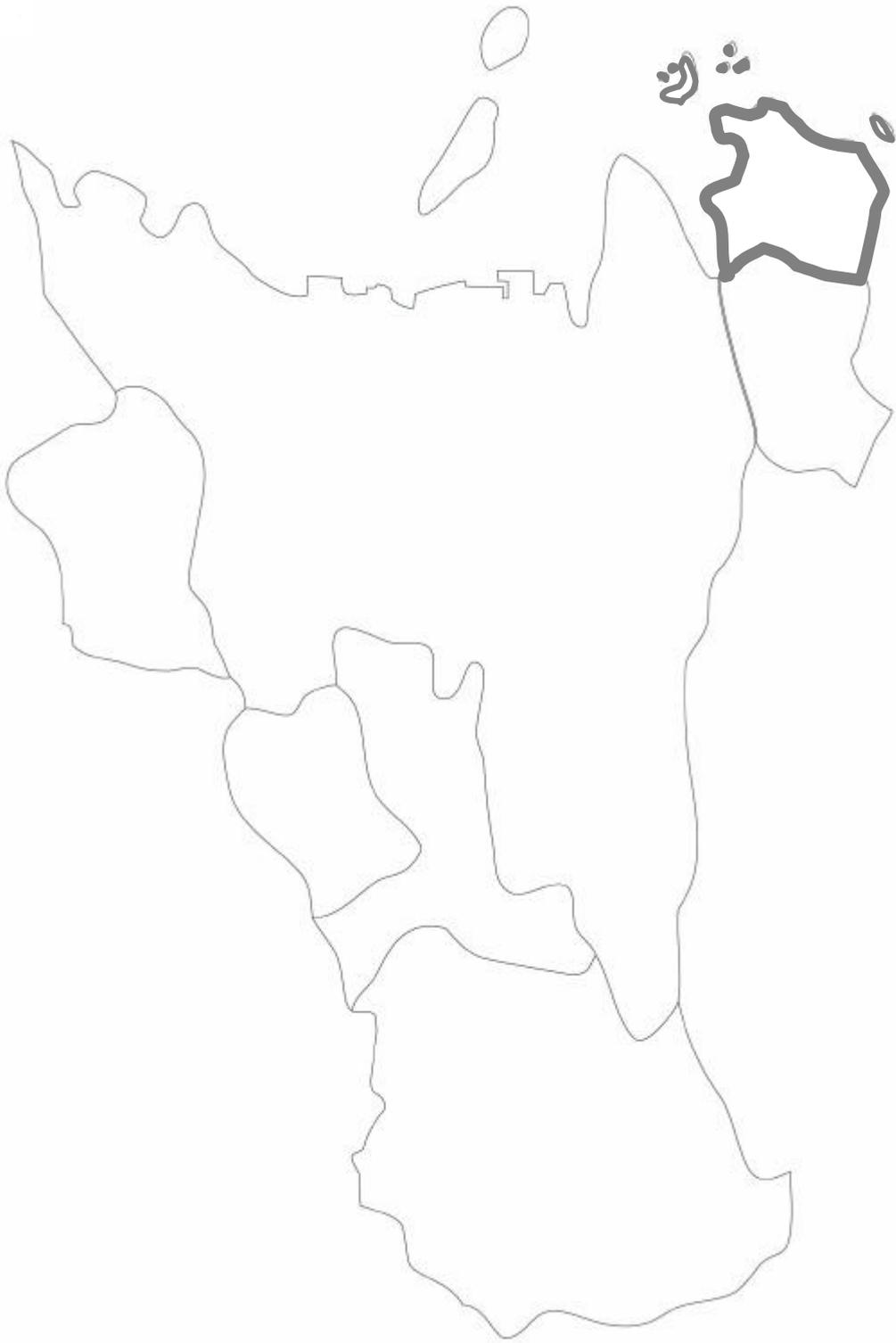
(うち市全体事業費(計画額): 6億1,070万円)

事業の概要:

自主防災組織等の結成促進(消防局予防課)

交通安全施設の整備(道路課)

-
- 自転車歩行者道、交差点改良、道路標識、区画線、防護柵、道路照明灯、視線誘導標、道路反射鏡、交差点案内標識などの整備
 - 防犯灯の整備促進（市民生活課）
 - 給食センターの改修（教育部総務課）
 - 庵治給食センターの外壁改修など
 - 子どもの居場所づくりの推進（社会教育課）
 - 子どもの居場所づくり指導者の養成、のびのび子どもプラザモデル事業の実施、子どもわくわく体験支援事業の実施
 - 庵治地区子ども会の育成（社会教育課）
 - 校区子ども会への助成
 - まなびCAN開設5年記念事業の開催（生涯学習センター）
 - テレビ共同受信施設地上波デジタル放送対応の推進（社会教育課）
 - 庵治公民館のテレビ共同受信施設をアナログ放送・デジタル放送併用に改修
 - 地籍調査の実施（土地改良課）
 - 伝統文化の保存・継承の支援（文化振興課）
 - 住吉神社のお船、庵治踊り、庵治締太鼓
 - 庵治文化館の運営（文化振興課）



交流のまちづくり

庵治地区は、豊かな海産資源に恵まれた漁業と庵治石の全国的なブランド力をもつ石材産業を中心に発展してきており、これら貴重な資源を活用し、“海との交流”を軸とした地場産業、観光交流の振興を図るまちづくりを進めていくことが重要である。

また、サンポート高松では、集客型産業、交流産業を牽引力とする経済の浮揚と地域の活性化が期待されている。

このため、こうした動向と連携し、歴史、石材加工技術などの地域資源を効果的に活用した交流の振興を図り、活力ある産業の創出を促進するとともに、これらを支える交流基盤（交通・情報通信）の整備により、豊かな交流資源を生かした活気あふれるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

【 交流のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 魅力ある観光・交流を育てるまちづくり
 - ・海の交流拠点の形成
 - ・観光・交流イベントの充実

- (2) 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり
 - ・農業の振興
 - ・水産業の振興
 - ・石材産業の振興
 - ・商工業の振興
 - ・コミュニティビジネス等の振興

- (3) 広域的な交流を育てるまちづくり
 - ・地域間交流の促進
 - ・国際交流の促進と人材の育成

- (4) 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり
 - ・道路の整備
 - ・公共交通の整備

観光地屋島の活性化<まちづくり戦略プランに掲載>

観光課

市全体事業費(計画額): 1,170万円

目的:

本市の代表的な観光地である屋島の活性化を図るとともに、観光客の誘致を促進する。

事業の概要:

観光周遊ぐるりんバス(仮称)等運行事業

サンポート高松から、屋島山上、牟礼、庵治を巡る観光周遊バスを運行

屋島山上石あかりロード(仮称)

庵治石を利用した石あかりロードを屋島山上に設置

義経・与一合同サミットの開催

源義経ゆかりの14自治体と那須与一ゆかりの7自治体による合同サミットの開催

源平屋島運営協議会(仮称)の設置

義経ロードウォーク・源平屋島納涼祭の開催

観光振興計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

観光課

市全体事業費(計画額): 370万円

目的:

市町合併による、新しい市域の地理的優位性と多様な人的・物的観光資源を最大限に活用し、地域の個性や特色を生かすとともに、観光を取り巻く環境の変化に対応した持続可能な観光振興施策を展開するため、現行の観光振興計画に替えて、新しい観光振興計画を策定する。

事業の概要:

新しい本市観光振興計画を策定

環境の変化に対応し持続可能な観光振興を図ることができるよう、行政の過度の関与を控え、民間の自助努力を引き出していくことを基本的なコンセプトとする計画を策定(目標年次:平成29年度)

石のさとフェスティバルの開催<まちづくり戦略プランに掲載>

文化振興課

牟礼・庵治地区事業費(計画額): 6,000万円

目 的：

全国の三大石材産地の一つに数えられ、優秀な石材加工技術者を有する牟礼地区と庵治地区を中心に、国内外の作家が彫刻を制作し展示することにより、石の彫刻家の育成と石材業界の更なる技術向上、産業振興を図るとともに、市民が芸術作品に触れる場を提供し、高松の文化芸術の発展に寄与する。

事業の概要：

第7回石のさとフェスティバル開催（平成18年5月1日～6月30日）

石の彫刻コンクール

- ・応募作品の中から入選作50点を審査・決定し、庵治地区城岬公園等に展示する。
その中から、石の彫刻国際シンポジウムへの招待者や優秀賞・奨励賞等を決定する。

石の彫刻国際シンポジウム

- ・石の彫刻コンクール展優秀作品作家6名と国内外の招待作家6名が地元滞在中に石材業者のサポートのもと石の彫刻作品を公開制作し、完成作品は庵治地区城岬公園等に展示する。

香川型水田農業振興総合対策の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：1億2,800万円

目 的：

国は平成19年度から、経営規模が4ha以上の認定農業者や20ha以上の集落営農などに施策を重点化・集中化し、展開しようとしている。小規模農家が大半である本市農業の現状を考慮して、農業従事者の高齢化・後継者不足等から作業の省力化・効率化を目指し、農業機械の共同利用の促進、さらには、農作業支援体制の確立による農業振興を図る。

事業の概要：**米改革推進リーダー支援事業**

売れる米づくりや水田農業の望ましい生産構造の実現を図るため、米改革推進リーダーを設置し、調整活動などを実施する。

地域水田農業ビジョン実現総合支援事業

地域で策定された地域水田農業ビジョンの実現のために必要な条件整備に関する事業を実施する。

麦、大豆本作化推進事業

「さぬきの夢2000」の品質向上および作付け拡大を図る。

農作業支援システム導入促進事業

担い手の労働を補完する定植・出荷・調整作業や担い手が少ない地域での農作業受託の実施などに必要な農業機械等の整備を行う。

認定農業者の育成・確保の推進

農林水産課
市全体事業費（計画額）：180万円

目的：

認定農業者連絡協議会を通じて、経営改善指導や遊休地等土地利用集積による規模拡大を推進する。

事業の概要：

認定農業者の連携推進

高松市認定農業者連絡協議会を開催し、認定農業者相互の連絡を密にし、効率的かつ安定的な農業経営の改善を図る。

キーワード：認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づく制度で、経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、基準に適合する農業者として市町村から認定を受けた者

「高松産ごじまん品」生産・消費の促進<まちづくり戦略プランに掲載>

農林水産課
市全体事業費（計画額）：900万円

目的：

生活者と生産者のニーズなどに対応しながら、市内農産物の需要拡大と地産地消を図り、本市農業の活性化を推進する。

事業の概要：

平成18年度において、新たに合併地区の特産品を高松産ごじまん品に選定し、「たかまつ食と農のフェスタ」等により新市域の農業のPRを図る。

情報発信等推進事業

新ごじまん品の選定、ごじまん品リーフレットの作成、米の消費拡大等

生産者・消費者相互理解促進事業

たかまつ食と農のフェスタの開催、ごじまん品キャラクターの利用促進等消費者と生産者の交流の推進

生産振興等対策事業

園芸塾の開催、米粉の利用拡大・定着化、新品目の実証圃・展示圃の設置
生産マニュアルの確立、加工品の普及等による生産振興の推進

市道の整備

道路課

事業費（計画額）：1億4,100万円

目的：

庵治地区における幅員が狭く、ネットワーク化が不十分な生活道路について、路側改良などによる拡幅や待避所の設置、1.5車線化などの整備を進め、地域住民の利便性の向上を図る。

事業の概要：

市道の改良事業

- ・竹居線道路改良 W = 5 m L = 約 1 1 0 m
- ・谷東線道路改良 W = 5 m L = 約 1 0 0 m

市道の舗装事業

- ・深間24号線道路舗装、その他道路打換舗装 L = 約 7 0 0 m

漁港の整備

河港課

事業費（計画額）：4,170万円

目的：

水産基盤の整備事業として、沿岸漁業の拠点である漁港の整備を推進し、水産業の振興を図る。

事業の概要：

- 江の浜漁港の改良 防波堤（補強工）（約 7 0 m）
- 竹居漁港の改良 陸こう設置（5か所）、防砂堤（約 1 0 m）
- 鎌野漁港の災害復旧 護岸復旧（約 1 5 m）

港湾の整備

河港課

事業費（計画額）：2,100万円

目的：

大島と高松、庵治を結び、生活物資の輸入や人的交流の拠点である大島港について、その老朽化した護岸の整備を行い、生活基盤の向上と地域振興を図る。

事業の概要：

- 大島港の護岸改良

重点取り組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：2億240万円

（うち市全体事業費（計画額）：1億4,600万円）

事業の概要：

観光総合パンフレット（日・英）の作成（観光課）

重要稚^ち仔^しの放流・漁業新技術実証の実施（農林水産課）

クマエビ等種苗の放流、クマエビ中間育成などの助成
のり養殖事業の助成（農林水産課）

市民農園の整備促進（農林水産課）

市民農園の維持管理、栽培講習会の開催、栽培指導など
中小企業指導団体等の助成（商工労政課）

商工会への助成

石材汚水公害対策の助成（商工労政課）

産廃事業の助成（商工労政課）

庵治ストーンフェア2006の助成（商工労政課）

ファミリーマラソンIN AJIの開催（市民スポーツ課）

親子で走るファミリーマラソン3km、一般5km、10km、ハーフ20km 新設予定
ふれあい祭り庵治の開催（観光課）

中山間地域等直接支払事業（農林水産課）

中山間地域などにおける耕作放棄の発生防止のため、農業者に対し直接支払を実施

参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を可能な限り発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを強化し、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツなど、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

【 参加のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり
 - ・ 行財政運営の効率化と支所等の機能整備
- (2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり
 - ・ コミュニティ活動の支援
- (3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり
 - ・ 住民との協働の推進
 - ・ 情報公開の推進

合併記念各種イベントの開催<まちづくり戦略プランに掲載>

関係課

市全体事業費(計画額): 2億6,000万円

目的:

平成18年度の1年間を通じて、各種のイベントについて、「合併記念事業」として位置づけた取組みを行い、新しい市の一体感の醸成に資する。

事業の概要:

各イベントに「合併記念」の冠をつけて実施

合併記念各種イベント一覧表

実施月	事業名	担当課
4月	塩江さくらまつり	観光課
	さぬき高松ボンポコまつり	
4月~5月	歴史資料館収蔵品展「新たに仲間となりました」(仮称)	歴史資料館
	美術館「エミール・ガレとドーム兄弟展」	美術館
5月	フラワーフェスティバル・交通安全フェア	公園緑地課・交通安全対策課
	かがわ国際フェスタ2006	国際交流室
	暮らしをみなおす市民のつどい	市民生活課
	保育まつり	こども未来課
	50歳以上男子ファーストピッチソフトボール大会	市民スポーツ課
5~6月	石のさとフェスティバル	文化振興課
6月	ほたるの里フォトコンテスト写真公募展	美術館
	塩江ホテルまつり	観光課
	水道週間行事	水道局
	さわやかママさんバレーボール大会	市民スポーツ課
6~7月	アーツフェスタたかまつ2006	文化振興課
7月	外国人のど自慢・お国自慢交流大会	国際交流室
	福祉のつどい	障害福祉課
	国分寺いん石20周年展(仮称)	市民文化センター
	市民遠泳大会	市民スポーツ課
7~9月	屋島山上石あかりロード(仮称)	観光課
8月	高松まつり	
	塩江温泉まつり	
	ボン・フェスティバルIN香南	
	国分寺町まつり	
	高松市子ども会フットベースボール大会	社会教育課
8~9月	牟礼石あかりロード	観光課
9月	健康まつり	保健センター
	高松市合併ふれあい展	美術館
9~11月	市民スポーツフェスティバル	市民スポーツ課
10月	音のまつり	文化振興課

実施月	事業名	担当課
10月	高松秋のまつり	観光課
	仏生山竹あかりロード	
	義経・与一合同サミット	
	グリーンフェスタ国分寺盆栽まつり	農林水産課
	ファミリーマラソン in Aji	市民スポーツ課
	合併企画展	歴史資料館
10～11月	菊池寛記念館文学展「愛の手紙」(仮称)	菊池寛記念館
11月	男女共同参画フェスティバル	女性センター
	塩江もみじまつり	観光課
	農産品まつり	農林水産課
	平和記念室収蔵品巡回展	市民文化センター
	健脚大会	市民スポーツ課
	さわやかママさんソフトボール大会	
	60歳以上男子スローピッチソフトボール大会	
	まなびCAN開設5年記念事業	生涯学習センター
	美術館コレクション展	美術館
11～1月	高松冬のまつり	観光課
12月	元気ハツラツドッジボール大会	市民スポーツ課
	国分寺町冬のまつり	観光課
1月	新成人祝賀講演会	社会教育課
	まちづくり講演会	市民生活課
2月	新春子どもフェスティバル	社会教育課
	校区別混成ソフトバレーボール大会	市民スポーツ課
	たかまつ食と農のフェスタ	農林水産課
3月	塩江温泉竹あかりのみち	観光課
通年	サンポートにぎわいづくりイベント	

上記以外のイベントについても、随時、合併記念イベントに位置づけて実施するものとする。

合併記念市民交流・地域間交流事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,840万円

目的:

合併後の新しい市において、速やかな地域の一体化と融合を図るため、旧高松市や合併地区のそれぞれの市民が、新しい市の各地域の特色ある施設や地域資源を知るとともに、地域性のあるまつりにおけるイベントへの参加を通じてふれあうことにより、市民の一体感を醸成することを目的として合併記念市民交流・地域間交流事業を実施する。

事業の概要:

一体感醸成イベントの実施

旧高松市および合併地区における比較的規模の大きい“まつり”において、まつりの会場の一画を利用し、まつりのプログラムと関連づけながら、市民の一体感を醸成するイベント（プログラム）を付加して実施する。

最初のまつりとなる「フラワーフェスティバル・交通安全フェア」において、交流事業スタートイベントを実施する。

対象のまつりおよび開催月

名 称	地区名	開催月
フラワーフェスティバル・交通安全フェア	旧高松	5月
石のさとフェスティバル	庵治	6月
塩江ホテルまつり	塩江	6月
アーツフェスタたかまつ2006	旧高松	7月
ボン・フェスティバルIN香南	香南	8月
塩江温泉まつり	塩江	8月
牟礼石あかりロード	牟礼	9月
ひょうげまつり	香川	9月
高松秋のまつり	旧高松	10月
音のまつり	国分寺	10月

合併記念巡回ふれあいバスツアーの運行

各地域の特色ある施設やまつりなどを巡るバスツアーを運行する。

実施月

6月から11月までの6か月間

回数と対象

月2回実施する。集合地を2か所設けて、各回2台で運行する。訪問する地域ごとの一般ツアーと、特定のジャンルの施設等を巡る特別ツアーを運行する。

訪問見学場所

各地域の特色ある自然・歴史・文化・産業などに関連する施設、スポット、地域に根ざした“まつり”、休憩施設など

合併一周年記念事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費（計画額）：160万円

目 的：

市民の企画提案により、市全域の市民参加による合併一周年を祝う記念事業を実施する。

事業の概要：

市民から企画提案を募集
 市民による実行委員会で運営
 実施時期：1～2月ごろ

新しい総合計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費（計画額）：1,000万円

目的：

近隣町との合併による新しい高松市の誕生に伴い、新たな市域における主体的かつ計画的なまちづくりのための根幹的指針として、新しい総合計画を策定する。

策定に当たっては、現行の総合計画や合併地区の建設計画（合併基本計画）を踏まえながら、時代の潮流や国の動向、厳しい財政環境、新しい行政課題への対応、さらには市民の意見を反映する中で、成果主義に基づいた政策評価の考え方を取り入れながら、より戦略的な計画の策定を目指す。

事業の概要：

平成18年度 策定要綱の制定
 まちづくり100人委員会の設置
 市民意識調査の実施（合併地区）
 地区別まちづくり計画基礎調査の実施
 市民提言の募集 など

平成19年度 たかまつタウンミーティングの開催
 基本構想原案作成
 総合計画審議会設置・開催
 パブリックコメントの実施
 基本構想の議決
 主要事業計画策定 など

行財政改革の推進

（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）<まちづくり戦略プランに掲載>
 企画課行政改革推進室
 市全体事業費（計画額）：60万円

目的：

厳しい行財政環境、地方分権の進展、市町合併後の対応、少子高齢社会の到来、高度情報化の進展、市民の市政への参画意識の高まり等、本市を取り巻く状況に対応し、中

核市にふさわしい行財政システムの確立を目指し、次期行財政改革計画を策定する。

また、総合計画の進行管理と行政評価を同一のシステムで行い、「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルの確立を目指すとともに、財務会計システムとの連携および調書作成作業の省力化・効率化を図ることにより、政策・施策・事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性を向上させる。

事業の概要：

次期行財政改革計画の策定

- ・平成18年度に、平成19年度を計画期間の始期とする次期行財政改革計画を策定
- 行政評価システムの構築
- ・新たに策定する総合計画と連動させ、既の実施している事務事業評価に加え、施策評価・政策評価に発展させることにより、一体的な行政評価システムを構築する。「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルを確立することにより、政策・施策や事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性の向上を図る。

自治会組織の充実とコミュニティづくり

市民生活課

市全体事業費（計画額）：1億5,200万円

目的：

多様化する地域課題の解決に、地域の多様な人々が自らの問題として積極的にかかわり、主体的に参加し、選択・決定するという、地域みずからのまちづくりを推進する。

そのため、それぞれの地域で培われてきた歴史、文化、個性などをいかし、地域活動の基盤となる自治会組織の強化を図るとともに、自治会を中心に、各種の地域団体、NPO、企業等が連携する地域コミュニティ組織の構築を促進する。

事業の概要：

自治会活動補助金や自治会加入・結成奨励に対する助成

地域コミュニティ構築の支援

自治会等各種団体と連携し、人材養成事業、地域ふれあい交流事業を実施

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：3,050万円

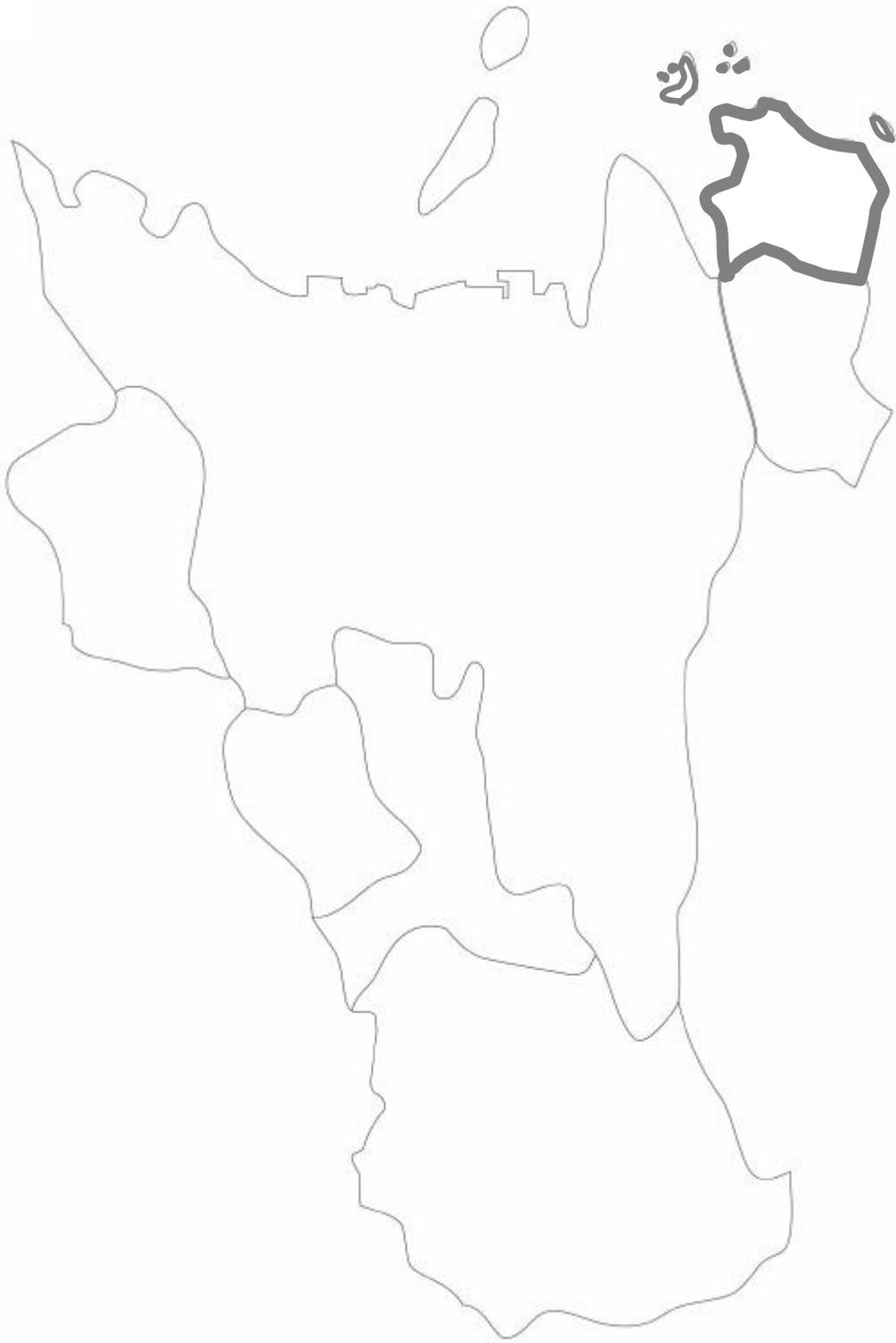
（うち市全体事業費（計画額）：2,900万円）

事業の概要：

地域審議会の開催（市民生活課）

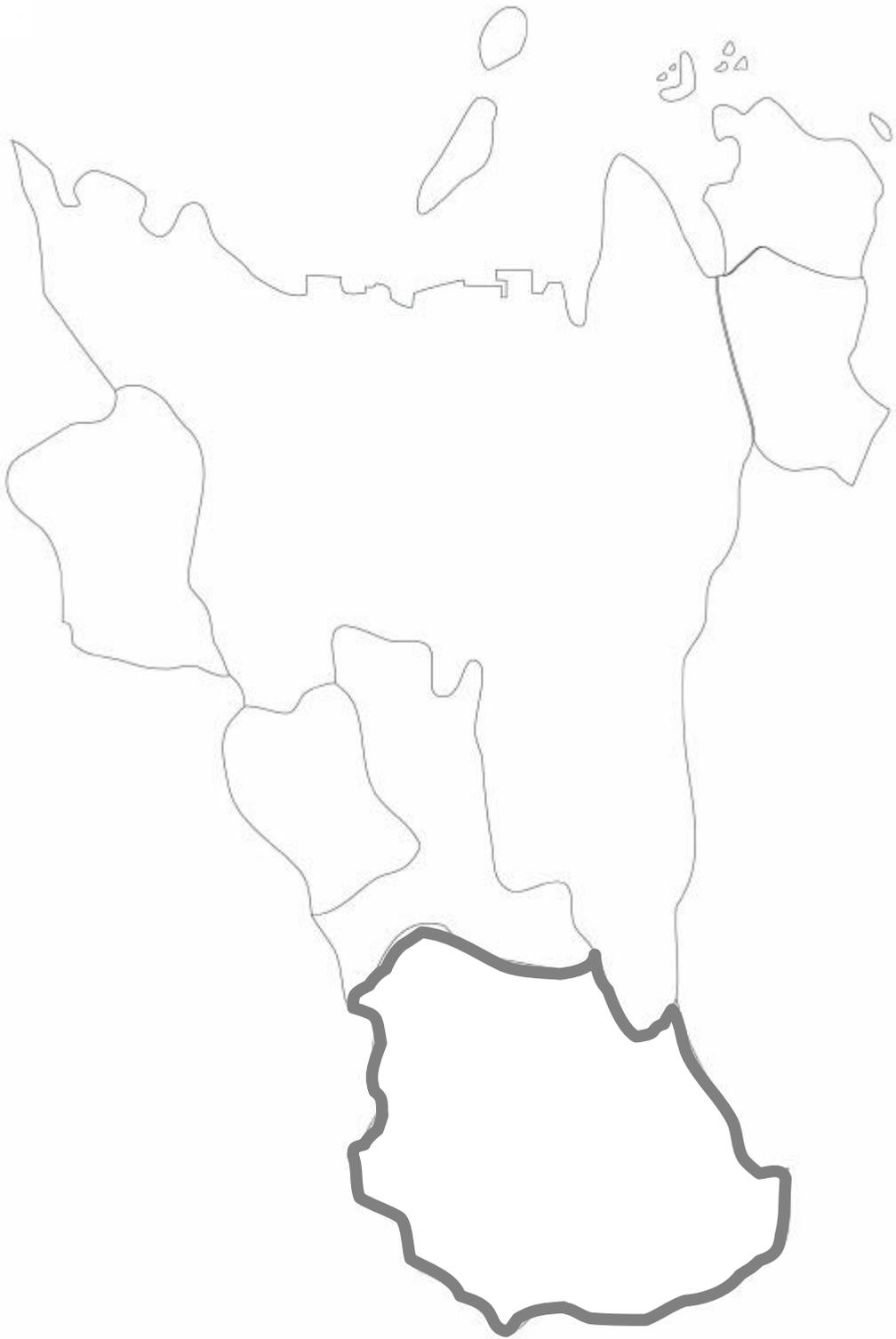
NPOとの協働の推進（市民生活課）

協働企画提案事業、ボランティア・市民活動センター管理運営委託など
情報公開制度および個人情報保護制度の推進（庶務課）



塩江地区建設計画

平成18・19年度実施計画



目 次

塩江地区の実施計画	83
連帯のまちづくり	89
地域包括支援センターの設置運営	90
男女共同参画社会の形成	91
重点取組み事項関連事業の推進	91
循環のまちづくり	93
安原地区香東川親水ゾーンの整備	94
香東川水系椋川ダム建設	94
水道管網の整備	94
下水道汚水施設の整備（西部処理区）	95
環境基本計画の策定	96
ごみ処理基本計画の策定	96
し尿中継貯留槽の整備	97
南部クリーンセンターの整備	97
重点取組み事項関連事業の推進	98
連携のまちづくり	99
急傾斜地崩壊の防止	100
南消防署等の整備	100
防災行政無線システムの整備	100
学校教育環境の整備	101
学校図書館の活性化	101
移動図書館巡回サービスの実施	102
新成人祝賀講演会の開催	103
電子市役所構築の推進	103
重点取組み事項関連事業の推進	104
交流のまちづくり	105
塩江足湯場の整備	106
竹あかりのみちの整備	106
観光振興計画の策定	106
香川型水田農業振興総合対策の推進	107
認定農業者の育成・確保の推進	107
林道の整備	108
「高松産ごじまん品」生産・消費の促進	108
市道の整備	108
橋梁の整備	109
コミュニティバスの運行	109
重点取組み事項関連事業の推進	110
参加のまちづくり	111

合併記念各種イベントの開催	112
合併記念市民交流・地域間交流事業の実施	113
合併一周年記念事業の実施	114
新しい総合計画の策定	115
行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）	115
自治会組織の充実とコミュニティづくり	116
重点取り組み事項関連事業の推進	116

塩江地区の実施計画

はじめに

塩江地区は、豊かな森林資源などの優れた自然環境が、レクリエーションや保養の場を提供しており、これら自然と共生できるやすらぎ機能は、塩江地区の大きな特徴であるとともに、塩江温泉郷やホタルの文化の里、道の駅などの多くの観光交流施設を有している。

また、内場ダムや建設中の椋川ダムに代表される水源地域であり、水源かん養地域でもあるとともに、生鮮食料品や農林水産物の供給地域として、市民にとって暮らしの支援機能を担っている。

今後、豊かな自然や温泉などの特性と機能を生かし、自然と調和のとれた安心と安らぎを提供できる滞在型の多様な観光・レクリエーション機能を有する広域的交流拠点として、また、田園都市型のライフスタイルの提供可能な地域としても期待されており、建設計画において、塩江地区は、「心と体のリフレッシュの舞台となるオアシスゾーン」として位置づけられている。

こうした役割と機能を踏まえ、個性ある活力に満ちた地域社会の実現に向けて、塩江地区のまちづくりを展開する。

実施計画の期間：平成18・19年度

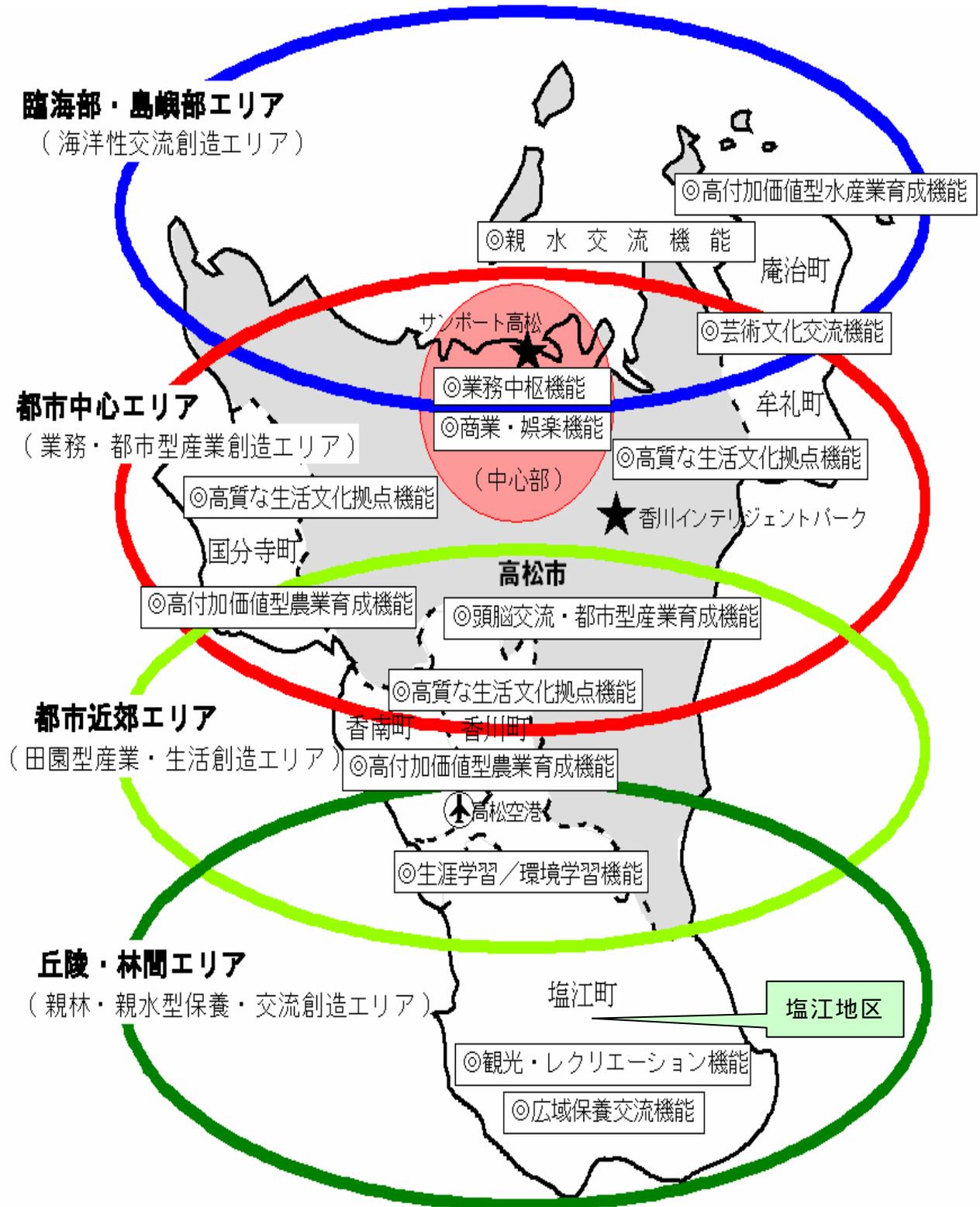
実施計画事業数：67事業（塩江地区のみの事業：31事業、市全体等事業：36事業）

概算事業費

単位：万円

区 分	国・県支出金	市債	その他	一般財源	事業費
塩江地区のみの事業	46,270	59,120	320	47,970	153,680
市全体等の事業	103,600	167,950	73,110	189,800	534,460
合 計	149,870	227,070	73,430	237,770	688,140

市全体等の事業とは、全市的事业および旧高松市や合併各町など、複数の地区で実施する事業で、各地区ごとに事業費を区別することができない事業を指し、それぞれの事業の事業費（計画額）のところに、「市全体」または「
・
地区」などと記載しているものである。



(注) は特に重点的な育成が図られるべき機能

実施計画事業の概要について

連帯のまちづくり

塩江地区では、過疎化、高齢化が顕著であり、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ、「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおりである。

- ・ 地域包括支援センターの設置運営
- ・ 男女共同参画社会の形成
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

循環のまちづくり

ホタルや小動物が生息する香東川や内場川、ブナの原生林が残る大滝山やそれに連なる竜王山など、水と緑に代表される塩江地区の豊かな自然環境は、かけがえのない財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、良好な環境機能を維持・増進させるとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、リサイクル型システムの形成、自然とふれあい、親しむ機会の創出などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおりである。

- ・安原地区香東川親水ゾーンの整備
- ・水道管網の整備
- ・環境基本計画の策定
- ・し尿中継貯留槽の整備
- ・重点取組み事項関連事業の推進
- ・香東川水系椋川ダムの建設
- ・下水道汚水施設の整備（西部処理区）
- ・ごみ処理基本計画の策定
- ・南部クリーンセンターの整備

連携のまちづくり

塩江地区は、阿讃山ろくの渓谷型の町で、過疎化が進んでいるが、地域固有の歴史、文化が残されている。

このため、住民と行政が知恵を出しあい、連携することによって、安全・安心な地域環境を築き、豊かな自然に抱かれた環境のもとでの教育・学習環境の充実、地域固有の歴史や文化を生かしたまちづくりを推進することなどにより、安全・安心、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおりである。

- ・急傾斜地崩壊の防止
- ・防災行政無線システムの整備
- ・学校図書館の活性化
- ・新成人祝賀講演会の開催
- ・重点取組み事項関連事業の推進
- ・南消防署等の整備
- ・学校教育環境の整備
- ・移動図書館巡回サービスの実施
- ・電子市役所構築の推進

交流のまちづくり

塩江地区は、名僧行基が発見したと伝えられる温泉を有し、水と緑豊かな自然環境の中で、湯を愛し、夢を持ち続ける「湯愛(ゆめ)の郷 塩江」の実現に向けてまちづくりを進めてきた。

また、サンポート高松では、国際的な会議・観光・交流の舞台として、集客型産業、交流産業を牽引力とする経済の浮揚と地域の活性化が期待されており、塩江地区でも、豊富な地域資源を効果的に活用した観光・交流、集客によるまちづくりを同時に進めていく必要がある。

このため、観光と交流の振興を軸に、交流型農林水産業の振興や住民サービスを含めた様々なコミュニティビジネスの育成を図るとともに、これらを支える交流基盤(交通・情報通信)の整備により、豊かな交流資源を生かした活気のあるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおりである。

- ・塩江足湯場の整備
- ・観光振興計画の策定
- ・認定農業者の育成・確保の推進
- ・「高松産ごじまん品」生産・消費の促進
- ・橋梁の整備
- ・重点取り組み事項関連事業の推進
- ・竹あかりのみちの整備
- ・香川型水田農業振興総合対策の推進
- ・林道の整備
- ・市道の整備
- ・コミュニティバスの運行

参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を可能な限り発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを強化し、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツなど、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおりである。

- ・ 合併記念各種イベントの開催
- ・ 合併記念市民交流・地域間交流事業の実施
- ・ 合併一周年記念事業の実施
- ・ 新しい総合計画の策定
- ・ 行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）
- ・ 自治会組織の充実とコミュニティづくり
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

連帯のまちづくり

塩江地区では、過疎化、高齢化が顕著であり、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ、「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

【 連帯のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり
 - ・ 地域福祉の充実
 - ・ 施設福祉・在宅福祉サービスの充実
 - ・ 社会参加の促進
 - ・ 地域社会のバリアフリー化の促進

- (2) 保健と医療の充実したまちづくり
 - ・ 医療体制の充実
 - ・ 健康づくりの推進

- (3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり
 - ・ 保育サービスの充実
 - ・ 子育て支援サービスの充実

- (4) 基本的人権を尊重するまちづくり
 - ・ 人権尊重社会の実現
 - ・ 男女共同参画社会の形成

地域包括支援センターの設置運営<まちづくり戦略プランに掲載>

介護保険課
市全体事業費（計画額）10億2,900万円

目的：

公正・中立な立場から、地域の高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために必要な支援を行うとともに、介護保険サービスのみならず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、支えあいなどの多様な社会資源を有機的に結びつけ、高齢者の心身の状態の変化に応じて生活の質が低下しないように適切なサービスを継続的に提供するため、地域包括支援センターの設置・運営を行う。

事業の概要：

地域包括支援センターの設置・運営

設置か所数：8か所（全て直営）

センター	設置予定場所
中央	高松市保健センター
一宮	コトデン一宮駅前店舗
古高松	古高松公民館
山田	旧山田支所
勝賀	ふれあい福祉センター勝賀
香川	香川保健センター
（香南）	香南保健センター
（塩江）	塩江保健センター
牟礼	牟礼老人福祉センター
（庵治）	庵治保健センター
国分寺	国分寺保健センター

実施時期：平成18年10月設置運営開始

センターの機能：

公正・中立性を確保し、要支援・要介護になるおそれのある高齢者や軽度の要介護認定者への介護予防マネジメント、ケアマネジャー支援、困難事例の相談、高齢者の権利擁護を推進するための活動拠点とする。

・ 共通的支援基盤構築

地域に、総合的、重層的なサービスネットワークを構築する。

・ 総合相談支援・権利擁護

高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぐ。また、虐待の防止など高齢者の権利擁護に努める。

・ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援する。

・ 介護予防マネジメント

介護予防事業、新たな予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なマネジメントを行う。

男女共同参画社会の形成 < まちづくり戦略プランに掲載 >

女性センター
市全体事業費（計画額）：5,550万円

目的：

平成14年度スタートの「たかまつ男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画に関する意識高揚を図るとともに、同プランに続く「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定を行う。また、平成18年度から男女共同参画センター（女性センターを名称変更）に指定管理者制度を導入し、より柔軟な企画運営および施設管理を図る中で、男女共同参画社会の形成を推進する。

事業の概要：

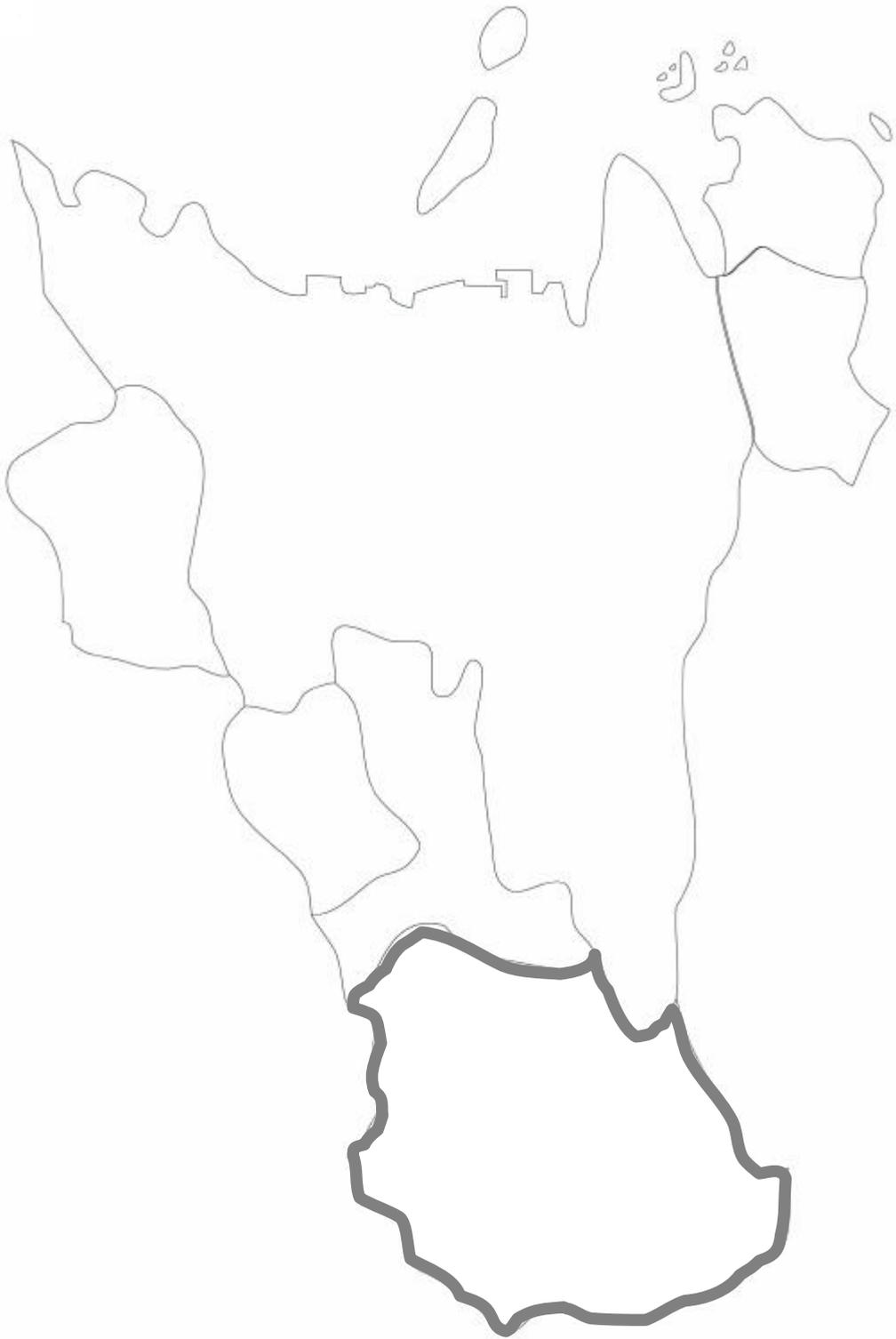
「たかまつ男女共同参画プラン」の推進
「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定
男女共同参画都市宣言推進事業の実施
高松市男女共同参画市民フェスティバルに対する助成
審議会等委員への女性登用の推進
男女共同参画センターの指定管理者による管理への移行

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：3億6,100万円
（うち市全体事業費（計画額）：3億5,700万円）

事業の概要：

介護予防の推進（保健所保健センター）
 栄養改善、機能訓練、認知症予防、介護予防教室など
 シルバー人材センターの活動促進（長寿社会対策課）
 就業を通じて生きがいの増進と社会活動への参加
 塩江病院機能の充実（市民病院庶務課）
 医療機器の整備
 人権教育の推進（人権教育課）
 親子で人権を考える会・市民講座・研修会の開催、指導資料の作成など



循環のまちづくり

ホタルや小動物が生息する香東川や内場川、ブナの原生林が残る大滝山やそれに連なる竜王山など、水と緑に代表される塩江地区の豊かな自然環境は、かけがえのない財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、良好な環境機能を維持・増進させるとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、リサイクル型システムの形成、自然とふれあい、親しむ機会の創出などにより、自然を守り生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環のまちづくりを進める。

【 循環のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり

- ・ 森林の保全と活用
- ・ 河川の保全と活用

(2) 水資源を大切にすまちづくり

- ・ 上水道等の整備
- ・ 下水道等の整備

(3) リサイクル型社会を構築すまちづくり

- ・ 環境衛生の充実
- ・ 地域環境の保全

(4) 自然景観と親しむ快適なまちづくり

- ・ 公園・緑地・遊歩道の整備
- ・ 桜川ダムの関連整備
- ・ 南部広域クリーンセンターの周辺環境整備

安原地区香東川親水ゾーンの整備<まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課環境施設対策室
事業費(計画額): 7,300万円

目的:

塩江町安原地区の香東川周辺地域を、市民が自然に親しめ、ふれあえる親水空間として整備を行う。

事業の概要

平成18年度

- ・マルチ道路(遊歩道)整備

平成19年度

- ・マルチ道路(遊歩道)整備
- ・道路用地測量設計
- ・休憩施設測量設計

香東川水系^{かぼがわ}椋川ダムの建設<まちづくり戦略プランに掲載>

河港課
事業費(計画額): 4億5,100万円
(うち市全体事業費(計画額): 3億2,100万円)

目的:

治水・利水・渇水対策機能を持つ多目的ダムとして、香東川水系椋川ダムの建設を進め、渇水時の水道水源の確保を図る。

事業の概要:

椋川ダム建設事業

調査設計、用地補償、付替道路工事、補償工事

椋川ダム水源地域整備計画事業

河川改修、道路改良(嵯峨野線、野田大相線、引地馬背線ほか)、椋川集会所建設、防火施設整備(耐震性貯水槽)、合併処理浄化槽設置助成

水道管網の整備

水道局水道整備課
事業費(計画額): 3,640万円

目的:

塩江地区において水質基準に適合した安全で良質な水を安定的に供給するため、水源の確保と浄水施設や配水施設の拡充、老朽施設の更新など、簡易水道の計画的な拡充・

整備を進める。

事業の概要：

平成18年度 老朽石綿セメント管の更新 約600m
平成19年度 配水管の布設替えおよび配水管の布設を計画的に実施する。

キーワード：水質基準

・健康に関する項目

体重50kgの人が、一日に飲用する水の量を2リットルとし、食物、空気など水以外からの摂取も考慮しながら、人間が生涯にわたって連続摂取しても健康に影響が生じない水準を基準値としている。

・水道水が有すべき性状に関する項目

色、濁り、においなど生活利用上あるいは腐食性など施設管理上障害の生ずるおそれのある項目。

障害を生ずる濃度レベルを基に評価を行い、項目の選定、基準値の設定をしている。

下水道汚水施設の整備（西部処理区）

下水道建設課

事業費（計画額）：2億3,000万円

目的：

塩江地区における快適な居住環境の確保と河川やため池など公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、汚水枝線管渠など下水道施設の整備を進める。

事業の概要：

○平成18年度
汚水管渠工事 Φ150mm 約 1,300m
○平成19年度
汚水管渠工事 Φ150mm 約 1,200m

下水道普及状況

平成17年3月31日現在

	行政区域人口 A	事業計画処理人口 B	処理区域内人口 C	普及率 C/A
市域全体	421,213人	290,842人	221,289人	52.5%
塩江地区	3,523人	1,300人	0人	0.0%

下水処理場の概要(県施設)

施設名	敷地面積 ha	処理方法	処理能力 (m ³ /日最大)
香東川浄化センター※	約 17.60	標準活性汚泥法	40,800

下水道の計画

平成18年1月現在

処理区名	全 体 計 画				事業計画区域	
	都市計画決定面積 (ha)	計画区域 (ha)	計 (ha)	計画人口 (人)	事業計画区 域 (ha)	計画人口 (人)
市域全体	6,161.4	1,735.1	7,896.5	316,600	6,414.6	290,842
塩江地区		72.7	72.7	1,510	49.9	1,300

キーワード：水質の保全

汚水が直接、公共用水域に排出されると、水質の汚濁を進行させる。下水道は、河川、海域等の公共用水域に排出される汚水を収集し処理場において処理した後、浄化されたきれいな水を水域に還元することから、公共用水域の汚濁の進行をくい止める一方、水域の自然浄化作用を促進し、水質保全に大きな役割を果たしている。

環境基本計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

環境保全課
市全体事業費(計画額): 560万円

目 的：

高松市環境基本計画(平成11年2月策定)策定後の社会情勢や環境を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併による市域の拡大や新たな環境問題等に的確に対応するため、環境基本計画を策定する。

事業の概要：

平成18年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・基礎調査(自然環境調査・生物調査・環境意識アンケート・市域からの温室効果ガス排出量算定調査ほか)の実施

平成19年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・環境基本計画の策定

ごみ処理基本計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課
市全体事業費(計画額): 70万円

目 的：

高松市ごみ処理基本計画（平成5年3月策定）策定後の社会情勢、廃棄物を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併地区を含めた新市域での安定的かつ効率的なごみ処理を行うため、新たな減量化率、資源化率の設定を含めた、ごみ処理基本計画を策定する。

事業の概要：

平成18年度

- ・庁内検討組織の設置
- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・市民提案の募集

平成19年度

- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・ごみ処理基本計画の策定

し尿中継貯留槽の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課衛生処理センター
事業費（計画額）：900万円

目 的：

塩江地区のし尿中継貯留槽改修等整備を行い、対象地域のし尿や浄化槽汚泥のより迅速で効率的な収集運搬と貯留槽周辺環境の保全を図る。

事業の概要：

塩江町貯留槽改修工事

- ・し尿中継貯留槽内部補修、脱臭設備改修、敷地内舗装等整備

南部クリーンセンターの整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課環境施設対策室
事業費（計画額）：6億2,400万円

目 的：

南部クリーンセンターの関連施設および周辺環境整備をすることにより、周辺地域の生活環境の保全を図る。

事業の概要：

市道檀橋谷線の整備（アクセス道路）

二車線道路として約2kmを整備

ストックヤードの整備

ごみ焼却後のスラグ置場等として旧清掃センターの跡地を整備

埋立処分地の整備

周辺の緑化、汚水槽補修、調整池改修など

市道関橋谷線の整備

舗装復旧工事

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：2,900万円

（うち市全体事業費（計画額）：600万円）

事業の概要：

河川の改良（河港課）

安田川ほか2河川 約50m

合併処理浄化槽設置の助成（下水道管理課）

約40基

不法投棄監視体制の推進（廃棄物指導課）

ごみの不法投棄監視体制の充実に向けて、不法投棄防止用監視カメラの設置、パトロール強化等を進める

ISO14001の推進（環境保全課）

ISO14001の定期審査など

連携のまちづくり

塩江地区は、阿讃山ろくの渓谷型の町で、過疎化が進んでいるが、地域固有の歴史、文化が残されている。

このため、住民と行政が知恵を出しあい、連携することによって、安全・安心な地域環境を築き、豊かな自然に抱かれた環境のもとでの教育・学習環境の充実、地域固有の歴史や文化を生かしたまちづくりを推進することなどにより、安全・安心、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

【 連携のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり

- ・ 自然災害対策の推進
- ・ 消防・防災・防犯体制の整備
- ・ 交通安全対策の充実

(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり

- ・ 家庭教育の充実
- ・ 学校教育の充実
- ・ 教育環境の整備
- ・ 生涯学習の充実

(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり

- ・ 定住の促進
- ・ 地域情報化の推進
- ・ 電子市役所の構築
- ・ 土地の適正管理

(4) 歴史と芸術・文化を生かしたまちづくり

- ・ 芸術・文化・交流拠点の整備
- ・ 芸術文化施設の連携と活用

急傾斜地崩壊の防止

河港課
事業費（計画額）：1,400万円

目的：

急傾斜地崩壊防止事業を進めることにより、住民が安全で安心して暮らすことのできる生活環境の整備を推進する。

事業の概要：

落合地区および中下所地区において、落石防護柵工、ブロック積工などにより急傾斜地の崩壊防止対策事業を実施

南消防署等の整備<まちづくり戦略プランに掲載>

消防局総務課
市全体事業費（計画額）：15億9,500万円

目的：

道路網の整備や市街地の進展に適切に対応し、現場への到着時間の短縮および平均化を図るため、消防署所の移転・統廃合・耐震化をすすめるとともに、移転後の南署に地域防災拠点施設を併設する。

事業の概要：

- ・平成18年度
南消防署用地購入、庁舎と地域防災拠点施設の実施設計
一宮分団第2部消防屯所の整備
- ・平成19年度
南消防署庁舎および地域防災拠点施設の建設（平成20年度完成予定）

防災行政無線システムの整備<まちづくり戦略プランに掲載>

庶務課防災対策室
市全体事業費（計画額）：3億3,100万円

目的：

災害時等における緊急情報伝達システムを構築するとともに、合併地区で整備運用している情報連絡施設を、新市の組織体制に合わせて再構築し、全市域における防災行政無線設備として拡張整備することにより、市民に対する情報提供や避難勧告・指示を迅速に行う。

事業の概要：

平成18年度

市役所災害対策本部（基地局）のデジタル化整備および屋外子局13局の整備

平成19年度

ケーブルテレビ・コミュニティFMなど既設システムとの連携・整備

平成20年度以降

旧高松市消防団屯所52箇所および合併地区のデジタル化整備など

学校教育環境の整備<まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課

合併地区全体事業費（計画額）：1,680万円

目的：

学校への防犯監視システム、扇風機の設置などを行い、児童・生徒にとって、安全で快適な、より良い教育環境を創出する。

事業の概要：

学校防犯監視システムの整備（小学校）

正門等に防犯カメラ、センサーを設置

職員室でアラーム音とともに、モニタ表示し、画像を録画

平成20年度末までに、全小学校に整備予定

教室への扇風機の設置（小・中学校）

平成18年度末までに全小・中学校に設置予定

自動体外式除細動器（AED）の設置（中学校）

平成18年度末までに全中学校に設置予定

学校図書館の活性化<まちづくり戦略プランに掲載>

学校教育課

合併地区（牟礼地区を除く）全体事業費（計画額）：2,440万円

目的：

学校図書館指導員の効果的な配置を通じ、児童・生徒の読書活動を一層推進し、健全育成を図る。

事業の概要：

学校図書館指導員を全小・中学校に効果的に配置し、蔵書の貸し出し、返却、児童生徒への対応、データベースの整理等を行う。

学校図書館指導員の増員計画

地域	旧高松市	庵治・塩江・香川・香南・国分寺地区	牟礼地区
小・中学校数	57校	16校	4校
配置人員	増員数	5名	6名
	増員後	23名	6名
配置基準	6時間勤務 / 1人1日、 児童生徒数700名以上の学校：週3日配置 児童生徒数200名から700名未満の学校：週2日配置 児童生徒数200名未満の学校：週1日配置		4時間勤務 / 1人1日、 週5日配置

小・中学校図書データベース用パソコンを整備

移動図書館巡回サービスの実施<まちづくり戦略プランに掲載>

中央図書館

市全体事業費(計画額): 1億5,800万円

目的:

図書館から遠隔地にあり、図書館の利用が不便な市民等に対し図書館サービスを行う。

事業の概要:

合併に伴い移動図書館車を1台(積載図書冊数3,000冊程度)増車し、3台の図書館車で市内の92ステーション(合併地区23ステーションを含む)を毎月巡回する。

(平成18年2月から実施)

平成18年度巡回ステーション

- ・旧高松市(70箇所)
- ・塩江地区(3箇所) 塩江支所・上西連絡事務所・塩江小学校
- ・牟礼地区(2箇所) 牟礼南小学校・牟礼北小学校
- ・庵治地区(3箇所) 深間庭球場・鎌野自治会館・庵治漁業協同組合
- ・香川地区(8箇所) 香川支所・香川総合体育館・浅野小学校・浅野公民館
大野公民館・大野小学校・川東公民館・東谷公民館
- ・香南地区(4箇所) 香南歴史民俗郷土館・香南公民館・香南幼稚園・池西農村環境改善センター
- ・国分寺地区(3箇所) 福家児童館・讃岐国分寺跡資料館・新居東児童館

香川図書館(仮称)開館時に、香川町の移動図書館サービスステーション、香南町の移動図書館サービスステーションは縮小

新成人祝賀講演会の開催

社会教育課
市全体事業費（計画額）：150万円

目的：

講演を通じて、次代を担う新成人に新たな視点づくりを促し、豊かな人間形成を目指す。

事業の概要：

平成19年高松市成人式において、新成人を対象に講演を行う。

開催日時 平成19年1月8日（月・成人の日）

開催会場 サポートホール高松大ホール

参加定員 1,500人

電子市役所構築の推進<まちづくり戦略プランに掲載>

情報システム課
市全体事業費（計画額）：7,200万円

目的：

電子市役所構築により、市民サービスの拡充を図るとともに、市町合併による事務処理の増加や更なる事務の効率化・省力化に対応する。

事業の概要：

平成18年度

- ・電子調達（CALS/EC）システム稼働（電子入札）
- ・戸籍総合システム稼働（現在戸籍・附票）
- ・財務会計システム再構築（調査検討、仕様書作成）
- ・生涯学習情報システム再構築（かがわ電子自治体システムへの移行）

平成19年度

- ・戸籍総合システム稼働（除籍、改製原戸籍）
- ・財務会計システム再構築（システム開発）
- ・新生涯学習情報システム稼働（かがわ電子自治体システム内生涯学習施設予約部分）

平成20年度

- ・新財務会計システム稼働（予算編成）

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：6億1,370万円
（うち市全体の事業費（計画額）：6億1,100万円）

事業の概要：

自主防災組織等の結成促進（消防局予防課）

交通安全施設の整備（道路課）

自転車歩行者道、交差点改良、道路標識、区画線、防護柵、道路照明灯、視線誘導標、道路反射鏡、交差点案内標識などの整備

防犯灯の整備促進（市民生活課）

子どもの居場所づくりの推進（社会教育課）

子どもの居場所づくり指導者の養成、のびのび子どもプラザモデル事業の実施、子どもわくわく体験支援事業の実施

まなびCAN開設5年記念事業の開催（生涯学習センター）

町民運動会に対する助成（市民スポーツ課）

地籍調査の実施（土地改良課）

塩江美術館の充実（美術館）

展覧会の開催（企画展、常設展）、コンサートなど

伝統文化の保存・継承の支援（文化振興課）

椋川たたら踊りなど

交流のまちづくり

塩江地区は、名僧行基が発見したと伝えられる温泉を有し、水と緑豊かな自然環境の中で、湯を愛し、夢を持ち続ける「湯愛（ゆめ）の郷 塩江」の実現に向けてまちづくりを進めてきた。

また、サンポート高松では、国際的な会議・観光・交流の舞台として、集客型産業、交流産業を牽引力とする経済の浮揚と地域の活性化が期待されており、塩江地区でも、豊富な地域資源を効果的に活用した観光・交流、集客によるまちづくりを同時に進めていく必要がある。

このため、観光と交流の振興を軸に、交流型農林水産業の振興や住民サービスを含めた様々なコミュニティビジネスの育成を図るとともに、これらを支える交流基盤（交通・情報通信）の整備により、豊かな交流資源を生かした活気のあるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

【 交流のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

（１）魅力ある観光・交流を育てるまちづくり

- ・温泉施設の整備
- ・観光交流拠点の整備・充実
- ・観光ネットワークの構築
- ・観光イベントの充実

（２）時代の変化に応える産業を育てるまちづくり

- ・農業の振興
- ・林業の振興
- ・水産業の振興
- ・商工業の振興
- ・コミュニティビジネス等の振興

（３）広域的な交流を育てるまちづくり

- ・地域間交流の促進
- ・国際交流の促進と人材の育成

（４）利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり

- ・道路の整備
- ・公共交通の整備

塩江足湯場の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

観光課
事業費(計画額): 600万円

目的:

地域資源を再評価し、創意工夫を凝らして、互いに連携させる中で付加価値を高め、湯愛(ゆめ)の郷・塩江温泉郷の魅力を高める。

事業の概要:

「行基の湯」に隣接して、川に臨む形で、5～6人が利用できる「足湯」を整備

竹あかりのみちの整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

観光課
事業費(計画額): 100万円

目的:

地域資源を再評価し、創意工夫を凝らして、互いに連携させる中で付加価値を高め、湯愛(ゆめ)の郷・塩江温泉郷の魅力を高める。

事業の概要:

塩江温泉郷の宿泊客の散策路の整備と地元の竹細工の振興を図るため、湯元から「行基の湯」までの約300mの市道に、竹製の灯籠を設置した「竹あかりのみち」を整備

観光振興計画の策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

観光課
市全体事業費(計画額): 370万円

目的:

市町合併による、新しい市域の地理的優位性と多様な人的・物的観光資源を最大限に活用し、地域の個性や特色を生かすとともに、観光を取り巻く環境の変化に対応した持続可能な観光振興施策を展開するため、現行の観光振興計画に替えて、新しい観光振興計画を策定する。

事業の概要:

新しい本市観光振興計画を策定

環境の変化に対応し持続可能な観光振興を図ることができるよう、行政の過度の関与を控え、民間の自助努力を引き出していくことを基本的なコンセプトとする計画を策定(目標年次:平成29年度)

香川型水田農業振興総合対策の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：1億2,800万円

目的：

国は平成19年度から、経営規模が4ha以上の認定農業者や20ha以上の集落営農などに施策を重点化・集中化し、展開しようとしている。小規模農家が大半である本市農業の現状を考慮して、農業従事者の高齢化・後継者不足等から作業の省力化・効率化を目指し、農業機械の共同利用の促進、さらには、農作業支援体制の確立による農業振興を図る。

事業の概要：

米改革推進リーダー支援事業

売れる米づくりや水田農業の望ましい生産構造の実現を図るため、米改革推進リーダーを設置し、調整活動などを実施する。

地域水田農業ビジョン実現総合支援事業

地域で策定された地域水田農業ビジョンの実現のために必要な条件整備に関する事業を実施する。

麦、大豆本作化推進事業

「さぬきの夢2000」の品質向上および作付け拡大を図る。

農作業支援システム導入促進事業

担い手の労働を補完する定植・出荷・調整作業や担い手が少ない地域での農作業受託の実施などに必要な農業機械等の整備を行う。

認定農業者の育成・確保の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：180万円

目的：

認定農業者連絡協議会を通じて、経営改善指導や遊休地等土地利用集積による規模拡大を推進する。

事業の概要：

認定農業者の連携推進

高松市認定農業者連絡協議会を開催し、認定農業者相互の連絡を密にし、効率的かつ安定的な農業経営の改善を図る。

キーワード：認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づく制度で、経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、基準に適合する農業者として市町村から認定を受けた者

林道の整備

農林水産課
事業費（計画額）：2,090万円

目的：

適切な森林整備と林業経営の効率化等のほか、山村地域の生活道、地域振興の基盤施設として重要な役割を果たしている林道の整備を実施する。

事業の概要：

塩江琴南線の改良

- ・設計・測量
- ・改良工事 120m

「高松産ごじまん品」生産・消費の促進<まちづくり戦略プランに掲載>

農林水産課
市全体事業費（計画額）：900万円

目的：

生活者と生産者のニーズなどに対応しながら、市内農産物の需要拡大と地産地消を図り、本市農業の活性化を推進する。

事業の概要：

平成18年度において、新たに合併地区の特産品を高松産ごじまん品に選定し、「たかまつ食と農のフェスタ」等により新市域の農業のPRを図る。

情報発信等推進事業

新ごじまん品の選定、ごじまん品リーフレットの作成、米の消費拡大等

生産者・消費者相互理解促進事業

たかまつ食と農のフェスタの開催、ごじまん品キャラクターの利用促進等消費者と生産者の交流の推進

生産振興等対策事業

園芸塾の開催、米粉の利用拡大・定着化、新品目の実証圃・展示圃の設置

生産マニュアルの確立、加工品の普及等による生産振興の推進

市道の整備

道路課
事業費（計画額）：1億5,500万円

目的：

山間地特有の地形などから、幅員が狭く、ネットワーク化が不十分な生活道路につい

て、路側改良などによる拡幅や待避所の設置、1.5車線化などの整備を進めることにより、地域住民の利便性の向上を図る。

事業の概要：

市道の改良事業

・内場池西岸線道路改良	W = 5 m	L = 約 6 6 0 m
・黒石線道路改良	W = 4 m	L = 約 1 1 0 m
・戸石線道路改良	W = 4 m	L = 約 1 0 0 m
・嵯峨野線道路改良	W = 4 m	L = 約 1 4 0 m
・野田大相線道路改良	W = 4 m	L = 約 7 0 m
・引地馬背線道路改良	W = 4 m	L = 約 7 0 m

橋梁の整備

道路課

事業費（計画額）：1億2,400万円

目的：

山間地特有の地形などから、ネットワーク化が不十分な生活道路について、橋梁の整備を行うことにより、地域住民の利便性の向上を図る。

事業の概要：

来栖中村線中村橋新設工事	W = 5 m	L = 約 5 0 m
--------------	---------	-------------

コミュニティバスの運行

都市計画課交通政策室

事業費（計画額）：1,530万円

目的：

路線バスが廃止された地区やバスが運行されていない地区において、コミュニティバス等を運行し、高齢者等交通弱者の足を確保する。

事業の概要：

- ・塩江町コミュニティバス（平成10年10月から運行）

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：2億1,300万円
（うち市全体事業費（計画額）：1億4,600万円）

事業の概要：

観光総合パンフレット（日・英）の制作（観光課）

枚方市へ物産展の出展（商工労政課）

中小企業指導団体等の助成（商工労政課）

商工会への助成

塩江温泉郷宣伝広告チラシの作成（観光課）

まつりの開催（観光課）

塩江さくらまつり、塩江温泉まつり、塩江ホテルまつり、塩江もみじまつりの開催

塩江温泉感謝祭の開催（観光課）

中山間地域等直接支払事業の推進（農林水産課）

中山間地域などにおける耕作放棄の発生防止のため、農業者に対し直接支払を実施

ソバ作付推進事業の助成（農林水産課）

イノシシ等被害防除事業の助成（農林水産課）

防護柵等の整備への助成

分収造林事業の実施（農林水産課）

間伐、枝打、作業路整備など

造林事業の助成（農林水産課）

下刈、枝打、除間伐、植栽、人工造林への助成

松くい虫の防除（農林水産課）

治山事業の実施（農林水産課）

野上地区

参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を可能な限り発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを強化し、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツなど、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

【 参加のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり
 - ・ 行財政運営の効率化と支所等の機能整備
- (2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり
 - ・ コミュニティ活動の支援
- (3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり
 - ・ 住民との協働の推進
 - ・ 情報公開の推進

合併記念各種イベントの開催<まちづくり戦略プランに掲載>

関係課

市全体事業費(計画額): 2億6,000万円

目的:

平成18年度の1年間を通じて、各種のイベントについて、「合併記念事業」として位置づけた取組みを行い、新しい市の一体感の醸成に資する。

事業の概要:

各イベントに「合併記念」の冠をつけて実施

合併記念各種イベント一覧表

実施月	事業名	担当課
4月	塩江さくらまつり	観光課
	さぬき高松ボンポコまつり	
4月~5月	歴史資料館収蔵品展「新たに仲間となりました」(仮称)	歴史資料館
	美術館「エミール・ガレとドーム兄弟展」	美術館
5月	フラワーフェスティバル・交通安全フェア	公園緑地課・交通安全対策課
	かがわ国際フェスタ2006	国際交流室
	暮らしをみなおす市民のつどい	市民生活課
	保育まつり	こども未来課
50歳以上男子ファーストピッチソフトボール大会	市民スポーツ課	
5~6月	石のさとフェスティバル	文化振興課
6月	ほたるの里フォトコンテスト写真公募展	美術館
	塩江ホテルまつり	観光課
	水道週間行事	水道局
	さわやかママさんバレーボール大会	市民スポーツ課
6~7月	アーツフェスタたかまつ2006	文化振興課
7月	外国人のど自慢・お国自慢交流大会	国際交流室
	福祉のつどい	障害福祉課
	国分寺いん石20周年展(仮称)	市民文化センター
	市民遠泳大会	市民スポーツ課
7~9月	屋島山上石あかりロード(仮称)	観光課
8月	高松まつり	
	塩江温泉まつり	
	ボン・フェスティバルIN香南	
	国分寺町まつり	
高松市子ども会フットベースボール大会	社会教育課	
8~9月	牟礼石あかりロード	観光課
9月	健康まつり	保健センター
	高松市合併ふれあい展	美術館
9~11月	市民スポーツフェスティバル	市民スポーツ課
10月	音のまつり	文化振興課

実施月	事業名	担当課
10月	高松秋のまつり	観光課
	仏生山竹あかりロード	
	義経・与一合同サミット	
	グリーンフェスタ国分寺盆栽まつり	農林水産課
	ファミリーマラソン in Aji	市民スポーツ課
	合併企画展	歴史資料館
10～11月	菊池寛記念館文学展「愛の手紙」(仮称)	菊池寛記念館
11月	男女共同参画フェスティバル	女性センター
	塩江もみじまつり	観光課
	農産品まつり	農林水産課
	平和記念室収蔵品巡回展	市民文化センター
	健脚大会	市民スポーツ課
	さわやかママさんソフトボール大会	
	60歳以上男子スローピッチソフトボール大会	
	まなびCAN開設5年記念事業	生涯学習センター
	美術館コレクション展	美術館
11～1月	高松冬のまつり	観光課
12月	元気ハツラツドッジボール大会	市民スポーツ課
	国分寺町冬のまつり	観光課
1月	新成人祝賀講演会	社会教育課
	まちづくり講演会	市民生活課
2月	新春子どもフェスティバル	社会教育課
	校区別混成ソフトバレーボール大会	市民スポーツ課
	たかまつ食と農のフェスタ	農林水産課
3月	塩江温泉竹あかりのみち	観光課
通年	サンポートにぎわいづくりイベント	

上記以外のイベントについても、随時、合併記念イベントに位置づけて実施するものとする。

合併記念市民交流・地域間交流事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,840万円

目的:

合併後の新しい市において、速やかな地域の一体化と融合を図るため、旧高松市や合併地区のそれぞれの市民が、新しい市の各地域の特色ある施設や地域資源を知るとともに、地域性のあるまつりにおけるイベントへの参加を通じてふれあうことにより、市民の一体感を醸成することを目的として合併記念市民交流・地域間交流事業を実施する。

事業の概要:

一体感醸成イベントの実施

旧高松市および合併地区における比較的規模の大きい“まつり”において、まつり

の会場の一画を利用し、まつりのプログラムと関連づけながら、市民の一体感を醸成するイベント（プログラム）を付加して実施する。

最初のまつりとなる「フラワーフェスティバル・交通安全フェア」において、交流事業スタートイベントを実施する。

対象のまつりおよび開催月

名 称	地区名	開催月
フラワーフェスティバル・交通安全フェア	旧高松	5月
石のさとフェスティバル	庵治	6月
塩江ホテルまつり	塩江	6月
アーツフェスタたかまつ2006	旧高松	7月
ボン・フェスティバルIN香南	香南	8月
塩江温泉まつり	塩江	8月
牟礼石あかりロード	牟礼	9月
ひょうげまつり	香川	9月
高松秋のまつり	旧高松	10月
音のまつり	国分寺	10月

合併記念巡回ふれあいバスツアーの運行

各地域の特色ある施設やまつりなどを巡るバスツアーを運行する。

実施月

6月から11月までの6か月間

回数と対象

訪問見学場所

各地域の特色ある自然・歴史・文化・産業などに関連する施設、スポット、地域に根ざした“まつり”、休憩施設など

合併一周年記念事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費（計画額）：160万円

目 的：

市民の企画提案により、市全域の市民参加による合併一周年を祝う記念事業を実施する。

事業の概要：

市民から企画提案を募集

市民による実行委員会で運営

実施時期：平成19年1月～2月ごろ

新しい総合計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,000万円

目的:

近隣町との合併による新しい高松市の誕生に伴い、新たな市域における主体的かつ計画的なまちづくりのための根幹的指針として、新しい総合計画を策定する。

策定に当たっては、現行の総合計画や合併地区の建設計画(合併基本計画)を踏まえながら、時代の潮流や国の動向、厳しい財政環境、新しい行政課題への対応、さらには市民の意見を反映する中で、成果主義に基づいた政策評価の考え方を取り入れながら、より戦略的な計画の策定を目指す。

事業の概要:

- 平成18年度 策定要綱の制定
まちづくり100人委員会の設置
市民意識調査の実施(合併地区)
地区別まちづくり計画基礎調査の実施
市民提言の募集 など
- 平成19年度 たかまつタウンミーティングの開催
基本構想原案作成
総合計画審議会設置・開催
パブリックコメントの実施
基本構想の議決
主要事業計画策定 など

行財政改革の推進(行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築)
<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課行政改革推進室

市全体事業費(計画額): 60万円

目的:

厳しい行財政環境、地方分権の進展、市町合併後の対応、少子高齢社会の到来、高度情報化の進展、市民の市政への参画意識の高まり等、本市を取り巻く状況に対応し、中核市にふさわしい行財政システムの確立を目指し、次期行財政改革計画を策定する。

また、総合計画の進行管理と行政評価を同一のシステムで行い、「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルの確立を目指すとともに、財務会計システムとの連携および調書作成作業の省力化・効率化を図ることにより、政策・施策・事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性を向上させる。

事業の概要：

次期行財政改革計画の策定

- ・平成18年度に、平成19年度を計画期間の始期とする次期行財政改革計画を策定
- 行政評価システムの構築
- ・新たに策定する総合計画と連動させ、既の実施している事務事業評価に加え、施策評価・政策評価に発展させることにより、一体的な行政評価システムを構築する。
「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルを確立することにより、政策・施策や事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性の向上を図る。

自治会組織の充実とコミュニティづくり

市民生活課

市全体事業費（計画額）：1億5,200万円

目的：

多様化する地域課題の解決に、地域の多様な人々が自らの問題として積極的にかかわり、主体的に参加し、選択・決定するという、地域みずからのまちづくりを推進する。

そのため、それぞれの地域で培われてきた歴史、文化、個性などをいかし、地域活動の基盤となる自治会組織の強化を図るとともに、自治会を中心に、各種の地域団体、NPO、企業等が連携する地域コミュニティ組織の構築を促進する。

事業の概要：

自治会活動補助金や自治会加入・結成奨励に対する助成

地域コミュニティ構築の支援

自治会等各種団体と連携し、人材養成事業、地域ふれあい交流事業を実施

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：3,050万円

（うち市全体の事業費（計画額）：2,900万円）

事業の概要：

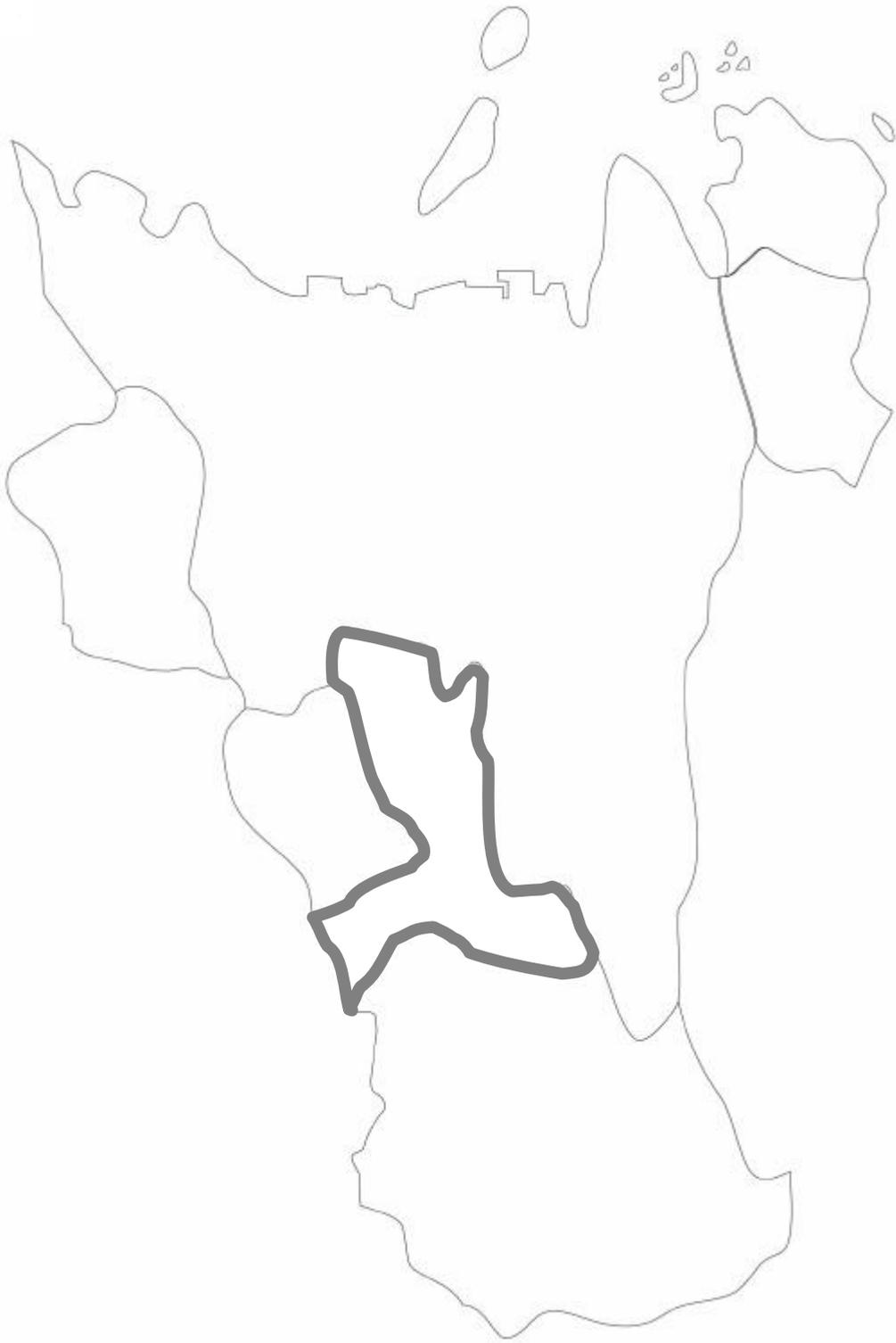
地域審議会の開催（市民生活課）

NPOとの協働の推進（市民生活課）

協働企画提案事業、ボランティア・市民活動センター管理運営委託など
情報公開制度および個人情報保護制度の推進（庶務課）

香川地区建設計画

平成18・19年度実施計画



目 次

香川地区の実施計画	117
連帯のまちづくり	123
地域包括支援センターの設置運営	124
男女共同参画社会の形成	125
重点取り組み事項関連事業の推進	125
循環のまちづくり	127
香東川水系椋川ダムの建設	128
水道管網の整備	128
下水道汚水施設の整備（西部処理区）	129
環境基本計画の策定	130
ごみ処理基本計画の策定	130
南部クリーンセンターの整備	131
し尿中継貯留槽の整備	131
重点取り組み事項関連事業の推進	131
連携のまちづくり	133
南消防署等の整備	134
防災行政無線システムの整備	134
消防水利等の整備	134
学校教育環境の整備	135
学校図書館の活性化	135
香川図書館（仮称）の整備	136
移動図書館巡回サービスの実施	136
公民館の耐震化	137
新成人祝賀講演会の開催	137
CATVの整備	138
電子市役所構築の推進	138
重点取り組み事項関連事業の推進	139
交流のまちづくり	141
観光振興計画の策定	142
香川型水田農業振興総合対策の推進	142
認定農業者の育成・確保の推進	143
農作業受託組織等の育成	143
「高松産ごじまん品」生産・消費の促進	143
市道の整備	144
鉄道施設の整備	144
コミュニティバスの運行	145
都市計画マスタープランの策定	145
重点取り組み事項関連事業の推進	146

参加のまちづくり	147
合併記念各種イベントの開催	148
合併記念市民交流・地域間交流事業の実施	149
合併一周年記念事業の実施	150
新しい総合計画の策定	151
行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）	151
自治会組織の充実とコミュニティづくり	152
重点取り組み事項関連事業の推進	152

香川地区の実施計画

はじめに

香川地区は、立地特性を生かし、行政・経済・文化ともに発展する中で、圏域の先導的な役割を果たしてきており、豊かな自然環境、個性豊かな地域文化など、特色ある郷土の文化資産は、住民の暮らしにうるおいを与えるとともに、住民が身近に接することのできる交流資源となっている。

また、豊かな農地が広がる田園地帯を有し、住民生活に欠くことのできない米、野菜、果樹などの生産供給機能や自然環境の保全機能を担ってきている。

今後、高松市南部地域における役割を充実させる中で、近隣地域と一体となって活力ある地域づくりを進めていくとともに、「質の高い生活文化の創造と身近な学習・交流機能」や食料供給を軸とした「暮らしの支援機能」の充実も求められおり、建設計画において、香川地区は、「うるおいのある田園型生活文化を発信する交流ゾーン」として位置づけられている。

こうした役割と機能を踏まえ、個性ある活力に満ちた地域社会の実現に向けて、香川地区のまちづくりを展開する。

実施計画の期間：平成18・19年度

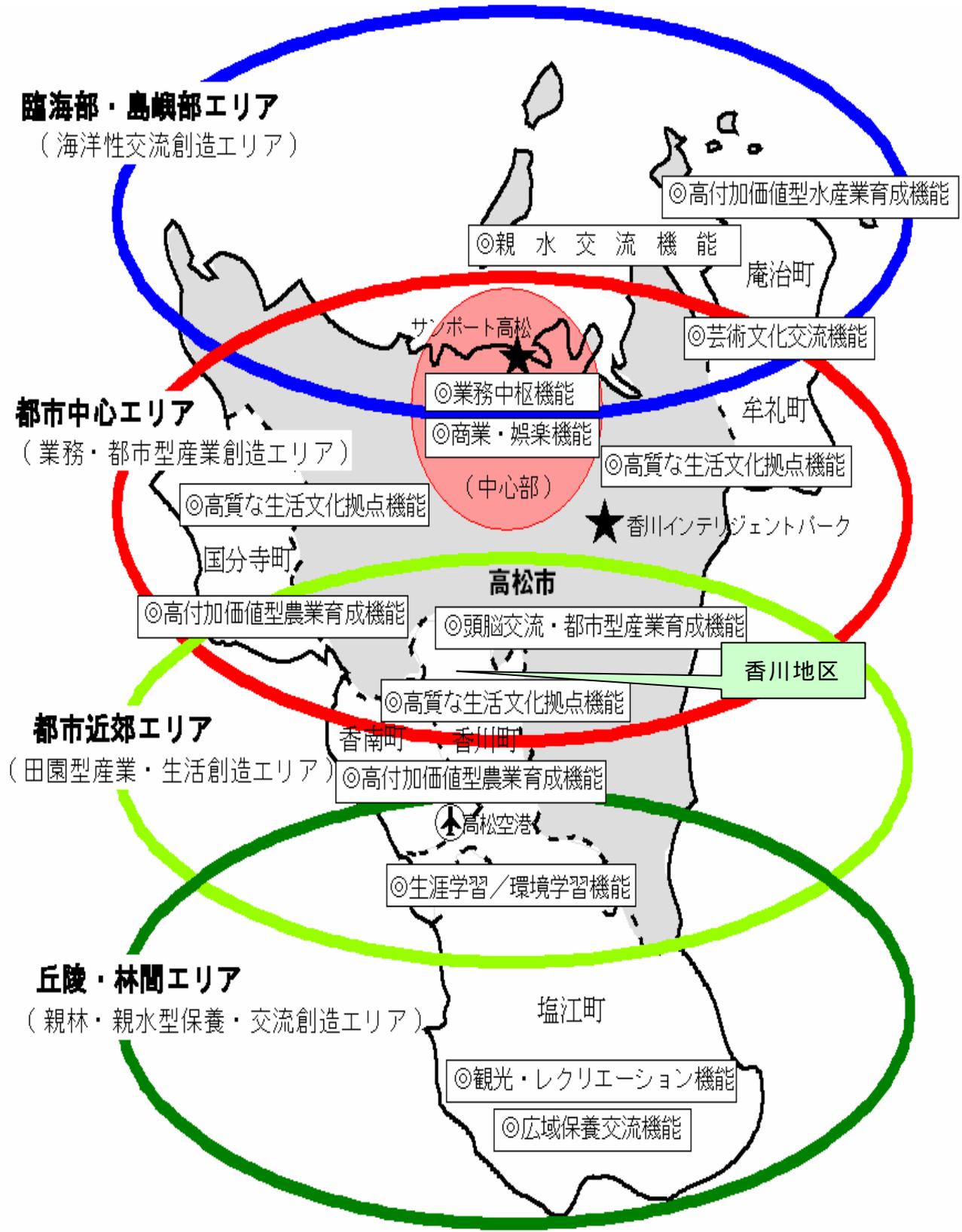
実施計画事業数：70事業（香川地区のみの事業：31事業、市全体等事業：39事業）

概算事業費

単位：万円

区 分	国・県支出金	市債	その他	一般財源	事業費
香川地区のみの事業	58,030	72,700	50	47,050	177,830
市全体等の事業	97,840	167,950	73,110	213,540	552,440
合 計	155,870	240,650	73,160	260,590	730,270

市全体等の事業とは、全市的事业および旧高松市や合併各町など、複数の地区で実施する事業で、各地区ごとに事業費を区別することができない事業を指し、それぞれの事業の事業費（計画額）のところに、「市全体」または「地区」などと記載しているものである。



(注) は特に重点的な育成が図られるべき機能

実施計画事業の概要について

連帯のまちづくり

香川地区では、少子・高齢化が進行する中で、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ、「自助、共助、公助」の原則のもとに、住民、地域社会、行政が連帯して解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康で安心して暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 地域包括支援センターの設置運営
- ・ 男女共同参画社会の形成
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

循環のまちづくり

香東川水系の美しい自然や里山、ため池が点在する田園風景など、水と緑の豊かな自然環境は、生活にうるおいを提供するかけがえのない財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを地域ぐるみで創出することによって、良好な環境機能を維持・増進させるとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代へ引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、環境への負荷の少ないシステムの形成、自然とふれあい、親しむ機会の創出などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環まちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 香東川水系かぼがわ椀川ダムの建設
- ・ 水道管網の整備
- ・ 下水道汚水施設の整備（西部処理区）
- ・ 環境基本計画の策定
- ・ ごみ処理基本計画の策定
- ・ 南部クリーンセンターの整備
- ・ し尿中継貯留槽の整備
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

連携のまちづくり

香川地区は、ため池や里山などの水と緑の豊かな自然、田園環境と調和した居住空間を提供するとともに、ひょうげ祭りや農村歌舞伎・祇園座などの民族文化資源にも恵まれており、こうした環境は、“ふるさと”を実感し、豊かな生活を創造する貴重な財産となっている。

このため、これらの財産を活用し、生活の基礎となる豊かな自然や文化と調和し、安全・安心な地域環境を築くとともに、住民と行政が知恵を出しあい、連携することにより、安全・安心、香り高い文化とうるおい、ゆとりに満ちた豊かな生活を創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 南消防署等の整備
- ・ 消防水利等の整備
- ・ 学校図書館の活性化
- ・ 移動図書館巡回サービスの実施
- ・ 新成人祝賀講演会の開催
- ・ 電子市役所構築の推進
- ・ 防災行政無線システムの整備
- ・ 学校教育環境の整備
- ・ 香川町図書館（仮称）の整備
- ・ 公民館の耐震化
- ・ C A T V の整備
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

交流のまちづくり

香川地区は、都市近郊型農業の育成に取り組んできたが、農業従事者の減少や高齢化、農地の維持管理能力の低下などにより、生産基盤の整備、農産物の高付加価値化やブランド化、担い手の育成などが課題となっている。

また、商工業は、経済不況の長期化や郊外型店舗の立地など環境の変化への対応が迫られており、経営基盤の安定と強化や経営改革等が求められている。

このため、豊かで特色ある自然環境、農業の集積力などを活用し、独創的な高付加価値農業の確立、起業家の育成など、活力ある産業の創出を促進するとともに、これらを支える交流基盤（交通・情報通信）の整備により、位置的特性や空港など豊かな潜在力を生かした活気あふれるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・観光振興計画の策定
- ・認定農業者の育成・確保の推進
- ・「高松産ごじまん品」生産・消費の促進
- ・市道の整備
- ・コミュニティバスの運行
- ・重点取組み事項関連事業の推進
- ・香川型水田農業振興総合対策の推進
- ・農作業受託組織等の育成
- ・鉄道施設の整備
- ・都市計画マスタープランの策定

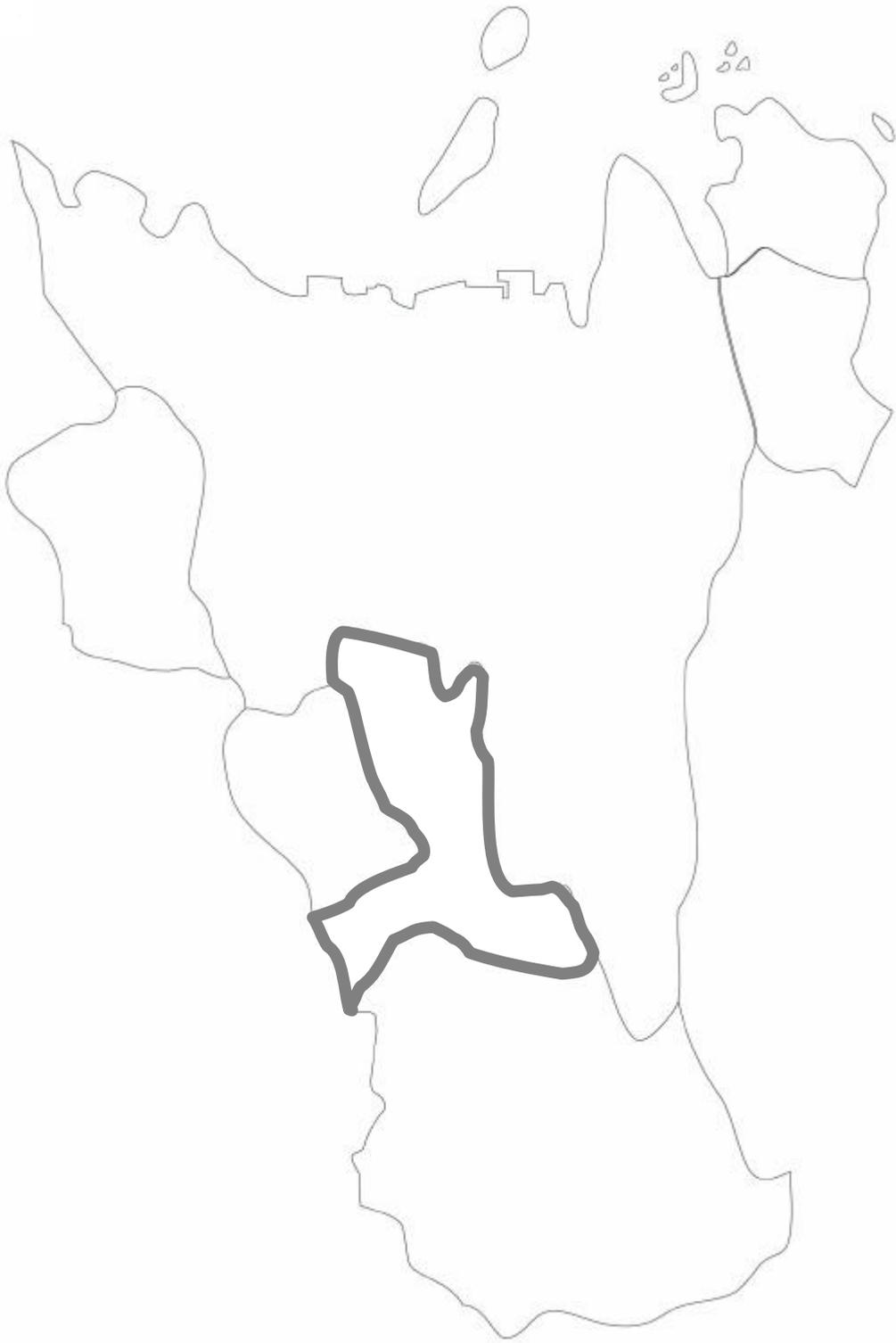
参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を可能な限り発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを強化し、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツなど、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・合併記念各種イベントの開催
- ・合併一周年記念事業の実施
- ・行財政改革の推進
(行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築)
- ・自治会組織の充実とコミュニティづくり
- ・重点取組み事項関連事業の推進
- ・合併記念市民交流・地域間交流事業の実施
- ・新しい総合計画の策定



連帯のまちづくり

香川地区では、少子・高齢化が進行する中で、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ、「自助、共助、公助」の原則のもとに、住民、地域社会、行政が連帯して解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康で安心して暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

【 連帯のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり
 - ・ 地域福祉の充実
 - ・ 施設福祉・在宅福祉サービスの充実
 - ・ 社会参加の促進
 - ・ 地域社会のバリアフリー化の促進

- (2) 保健と医療の充実したまちづくり
 - ・ 医療体制の充実
 - ・ 健康づくりの推進

- (3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり
 - ・ 保育サービスの充実
 - ・ 子育て支援サービスの充実

- (4) 基本的人権を尊重するまちづくり
 - ・ 人権尊重社会の実現
 - ・ 男女共同参画社会の形成

地域包括支援センターの設置運営 <まちづくり戦略プランに掲載>

介護保険課

市全体事業費（計画額）：10億2,900万円

目的：

公正・中立な立場から、地域の高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために必要な支援を行うとともに、介護保険サービスのみならず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、支えあいなどの多様な社会資源を有機的に結びつけ、高齢者の心身の状態の変化に応じて生活の質が低下しないように適切なサービスを継続的に提供するため、地域包括支援センターの設置・運営を行う。

事業の概要：

地域包括支援センターの設置・運営

設置か所数：8か所（全て直営）

センター	設置予定場所
中央	高松市保健センター
一宮	コトデン一宮駅前店舗
古高松	古高松公民館
山田	旧山田支所
勝賀	ふれあい福祉センター勝賀
香川	香川保健センター
（香南）	香南保健センター
（塩江）	塩江保健センター
牟礼	牟礼老人福祉センター
（庵治）	庵治保健センター
国分寺	国分寺保健センター

実施時期：平成18年10月設置運営開始

センターの機能：

公正・中立性を確保し、要支援・要介護になるおそれのある高齢者や軽度の要介護認定者への介護予防マネジメント、ケアマネジャー支援、困難事例の相談、高齢者の権利擁護を推進するための活動拠点とする。

・ 共通的支援基盤構築

地域に、総合的、重層的なサービスネットワークを構築する。

・ 総合相談支援・権利擁護

高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぐ。また、虐待の防止など高齢者の権利擁護に努める。

・ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援する。

・ 介護予防マネジメント

介護予防事業、新たな予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なマネジメントを行う。

男女共同参画社会の形成 <まちづくり戦略プランに掲載>

女性センター
市全体事業費（計画額）：5,550万円

目的：

平成14年度スタートの「たかまつ男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画に関する意識高揚を図るとともに、同プランに続く「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定を行う。また、平成18年度から男女共同参画センター（女性センターを名称変更）に指定管理者制度を導入し、より柔軟な企画運営および施設管理を図る中で、男女共同参画社会の形成を推進する。

事業の概要：

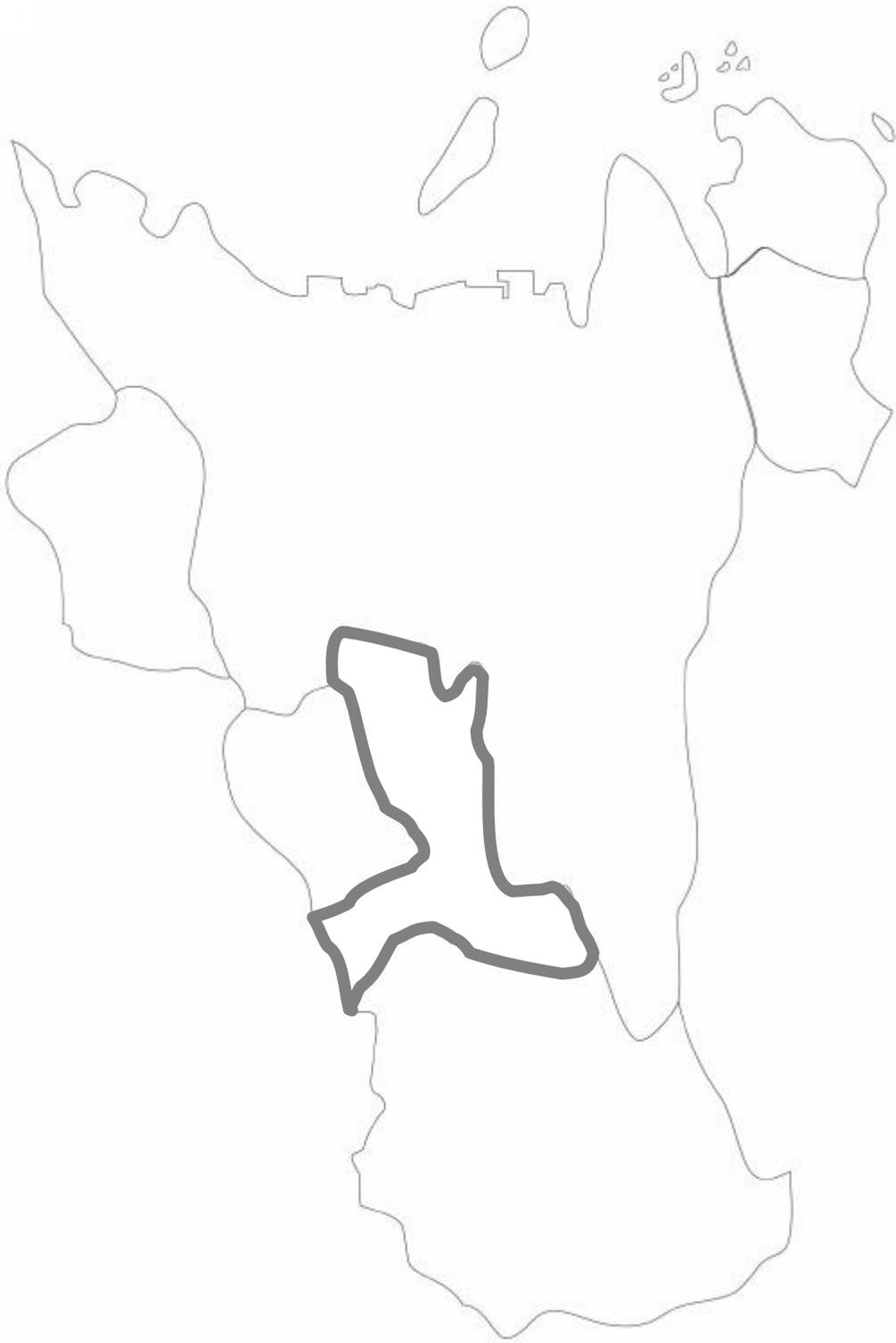
「たかまつ男女共同参画プラン」の推進
「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定
男女共同参画都市宣言推進事業の実施
高松市男女共同参画市民フェスティバルに対する助成
審議会等委員への女性登用の推進
男女共同参画センターの指定管理者による管理への移行

重点取り組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：4億5,700万円
（うち市全体の事業費（計画額）：3億5,700万円）

事業の概要：

介護予防の推進（保健所保健センター）
 栄養改善、機能訓練、認知症予防、介護予防教室など
 シルバー人材センターの活動促進（長寿社会対策課）
 知的障害者小規模作業所の助成（障害福祉課）
 通所1か所の助成
 香川病院機能の充実（市民病院庶務課）
 医療機器等の購入および自家発電設備増設工事
 保育所施設の整備（こども未来課）
 浅野保育所耐震補強工事
 人権教育の推進（人権教育課）
 親子で人権を考える会・市民講座・研修会の開催、指導資料の作成など



循環のまちづくり

香東川水系の美しい自然や里山、ため池が点在する田園風景など、水と緑の豊かな自然環境は、生活にうるおいを提供するかけがえのない財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを地域ぐるみで創出することによって、良好な環境機能を維持・増進させるとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代へ引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、環境への負荷の少ないシステムの形成、自然とふれあい、親しむ機会の創出などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環まちづくりを進める。

【 循環のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり
 - ・ 森林・里山の保全と活用
 - ・ 河川・ため池の保全と活用
 - ・ 身近な緑の保全・回復

- (2) 水資源を大切にすまちづくり
 - ・ 上水道の整備
 - ・ 節水対策の推進
 - ・ 下水道等の整備

- (3) 環境にやさしい社会を構築すまちづくり
 - ・ 環境衛生の充実
 - ・ 地域環境の保全

- (4) 自然環境とふれあう快適なまちづくり
 - ・ 自然に親しむ機会の創出

かばがわ
香東川水系 栴川ダムの建設 <まちづくり戦略プランに掲載>

河港課
市全体事業費（計画額）：3億2,100万円

目的：

治水・利水・渇水対策機能を持つ多目的ダムとして、香東川水系栴川ダムの建設を進め、渇水時の水道水源の確保を図る。

事業概要：

栴川ダム建設事業

調査設計、用地補償、付替道路工事、補償工事

水道管網の整備

水道局水道整備課
事業費（計画額）：6,700万円

目的：

香川地区において水質基準に適合した安全で良質な水を安定的に供給するため、水源の確保と浄水施設や配水施設の整備、老朽施設の更新などを計画的に推進する。

事業概要：

平成18年度	老朽石綿セメント管の更新	約600m
平成19年度	老朽石綿セメント管の更新を継続して計画的に実施する。	

キーワード：水質基準

・健康に関する項目

体重50kgの人が、一日に飲用する水の量を2リットルとし、食物、空気など水以外からの摂取も考慮しながら、人間が生涯にわたって連続摂取しても健康に影響が生じない水準を基準値としている。

・水道水が有すべき性状に関する項目

色、濁り、においなど生活利用上あるいは腐食性など施設管理上障害の生ずるおそれのある項目。

障害を生ずる濃度レベルを基に評価を行い、項目の選定、基準値の設定をしている。

下水道汚水施設の整備（西部処理区）

下水道建設課

事業費（計画額）：9億1,000万円

目的：

香川地区における快適な居住環境の確保と河川やため池など公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、汚水枝線管渠の整備および既設老朽管渠の更生など下水道施設の整備を進める。

事業の概要：

○平成18年度

汚水管渠工事 Φ200mm 約 3,500m

管更生工事 Φ200mm 約 1,000m

○平成19年度

汚水管渠工事 Φ200mm 約 4,000m

管更生工事 Φ200mm 約 1,000m

■下水道普及状況

平成17年3月31日現在

	行政区域人口 A	事業計画処理人口 B	処理区域内人口 C	普及率 C/A
市域全体	421,213人	290,842人	221,289人	52.5%
香川地区	24,880人	9,740人	7,090人	28.5%

■下水処理場の概要（※県施設）

施設名	敷地面積 ha	処理方法	処理能力 (m ³ /日最大)
香東川浄化センター※	約 17.60	標準活性汚泥法	40,800

■下水道の計画

平成18年1月現在

処理区名	全体計画				事業計画区域	
	都市計画決定面積 (ha)	計画区域 (ha)	計 (ha)	計画人口 (人)	事業計画区域 (ha)	計画人口 (人)
市域全体	6,161.4	1,735.1	7,896.5	316,600	6,414.6	290,842
香川地区	451.0	28.0	479.0	15,500	258.2	9,740

キーワード：水質の保全：

汚水が直接、公共用水域に排出されると、水質の汚濁を進行させる。下水道は、河川、海域等の公共用水域に排出される汚水を収集し処理場において処理した後、浄化されたきれいな水を水域に還元することから、公共用水域の汚濁の進行をくい止める一方、水域の自然浄化作用を促進し、水質保全に大きな役割を果たしている。

環境基本計画の策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

環境保全課
市全体事業費（計画額）：560万円

目的：

高松市環境基本計画（平成11年2月策定）策定後の社会情勢や環境を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併による市域の拡大や新たな環境問題等に的確に対応するため、環境基本計画を策定する。

事業の概要：

平成18年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・基礎調査（自然環境調査・生物調査・環境意識アンケート・市域からの温室効果ガス排出量算定調査ほか）の実施

平成19年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・環境基本計画の策定

ごみ処理基本計画の策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課
市全体事業費（計画額）：70万円

目的：

高松市ごみ処理基本計画（平成5年3月策定）策定後の社会情勢、廃棄物を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併地区を含めた新市域での安定的かつ効率的なごみ処理を行うため、新たな減量化率、資源化率の設定を含めた、ごみ処理基本計画を策定する。

事業の概要：

平成18年度

- ・庁内検討組織の設置
- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・市民提案の募集

平成19年度

- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・ごみ処理基本計画の策定

南部クリーンセンターの整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課環境施設対策室
事業費（計画額）：8,900万円

目的：

南部クリーンセンターの周辺環境整備を行い、地域の生活環境の保全を図る。

事業の概要：

香川町安原地区生活環境の整備
集会所の整備

し尿中継貯留槽の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課衛生処理センター
事業費（計画額）：50万円

目的：

香川地区のし尿中継貯留槽改修等整備を行い、対象地域のし尿や浄化槽汚泥のより迅速で効率的な収集運搬と貯留槽周辺環境の保全を図る。

事業の概要：

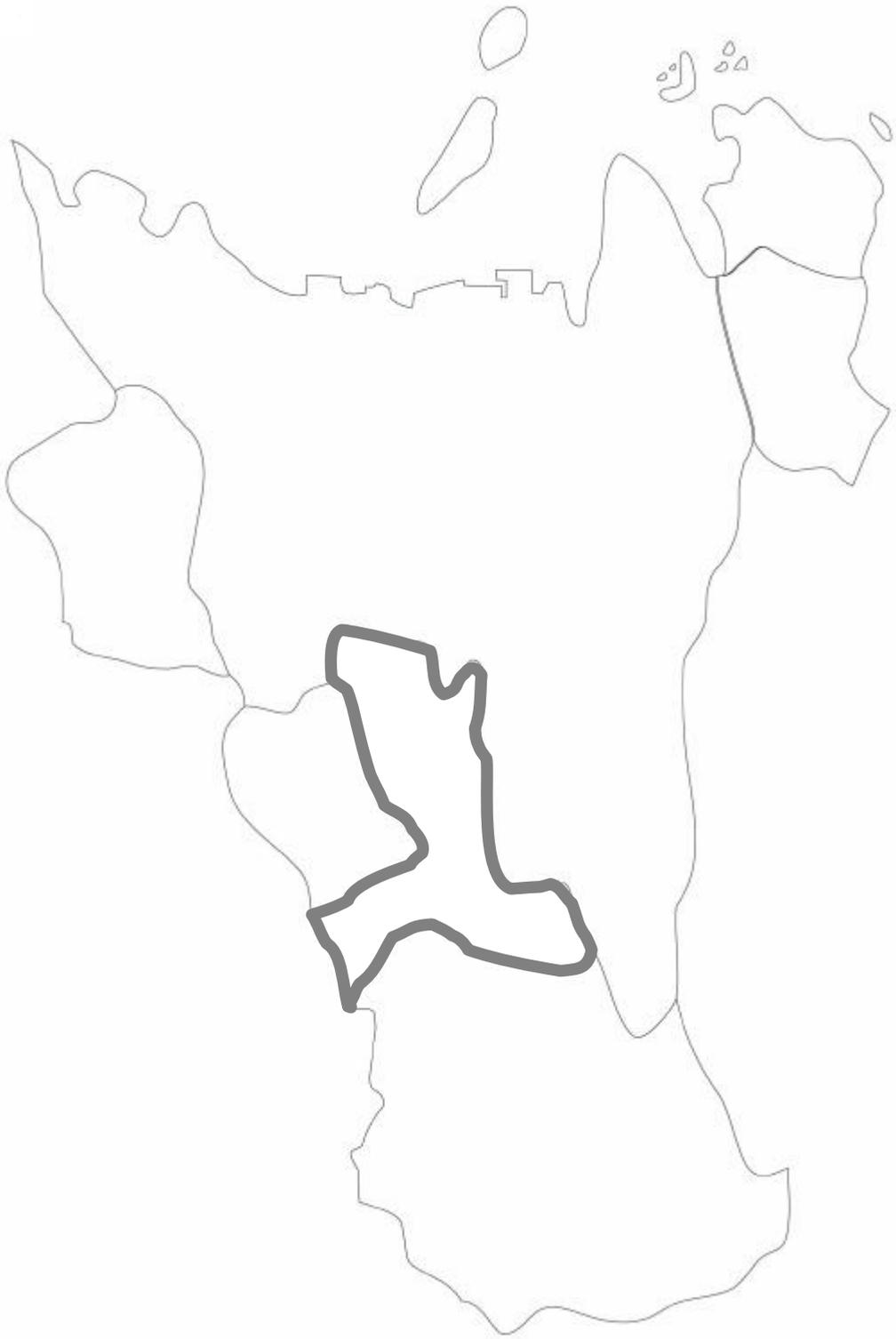
香川町貯留槽改修工事
し尿中継貯留槽の脱臭設備改修等の整備

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：1億900万円
（うち市全体事業費（計画額）：610万円）

事業の概要：

ISO14001の推進（環境保全課）
ISO14001の定期審査など
不法投棄監視体制の推進（廃棄物指導課）
ごみの不法投棄監視体制の充実に向けて、不法投棄防止用監視カメラの設置、パトロール強化等を進める
合併処理浄化槽設置の助成（下水道管理課）
約260基
高松空港に係る騒音測定（環境保全課）



連携のまちづくり

香川地区は、ため池や里山などの水と緑の豊かな自然、田園環境と調和した居住空間を提供するとともに、ひょうげ祭りや農村歌舞伎・祇園座などの民族文化資源にも恵まれており、こうした環境は、“ふるさと”を実感し、豊かな生活を創造する貴重な財産となっている。

このため、これらの財産を活用し、生活の基礎となる豊かな自然や文化と調和し、安全・安心な地域環境を築くとともに、住民と行政が知恵を出しあい、連携することにより、安全・安心、香り高い文化とうるおい、ゆとりに満ちた豊かな生活を創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

【 連携のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり

- ・ 自然災害対策の推進
- ・ 消防・防災体制の整備
- ・ 交通安全対策の充実
- ・ 防犯対策の充実

(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり

- ・ 家庭教育の充実
- ・ 学校教育の充実
- ・ 教育環境の整備
- ・ 生涯学習・生涯スポーツの充実

(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり

- ・ 地域情報化の推進
- ・ 電子市役所の構築
- ・ 土地の適正管理

(4) 歴史と伝統文化を生かしたまちづくり

- ・ 伝統文化の保存・継承
- ・ 文化交流の促進

南消防署等の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

消防局総務課

市全体事業費（計画額）：15億9,500万円

目的：

道路網の整備や市街地の進展に適切に対応し、現場への到着時間の短縮および平均化を図るため、消防署所の移転・統廃合・耐震化をすすめるとともに、移転後の南署に地域防災拠点施設を併設する。

事業の概要：

平成18年度

南消防署用地購入、庁舎と地域防災拠点施設の実施設計

一宮分団第2部消防屯所の整備

平成19年度

南消防署庁舎および地域防災拠点施設の建設（平成20年度完成予定）

防災行政無線システムの整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

庶務課防災対策室

市全体事業費（計画額）：3億3,100万円

目的：

災害時等における緊急情報伝達システムを構築するとともに、合併地区で整備運用している情報連絡施設を、新市の組織体制に合わせて再構築し、全市域における防災行政無線設備として拡張整備することにより、市民に対する情報提供や避難勧告・指示を迅速に行う。

事業の概要：

平成18年度

市役所災害対策本部（基地局）のデジタル化整備および屋外子局13局の整備

平成19年度

ケーブルテレビ・コミュニティFMなど既設システムとの連携・整備

平成20年度以降

旧高松市消防団屯所52箇所および合併地区のデジタル化整備など

消防水利等の整備

消防局総務課

事業費（計画額）：2,500万円

目的：

住宅集中地区や高地など、消防水利に恵まれていない地域における消火活動に必要な消防水利施設として、耐震性貯水層や消火栓の設置を進め、火災時の地域住民の被害の軽減を図る。

事業の概要：

耐震性貯水層（60m³級）の整備

学校教育環境の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課

合併地区全体事業費（計画額）：1,680万円

目的：

学校への防犯監視システム、扇風機の設置などを行い、児童・生徒にとって、安全で快適な、より良い教育環境を創出する。

事業の概要：

- 学校防犯監視システムの整備（小学校）
 - 正門等に防犯カメラ、センサーを設置
 - 職員室でアラーム音とともに、モニタ表示し、画像を録画
 - 平成20年度末までに、全小学校に整備予定
- 教室への扇風機の設置（小・中学校）
 - 平成18年度末までに全小・中学校に設置予定
- 自動体外式除細動器（AED）の設置（中学校）
 - 平成18年度末までに全中学校に設置予定

学校図書館の活性化 <まちづくり戦略プランに掲載>

学校教育課

合併地区（牟礼地区を除く）全体事業費（計画額）：2,440万円

目的：

学校図書館指導員の効果的な配置を通じ、児童・生徒の読書活動を一層推進し、健全育成を図る。

事業の概要：

- 学校図書館指導員を全小・中学校に効果的に配置し、蔵書の貸し出し、返却、児童生徒への対応、データベースの整理等を行う。

学校図書館指導員の増員計画

地域	旧高松市	庵治・塩江・香川・香南・国分寺地区	牟礼地区
小・中学校数	57校	16校	4校
配置 人員	増員数	5名	6名
	増員後	23名	6名
配置基準	6時間勤務 / 1人1日、 児童生徒数700名以上の学校：週3日配置 児童生徒数200名から700名未満の学校：週2日配置 児童生徒数200名未満の学校：週1日配置		4時間勤務 / 1人1日、 週5日配置

小・中学校図書データベース用パソコンを整備

香川図書館（仮称）の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

中央図書館
事業費（計画額）：2億6,600万円

目的：

市内に3つの図書館サービスエリア（中央、東部、西部）が形成される中で、図書館のない南部エリアに新たに香川図書館（仮称）を整備し、全域的な図書館サービスを提供する。

事業の概要：

実施設計、施設改修、設備・家具工事、図書館システム構築、図書購入など

【整備概要】

- ・旧香川町庁舎東館の1階～4階を香川図書館（仮称）として整備
- ・1階：閉架書庫、2階：児童図書コーナー、3階：一般図書コーナー、4階：事務室・会議室・集会室
- ・蔵書数 開館時60,000冊、開館2年後80,000冊

平成19年度当初の開館予定

移動図書館巡回サービスの実施 <まちづくり戦略プランに掲載>

中央図書館
市全体事業費（計画額）：1億5,800万円

目的：

図書館から遠隔地にあり、図書館の利用が不便な市民等に対し図書館サービスを行う。

事業の概要：

合併に伴い移動図書館車を1台（積載図書冊数3,000冊程度）増車し、3台の図書館車で市内の92ステーション（合併地区23ステーションを含む）を毎月巡回する。

(平成18年2月から実施)

平成18年度巡回ステーション

- ・旧高松市(70箇所)
- ・塩江地区(3箇所) 塩江支所・上西連絡事務所・塩江小学校
- ・牟礼地区(2箇所) 牟礼南小学校・牟礼北小学校
- ・庵治地区(3箇所) 深間庭球場・鎌野自治会館・庵治漁業協同組合
- ・香川地区(8箇所) 香川支所・香川総合体育館・浅野小学校・浅野公民館
大野公民館・大野小学校・川東公民館・東谷公民館
- ・香南地区(4箇所) 香南歴史民俗郷土館・香南公民館・香南幼稚園・池西農村環境改善センター
- ・国分寺地区(3箇所) 福家児童館・讃岐国分寺跡資料館・新居東児童館

香川図書館(仮称)開館時に、香川町の移動図書館サービスステーション、香南町の移動図書館サービスステーションは縮小

公民館の耐震化 <まちづくり戦略プランに掲載>

社会教育課

事業費(計画額): 180万円

目的:

地域の拠点施設であり、災害時の避難所にも指定されている地区公民館のうち、昭和56年以前の旧耐震基準で建築されたものについて、耐震診断を行い、必要な耐震対策を実施し、住民の安全確保を図る。

事業の概要:

浅野公民館、川東公民館の耐震診断

耐震診断実施スケジュール

年度	コミュニティセンター・地区公民館施設の耐震診断
18	9館(林、鬼無、木太、太田、円座、東植田の各コミュニティセンター、香南、国分寺北部、国分寺南部の各公民館)
19	8館(川岡、西植田、多肥、屋島、三谷の各コミュニティセンター、牟礼(いきいきセンターを含む)、浅野、川東の各公民館)

新成人祝賀講演会の開催

社会教育課

市全体事業費(計画額): 150万円

目的:

講演を通じて、次代を担う新成人に新たな視点づくりを促し、豊かな人間形成を目指す。

事業の概要：

平成19年高松市成人式において、新成人を対象に講演を行う。

開催日時 平成19年1月8日（月・成人の日）

開催会場 サンポートホール高松大ホール

参加定員 1,500人

CATVの整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

広聴広報課
市全体事業費（計画額）：2億円

目的：

地域における総合的情報通信網として、CATV網の整備および合併地区へのエリア拡大を促進し、CATVによる市政情報の提供等情報通信機能の充実を図る。

事業の概要：

CATV関連施設整備事業に対する助成

- ・未整備合併地区へのエリア拡大

キーワード：CATV

光ファイバーケーブルなどを利用した特定地域対象の有線放送テレビ。自主制作を含む様々な番組を多チャンネルで放送する。ケーブルの有する大容量と双方向機能を活用し、放送と通信サービスを総合的に提供するメディアとして期待されている。（Cable Television）

電子市役所構築の推進 <まちづくり戦略プランに掲載>

情報システム課
市全体事業費（計画額）：7,200万円

目的：

国の進める電子政府構築に対応して、電子市役所の構築を推進することにより、行政事務の一層の簡素化、効率化を図るとともに、より高度な行政サービスを実現する。

事業の概要：

平成18年度

- ・電子調達（CALS/EC）システム稼働（電子入札）

- ・ 戸籍総合システム稼働（現在戸籍・附票）
- ・ 財務会計システム再構築（調査検討、仕様書作成）
- ・ 生涯学習情報システム再構築（かがわ電子自治体システムへの移行）

平成19年度

- ・ 戸籍総合システム稼働（除籍、改製原戸籍）
- ・ 財務会計システム再構築（システム開発）
- ・ 新生涯学習情報システム稼働（かがわ電子自治体システム内生涯学習施設予約部分）

平成20年度

- ・ 新財務会計システム稼働（予算編成）

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：5億5,700万円
（うち市全体事業費（計画額）：5億2,100万円）

事業の概要：

自主防災組織等の結成促進（消防局予防課）

防犯灯の整備促進（市民生活課）

交通安全施設の整備（道路課）

自転車歩行者道、交差点改良、道路標識、区画線、防護柵、道路照明灯、視線誘導標、道路反射鏡、交差点案内標識などの整備

子どもの居場所づくりの推進（社会教育課）

子どもの居場所づくり指導者の養成、のびのび子どもプラザモデル事業の実施、子どもわくわく体験支援事業の実施）

香川地区子ども会の育成（社会教育課）

校区子ども会への助成

香川地区子ども会事業の支援（社会教育課）

子ども交流、わんぱく寺子屋、たこあげ、卓球大会

ふれあい創作館の運営（社会教育課）

世代間交流や陶芸窯での創作活動

不登校児の対策（教育文化研究所）

南地区適応指導教室の運営

小学校の施設整備（教育部総務課）

浅野小学校屋外附帯施設（消火管）の改修

障害児学級の設置（教育部総務課、学校教育課）

浅野・川東小学校（2学級の新設）

幼稚園の整備（教育部総務課）

保育室の床改修（大野）、下水道切替工事（川東）

まなびCAN開設5年記念事業の開催（生涯学習センター）

町民運動会に対する助成（市民スポーツ課）

伝統文化の保存・継承の支援（文化振興課）

ひょうげまつり，農村歌舞伎祇園座

文化講演会の開催（文化振興課）

地区文化祭の開催（文化振興課）

交流のまちづくり

香川地区は、都市近郊型農業の育成に取り組んできたが、農業従事者の減少や高齢化、農地の維持管理能力の低下などにより、生産基盤の整備、農産物の高付加価値化やブランド化、担い手の育成などが課題となっている。

また、商工業は、経済不況の長期化や郊外型店舗の立地など環境の変化への対応が迫られており、経営基盤の安定と強化や経営改革等が求められている。

このため、豊かで特色ある自然環境、農業の集積力などを活用し、独創的な高付加価値農業の確立、起業家の育成など、活力ある産業の創出を促進するとともに、これらを支える交流基盤（交通・情報通信）の整備により、位置的特性や空港など豊かな潜在力を生かした活気あふれるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

【 交流のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり
 - ・ 農業の振興
 - ・ 工業の振興
 - ・ 商業の振興
 - ・ コミュニティビジネス等の振興

- (2) 魅力ある観光・交流を育てるまちづくり
 - ・ 観光・交流の振興
 - ・ 交流イベントの振興

- (3) 広域的な交流を育てるまちづくり
 - ・ 地域間交流の促進
 - ・ 国際交流の促進と人材の育成

- (4) 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり
 - ・ 道路の整備
 - ・ 都市基盤の整備

観光振興計画の策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

観光課

市全体事業費（計画額）：370万円

目的：

市町合併による、新しい市域の地理的優位性と多様な人的・物的観光資源を最大限に活用し、地域の個性や特色を生かすとともに、観光を取り巻く環境の変化に対応した持続可能な観光振興施策を展開するため、現行の観光振興計画に替えて、新しい観光振興計画を策定する。

事業の概要：

新しい本市観光振興計画を策定

環境の変化に対応し持続可能な観光振興を図ることができるよう、行政の過度の関与を控え、民間の自助努力を引き出していくことを基本的なコンセプトとする計画を策定（目標年次：平成29年度）

香川型水田農業振興総合対策の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：1億2,800万円

目的：

国は平成19年度から、経営規模が4ha以上の認定農業者や20ha以上の集落営農などに施策を重点化・集中化し、展開しようとしている。小規模農家が大半である本市農業の現状を考慮して、農業従事者の高齢化・後継者不足等から作業の省力化・効率化を目指し、農業機械の共同利用の促進、さらには、農作業支援体制の確立による農業振興を図る。

事業の概要：

米改革推進リーダー支援事業

売れる米づくりや水田農業の望ましい生産構造の実現を図るため、米改革推進リーダーを設置し、調整活動などを実施する。

地域水田農業ビジョン実現総合支援事業

地域で策定された地域水田農業ビジョンの実現のために必要な条件整備に関する事業を実施する。

麦、大豆本作化推進事業

「さぬきの夢2000」の品質向上および作付け拡大を図る。

農作業支援システム導入促進事業

担い手の労働を補完する定植・出荷・調整作業や担い手が少ない地域での農作業受

託の実施などに必要な農業機械等の整備を行う。

認定農業者の育成・確保の推進

農林水産課
市全体事業費（計画額）：180万円

目的：

認定農業者連絡協議会を通じて、経営改善指導や遊休地等土地利用集積による規模拡大を推進する。

事業の概要：

認定農業者の連携推進

高松市認定農業者連絡協議会を開催し、認定農業者相互の連絡を密にし、効率的かつ安定的な農業経営の改善を図る。

キーワード：認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づく制度で経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、基準に適合する農業者として市町村から認定を受けた者

農作業受託組織等の育成

農林水産課
事業費（計画額）：60万円

実施主体：香川地区農業機械銀行

目的：

地域の実情を考慮した生産性の高い農作業体系を作るために、農作業の受委託の仲介斡旋を推進する。

事業の概要：

農業機械銀行に登録された農業者の労災保険への加入および研修会等に対する支援

「高松産ごじまん品」生産・消費の促進 <まちづくり戦略プランに掲載>

農林水産課
市全体事業費（計画額）：900万円

目的：

生活者と生産者のニーズなどに対応しながら、市内農産物の需要拡大と地産地消を図り、本市農業の活性化を推進する。

事業の概要：

平成18年度において、新たに合併地区の特産品を高松産ごじまん品に選定し、「たかまつ食と農のフェスタ」等により新市域の農業のPRを図る。

情報発信等推進事業

新ごじまん品の選定、ごじまん品リーフレットの作成、米の消費拡大等

生産者・消費者相互理解促進事業

たかまつ食と農のフェスタの開催、ごじまん品キャラクターの利用促進等消費者と生産者の交流の推進

生産振興等対策事業

園芸塾の開催、米粉の利用拡大・定着化、新品目の実証圃・展示圃の設置
生産マニュアルの確立、加工品の普及等による生産振興の推進

市道の整備

道路課

事業費(計画額): 1億2,600万円

目的：

香川地区における、幅員が狭く、ネットワーク化が不十分な生活道路について、路側改良などによる拡幅や待避所の設置、1.5車線化などの整備を進め、地域住民の利便性の向上を図る。

事業の概要：

市道の改良事業

・下万塚線	W = 4 m	L = 約 200 m
・引土線	W = 4 m	L = 約 200 m
・梅香井線	W = 5 m	L = 約 150 m
・大春田東線	W = 4 m	L = 約 200 m
・須賀線	W = 4 m	L = 約 170 m
・一宮川東線ほか1線	W = 7 m	L = 約 60 m

市道の舗装事業

・道路打換舗装	L = 約 3,000 m
---------	---------------

鉄道施設の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

都市計画課交通政策室

市全体事業費(計画額): 5,840万円

実施主体：市、高松琴平電気鉄道(株)

目的：

自動車交通の環境問題や、高齢者、障害者等の移動に配慮し、公共交通の快適性や利便性を高め、公共交通の利用を促進するため、鉄道の新駅の設置やP & R用駐車場・駐輪場の整備を行い、合併地区も含めた市南部地域住民の通勤時間の短縮や定時性の確保などを図る。

事業の概要：

琴電琴平線の新駅（仮称：寺井駅）整備に対する助成（国庫補助対象事業）

琴電琴平線の新駅（仮称：寺井駅）のP & R用駐車場・駐輪場の整備

キーワード：P & R（パーク・アンド・ライド）

交通渋滞を避けるために、郊外の駐車場に車を置き（パーク）、そこから電車やバスに乗り換えて（ライド）都心に入ること。公共交通機関の利用を促進し、都心部の渋滞緩和と排気ガスによる大気汚染の防止などに役立てようとするもの。

コミュニティバスの運行

都市計画課交通政策室
事業費（計画額）：3,000万円

目的：

路線バスが廃止された地区やバスが運行されていない地区において、コミュニティバス等を運行し、高齢者等交通弱者の足を確保する。

事業の概要：

香川町コミュニティバス（平成10年10月から運行）

香川町シャトルバス（平成16年12月から運行）

都市計画マスタープランの策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

都市計画課
市全体事業費（計画額）：1,130万円

目的：

平成16年5月の線引き制度の廃止を含む新しい都市計画制度の施行や、合併による市域の拡大などを踏まえ、都市計画マスタープランの見直しを行い、土地利用などの基本方向を明らかにし、適正な土地利用の誘導を図る都市づくりの総合的な指針とする。

事業の概要：

都市計画マスタープランの修正

- ・アンケート調査
- ・地域別構想、全体構想の検討
- ・対象範囲：都市計画区域

高松市都市計画区域

区 分	旧高松市	牟礼地区	香川地区	香南地区	国分寺地区	合 計
都計区域	161.95 ?	16.48 ?	20.36 ?	14.72 ?	26.25 ?	239.76 ?

キーワード：新しい土地利用コントロール制度

平成16年5月17日から都市計画法に基づく市街化区域・市街化調整区域を区分する制度（線引き制度）が廃止され、新しい土地利用コントロール制度が導入された。

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：1億6,800万円
 （うち市全体事業費（計画額）：1億4,600万円）

事業の概要：

観光総合パンフレット（日・英）の制作（観光課）

中山間地域等直接支払事業（農林水産課）

中山間地域などにおける耕作放棄の発生防止のため、農業者に対し直接支払を実施
 造林事業の助成（農林水産課）

下刈、枝打、除間伐、植栽、人工造林への助成

中小企業指導団体等の助成（商工労政課）

商工会への助成

企業立地促進の助成（商工労政課）

四国の道管理事業の実施（観光課）

参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を可能な限り発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを強化し、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツなど、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

【 参加のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり
 - ・ 行財政運営の効率化と支所等の機能整備

- (2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり
 - ・ コミュニティ活動の支援

- (3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり
 - ・ 住民との協働の推進
 - ・ 情報公開の推進

合併記念各種イベントの開催<まちづくり戦略プランに掲載>

関係課

市全体事業費(計画額): 2億6,000万円

目的:

平成18年度の1年間を通じて、各種のイベントについて、「合併記念事業」として位置づけた取組みを行い、新しい市の一体感の醸成に資する。

事業の概要:

各イベントに「合併記念」の冠をつけて実施

合併記念各種イベント一覧表

実施月	事業名	担当課
4月	塩江さくらまつり	観光課
	さぬき高松ポンポコまつり	
4月~5月	歴史資料館収蔵品展「新たに仲間となりました」(仮称)	歴史資料館
	美術館「エミール・ガレとドーム兄弟展」	美術館
5月	フラワーフェスティバル・交通安全フェア	公園緑地課・交通安全対策課
	かがわ国際フェスタ2006	国際交流室
	暮らしをみなおす市民のつどい	市民生活課
	保育まつり	こども未来課
	50歳以上男子ファーストピッチソフトボール大会	市民スポーツ課
5~6月	石のさとフェスティバル	文化振興課
6月	ほたるの里フォトコンテスト写真公募展	美術館
	塩江ホテルまつり	観光課
	水道週間行事	水道局
	さわやかママさんバレーボール大会	市民スポーツ課
6~7月	アーツフェスタたかまつ2006	文化振興課
7月	外国人のど自慢・お国自慢交流大会	国際交流室
	福祉のつどい	障害福祉課
	国分寺いん石20周年展(仮称)	市民文化センター
	市民遠泳大会	市民スポーツ課
7~9月	屋島山上石あかりロード(仮称)	観光課
8月	高松まつり	
	塩江温泉まつり	
	ボン・フェスティバルIN香南	
	国分寺町まつり	
	高松市子ども会フットベースボール大会	社会教育課
8~9月	牟礼石あかりロード	観光課
9月	健康まつり	保健センター
	高松市合併ふれあい展	美術館
9~11月	市民スポーツフェスティバル	市民スポーツ課
10月	音のまつり	文化振興課

実施月	事業名	担当課
10月	高松秋のまつり	観光課
	仏生山竹あかりロード	
	義経・与一合同サミット	
	グリーンフェスタ国分寺盆栽まつり	農林水産課
	ファミリーマラソン in Aji	市民スポーツ課
	合併企画展	歴史資料館
10～11月	菊池寛記念館文学展「愛の手紙」(仮称)	菊池寛記念館
11月	男女共同参画フェスティバル	女性センター
	塩江もみじまつり	観光課
	農産品まつり	農林水産課
	平和記念室収蔵品巡回展	市民文化センター
	健脚大会	市民スポーツ課
	さわやかママさんソフトボール大会	
	60歳以上男子スローピッチソフトボール大会	
	まなびCAN開設5年記念事業	生涯学習センター
	美術館コレクション展	美術館
11～1月	高松冬のまつり	観光課
12月	元気ハツラツドッジボール大会	市民スポーツ課
	国分寺町冬のまつり	観光課
1月	新成人祝賀講演会	社会教育課
	まちづくり講演会	市民生活課
2月	新春子どもフェスティバル	社会教育課
	校区別混成ソフトバレーボール大会	市民スポーツ課
	たかまつ食と農のフェスタ	農林水産課
3月	塩江温泉竹あかりのみち	観光課
通年	サンポートにぎわいづくりイベント	

上記以外のイベントについても、随時、合併記念イベントに位置づけて実施するものとする。

合併記念市民交流・地域間交流事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,840万円

目的:

合併後の新しい市において、速やかな地域の一体化と融合を図るため、旧高松市や合併地区のそれぞれの市民が、新しい市の各地域の特色ある施設や地域資源を知るとともに、地域性のあるまつりにおけるイベントへの参加を通じてふれあうことにより、市民の一体感を醸成することを目的として合併記念市民交流・地域間交流事業を実施する。

事業の概要:

一体感醸成イベントの実施

旧高松市および合併地区における比較的規模の大きい“まつり”において、まつりの会場の一画を利用し、まつりのプログラムと関連づけながら、市民の一体感を醸成するイベント（プログラム）を付加して実施する。

最初のまつりとなる「フラワーフェスティバル・交通安全フェア」において、交流事業スタートイベントを実施する。

対象のまつりおよび開催月

名 称	地区名	開催月
フラワーフェスティバル・交通安全フェア	旧高松	5月
石のさとフェスティバル	庵治	6月
塩江ホテルまつり	塩江	6月
アーツフェスタたかまつ2006	旧高松	7月
ボン・フェスティバルIN香南	香南	8月
塩江温泉まつり	塩江	8月
牟礼石あかりロード	牟礼	9月
ひょうげまつり	香川	9月
高松秋のまつり	旧高松	10月
音のまつり	国分寺	10月

合併記念巡回ふれあいバスツアーの運行

各地域の特色ある施設やまつりなどを巡るバスツアーを運行する。

実施月

6月から11月までの6か月間

回数と対象

訪問見学場所

各地域の特色ある自然・歴史・文化・産業などに関連する施設、スポット、地域に根ざした“まつり”、休憩施設など

合併一周年記念事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費（計画額）：160万円

目 的：

市民の企画提案により、市全域の市民参加による合併一周年を祝う記念事業を実施する。

事業の概要：

市民から企画提案を募集

市民による実行委員会で運営

実施時期：平成19年1月～2月ごろ

新しい総合計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費（計画額）：1,000万円

目的：

近隣町との合併による新しい高松市の誕生に伴い、新たな市域における主体的かつ計画的なまちづくりのための根幹的指針として、新しい総合計画を策定する。

策定に当たっては、現行の総合計画や合併地区の建設計画（合併基本計画）を踏まえながら、時代の潮流や国の動向、厳しい財政環境、新しい行政課題への対応、さらには市民の意見を反映する中で、成果主義に基づいた政策評価の考え方を取り入れながら、より戦略的な計画の策定を目指す。

事業の概要：

- 平成18年度 策定要綱の制定
 まちづくり100人委員会の設置
 市民意識調査の実施（合併地区）
 地区別まちづくり計画基礎調査の実施
 市民提言の募集 など
- 平成19年度 たかまつタウンミーティングの開催
 基本構想原案作成
 総合計画審議会設置・開催
 パブリックコメントの実施
 基本構想の議決
 主要事業計画策定 など

行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）
 <まちづくり戦略プランに掲載>

企画課行政改革推進室

市全体事業費（計画額）：60万円

目的：

厳しい行財政環境、地方分権の進展、市町合併後の対応、少子高齢社会の到来、高度情報化の進展、市民の市政への参画意識の高まり等、本市を取り巻く状況に対応し、中核市にふさわしい行財政システムの確立を目指し、次期行財政改革計画を策定する。

また、総合計画の進行管理と行政評価を同一のシステムで行い、「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルの確立を目指すとともに、財務会計システムとの連携および調書

作成作業の省力化・効率化を図ることにより、政策・施策・事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性を向上させる。

事業の概要：

次期行財政改革計画の策定

- ・平成18年度に、平成19年度を計画期間の始期とする次期行財政改革計画を策定
- 行政評価システムの構築
- ・新たに策定する総合計画と連動させ、既に実施している事務事業評価に加え、施策評価・政策評価に発展させることにより、一体的な行政評価システムを構築する。「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルを確立することにより、政策・施策や事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性の向上を図る。

自治会組織の充実とコミュニティづくり

市民生活課

市全体事業費（計画額）：1億5,200万円

目的：

多様化する地域課題の解決に、地域の多様な人々が自らの問題として積極的にかかわり、主体的に参加し、選択・決定するという、地域みずからのまちづくりを推進する。

そのため、それぞれの地域で培われてきた歴史、文化、個性などをいかし、地域活動の基盤となる自治会組織の強化を図るとともに、自治会を中心に、各種の地域団体、NPO、企業等が連携する地域コミュニティ組織の構築を促進する。

事業の概要：

自治会活動補助金や自治会加入・結成奨励に対する助成

地域コミュニティ構築の支援

自治会等各種団体と連携し、人材養成事業、地域ふれあい交流事業を実施

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：3,050万円

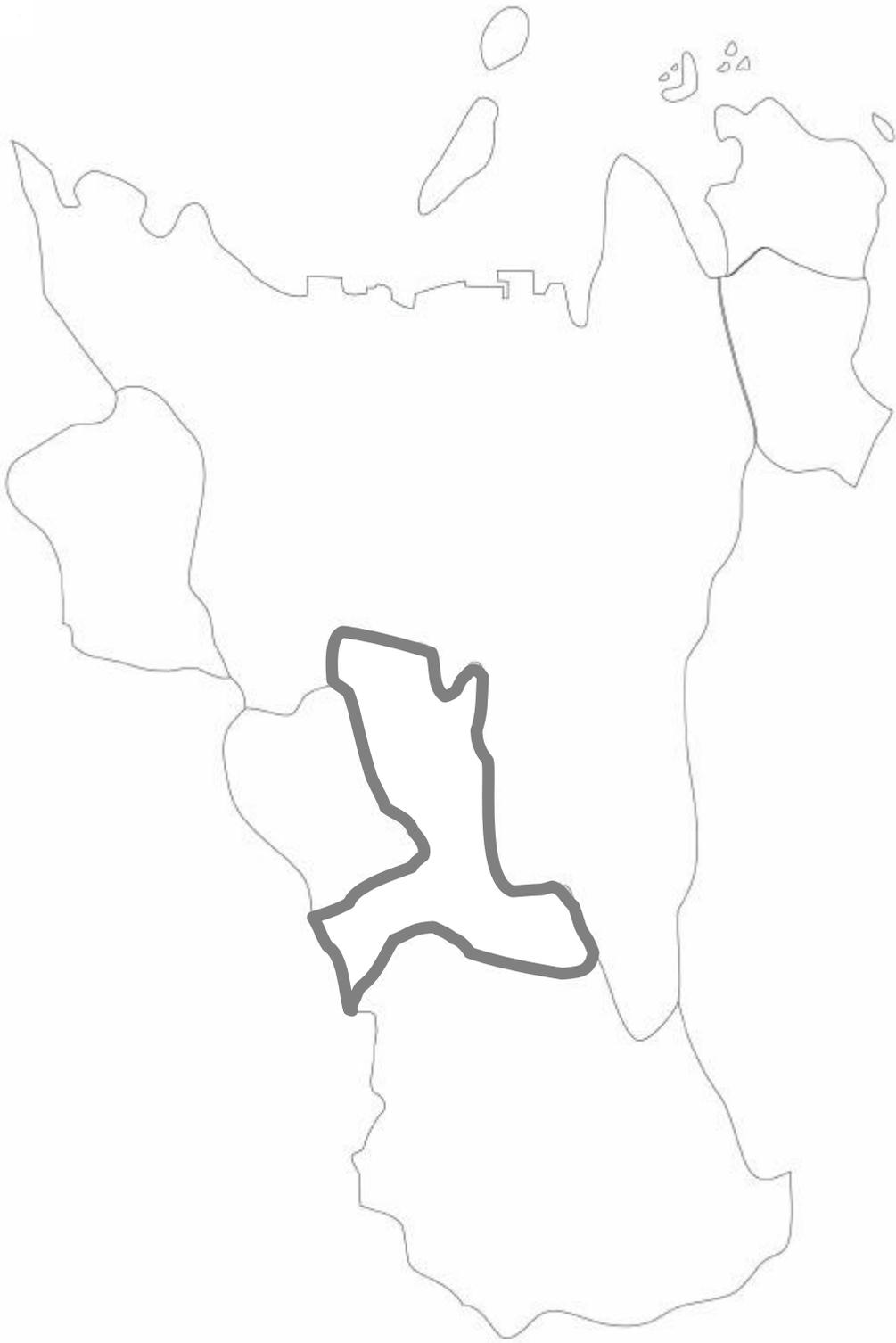
（うち市全体事業費（計画額）：2,900万円）

事業の概要：

地域審議会の開催（市民生活課）

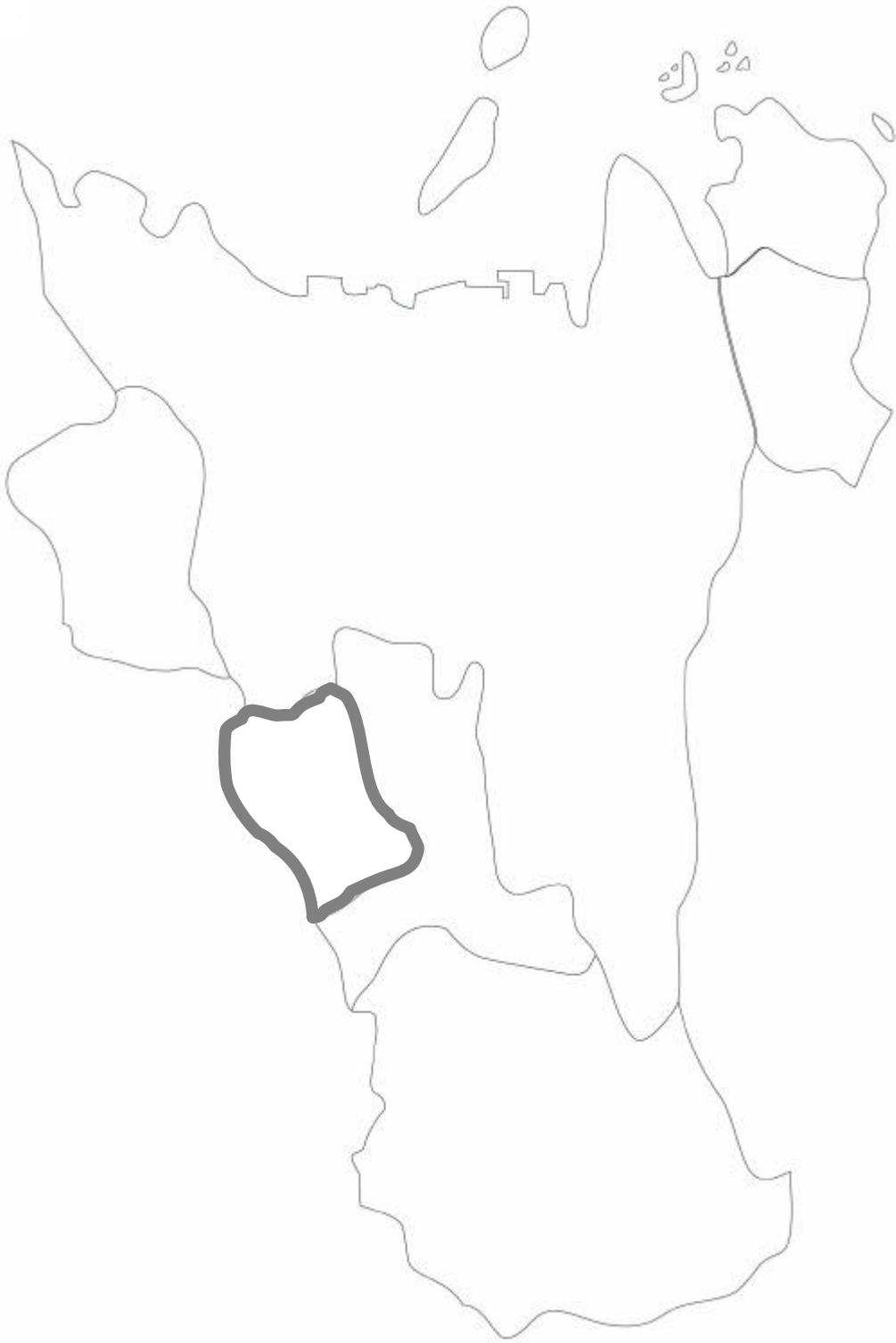
NPOとの協働の推進（市民生活課）

協働企画提案事業、ボランティア・市民活動センター管理運営委託など
情報公開制度および個人情報保護制度の推進（庶務課）



香南地区建設計画

平成18・19年度実施計画



目 次

香南地区の実施計画	155
連帯のまちづくり	161
地域包括支援センターの設置運営	162
男女共同参画社会の形成	163
重点取組み事項関連事業の推進	163
循環のまちづくり	165
香東川水系椋川ダム建設	166
水道管網の整備	166
下水道汚水施設の整備（西部処理区）	167
環境基本計画の策定	168
ごみ処理基本計画の策定	168
重点取組み事項関連事業の推進	169
連携のまちづくり	171
防災行政無線システムの整備	172
南消防署等の整備	172
学校教育環境の整備	172
学校図書館の活性化	173
公民館の耐震化	173
移動図書館巡回サービスの実施	174
新成人祝賀講演会の開催	175
市営住宅の整備	175
CATVの整備	175
電子市役所構築の推進	176
香南歴史民俗郷土館の運営	176
重点取組み事項関連事業の推進	177
交流のまちづくり	179
香川型水田農業振興総合対策の推進	180
認定農業者の育成・確保の推進	180
圃場の整備	181
香南アグリームの機能の活用	181
ため池の整備	182
「高松産ごじまん品」生産・消費の促進	182
市民農園の整備促進	183
観光振興計画の策定	183
市道の整備	183
鉄道施設の整備	184
都市計画マスタープランの策定	184
重点取組み事項関連事業の推進	185

参加のまちづくり	187
合併記念各種イベントの開催	188
合併記念市民交流・地域間交流事業の実施	189
合併一周年記念事業の実施	190
新しい総合計画の策定	191
行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）	191
自治会組織の充実とコミュニティづくり	192
重点取り組み事項関連事業の推進	192

香南地区の実施計画

はじめに

香南地区は、“ふるさとの原風景”の保全を目指して、全町公園化を進め、ゆとりとうるおいのある文化的な快適生活創造機能の充実が図られるとともに、米作を基幹として、野菜・果樹・畜産などの生産供給機能や自然環境の保全機能を担ってきた。

また、「四国の空の玄関」である高松空港を擁し、人、物、情報の交流拠点として貢献する中で、空港への利便性を生かした付加価値の高い農業や情報ソフト系などの戦略的産業の育成、空港や豊かな自然環境を生かした居住機能の整備が求められている。

今後、豊かな田園環境と豊かな人的交流による生活創造空間機能と、高松空港を擁する「四国の空の玄関」機能を発揮していくことが期待されており、建設計画において、香南地区は「田園環境と空港を生かした快適生活、新産業創造交流ゾーン」として位置づけられている。

こうした役割と機能を踏まえ、個性ある活力に満ちた地域社会の実現に向けて、香南地区のまちづくりを展開する。

実施計画の期間：平成18・19年度

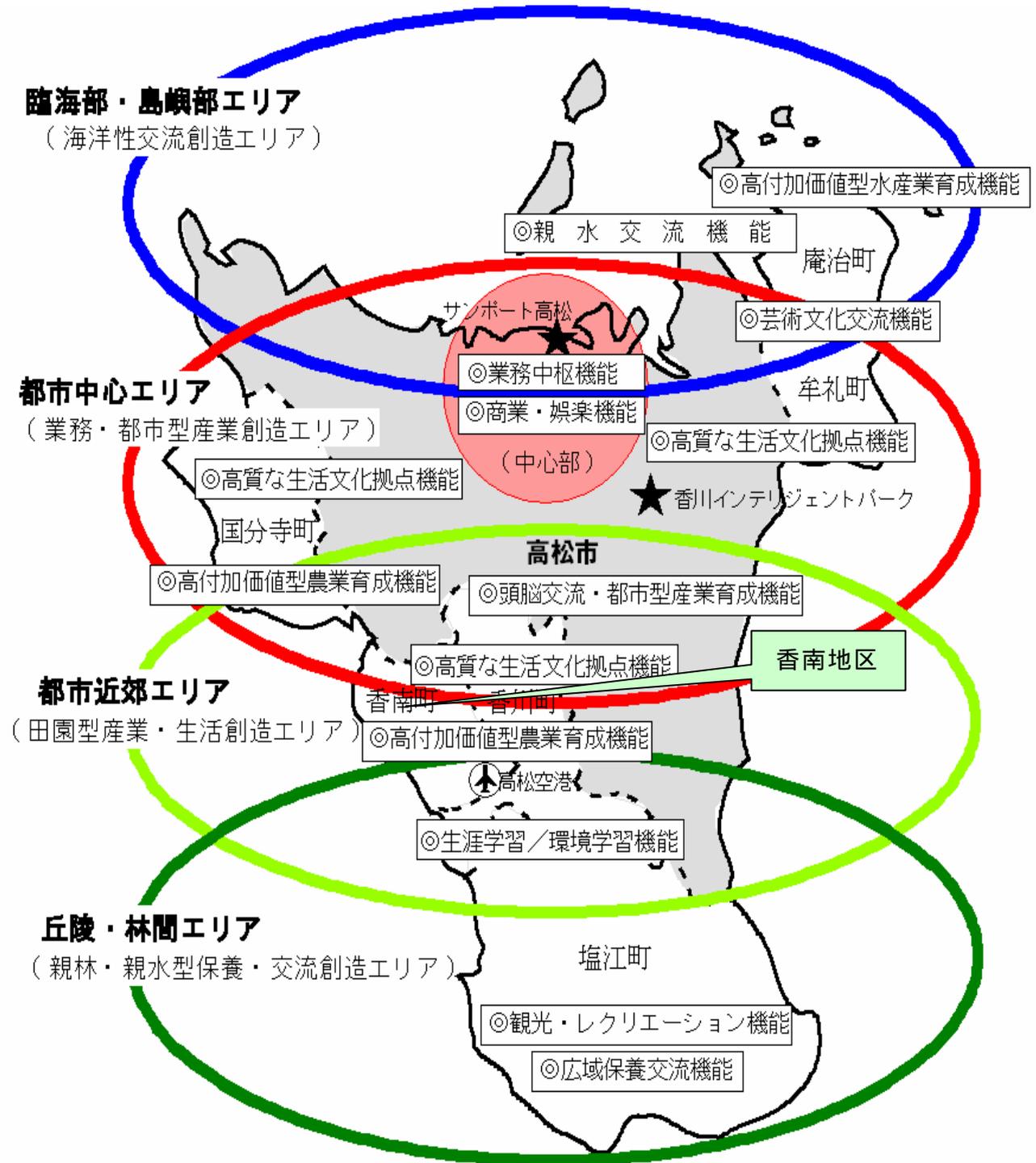
実施計画事業数：64事業（香南地区のみの事業：25事業、市全体等事業：39事業）

概算事業費

単位：万円

区 分	国・県支出金	市債	その他	一般財源	事業費
香南地区のみの事業	32,310	27,650	620	34,320	94,900
市全体等の事業	94,050	167,950	73,110	204,180	539,290
合 計	126,360	195,600	73,730	238,500	634,190

市全体等の事業とは、全市的事业および旧高松市や合併各町など、複数の地区で実施する事業で、各地区ごとに事業費を区別することができない事業を指し、それぞれの事業の事業費（計画額）のところに、「市全体」または「
・
地区」などと記載しているものである。



(注) は特に重点的な育成が図られるべき機能

実施計画事業の概要について

連帯のまちづくり

香南地区では、少子・高齢化が進行する中で、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ、「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 地域包括支援センターの設置運営
- ・ 男女共同参画社会の形成
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

循環のまちづくり

なだらかな丘陵と田園風景が広がり、香東川、ため池などの水辺景観やさぬき空港公園、大上親水公園など、地域全体が自然と公園に包まれた香南地区の豊かな自然環境は、生活にうるおいとやすらぎを提供する貴重な財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、自然とふれあえる快適な環境を守るとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、リサイクル型システムの形成、自然を活用し、自然とふれあい、親しむ機会の創出などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 香東川水系桜川ダムの建設
- ・ 下水道汚水施設の整備（西部処理区）
- ・ ごみ処理基本計画の策定
- ・ 水道管網の整備
- ・ 環境基本計画の策定
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

連携のまちづくり

香南地区は、緑の丘陵・里山、大小200のため池や冠櫻神社などの自然と田園風景が調和し、都市部への通勤・通学の利便性が高い快適な田園型居住空間を提供し、冠櫻神社の大獅子など地域特有の歴史文化も残されている。

このため、住民と行政が知恵を出し合い、連携することによって、安全・安心な地域環境を築き、豊かな自然に抱かれた環境のもとでの教育・学習環境の充実、地域固有の歴史や文化を生かしたまちづくりを推進することなどにより、安全・安心、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 防災行政無線システムの整備
- ・ 学校教育環境の整備
- ・ 公民館の耐震化
- ・ 新成人祝賀講演会の開催
- ・ C A T Vの整備
- ・ 香南歴史民俗郷土館の運営
- ・ 南消防署等の整備
- ・ 学校図書館の活性化
- ・ 移動図書館巡回サービスの実施
- ・ 市営住宅の整備
- ・ 電子市役所構築の推進
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

交流のまちづくり

香南地区は、花き、果樹栽培などの振興に取り組んできたが、比較的小規模農家が多く、農業経営の改善、担い手の育成、生活基盤の整備、空港など地域特性を生かした農産物の高付加価値化、ブランド化などの課題への対応が求められている。

また、商工業は、経済不況の長期化や郊外型店舗の立地など環境の変化への対応が求められており、経営基盤の安定・強化や経営改革等を図ることが課題となっている。

このため、高松空港を擁するなど、地域の潜在力を活用し、時代の変化に柔軟に対応できる産業の育成を図るとともに、これを支える利便性の高い交流基盤（交通・情報通信）や都市基盤の整備により、四国の空の玄関としての特性を生かした、活気あふれるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 香川型水田農業振興総合対策の推進
- ・ 圃場の整備
- ・ ため池の整備
- ・ 市民農園の整備促進
- ・ 市道の整備
- ・ 都市計画マスタープランの策定
- ・ 認定農業者の育成・確保の推進
- ・ 香南アグリームの機能の活用
- ・ 「高松産ごじまん品」生産・消費の促進
- ・ 観光振興計画の策定
- ・ 鉄道施設の整備
- ・ 重点取り組み事項関連事業の推進

参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、行政区域が広がることによる住民と行政の距離が遠くなるなどの懸念に対応するため、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を最大限に発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 合併記念各種イベントの開催
- ・ 合併記念市民交流・地域間交流事業の実施
- ・ 合併一周年記念事業の実施
- ・ 新しい総合計画の策定
- ・ 行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）
- ・ 自治会組織の充実とコミュニティづくり
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

連帯のまちづくり

香南地区では、少子・高齢化が進行する中で、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ、「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

【 連帯のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり
 - ・ 地域福祉の充実
 - ・ 施設福祉・在宅福祉サービスの充実
 - ・ 社会参加の促進
 - ・ 地域社会のバリアフリー化の促進

- (2) 保健と医療の充実したまちづくり
 - ・ 健康づくりの推進
 - ・ 医療体制の充実

- (3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり
 - ・ 保育サービスの充実
 - ・ 子育て支援サービスの充実

- (4) 基本的人権を尊重するまちづくり
 - ・ 人権尊重社会の実現
 - ・ 男女共同参画社会の形成

地域包括支援センターの設置運営 <まちづくり戦略プランに掲載>

介護保険課

市全体事業費（計画額）：10億2,900万円

目的：

公正・中立な立場から、地域の高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために必要な支援を行うとともに、介護保険サービスのみならず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、支えあいなどの多様な社会資源を有機的に結びつけ、高齢者の心身の状態の変化に応じて生活の質が低下しないように適切なサービスを継続的に提供するため、地域包括支援センターの設置・運営を行う。

事業の概要：

地域包括支援センターの設置・運営

設置か所数：8か所（全て直営）

センター	設置予定場所
中央	高松市保健センター
一宮	コトデン一宮駅前店舗
古高松	古高松公民館
山田	旧山田支所
勝賀	ふれあい福祉センター勝賀
香川	香川保健センター
（香南）	香南保健センター
（塩江）	塩江保健センター
牟礼	牟礼老人福祉センター
（庵治）	庵治保健センター
国分寺	国分寺保健センター

実施時期：平成18年10月設置運営開始

センターの機能：

公正・中立性を確保し、要支援・要介護になるおそれのある高齢者や軽度の要介護認定者への介護予防マネジメント、ケアマネジャー支援、困難事例の相談、高齢者の権利擁護を推進するための活動拠点とする。

・ 共通的支援基盤構築

地域に、総合的、重層的なサービスネットワークを構築する。

・ 総合相談支援・権利擁護

高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぐ。また、虐待の防止など高齢者の権利擁護に努める。

・ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援する。

・ 介護予防マネジメント

介護予防事業、新たな予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なマネジメントを行う。

男女共同参画社会の形成 <まちづくり戦略プランに掲載>

女性センター
市全体事業費（計画額）：5,550万円

目的：

平成14年度スタートの「たかまつ男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画に関する意識高揚を図るとともに、同プランに続く「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定を行う。また、平成18年度から男女共同参画センター（女性センターを名称変更）に指定管理者制度を導入し、より柔軟な企画運営および施設管理を図る中で、男女共同参画社会の形成を推進する。

事業の概要：

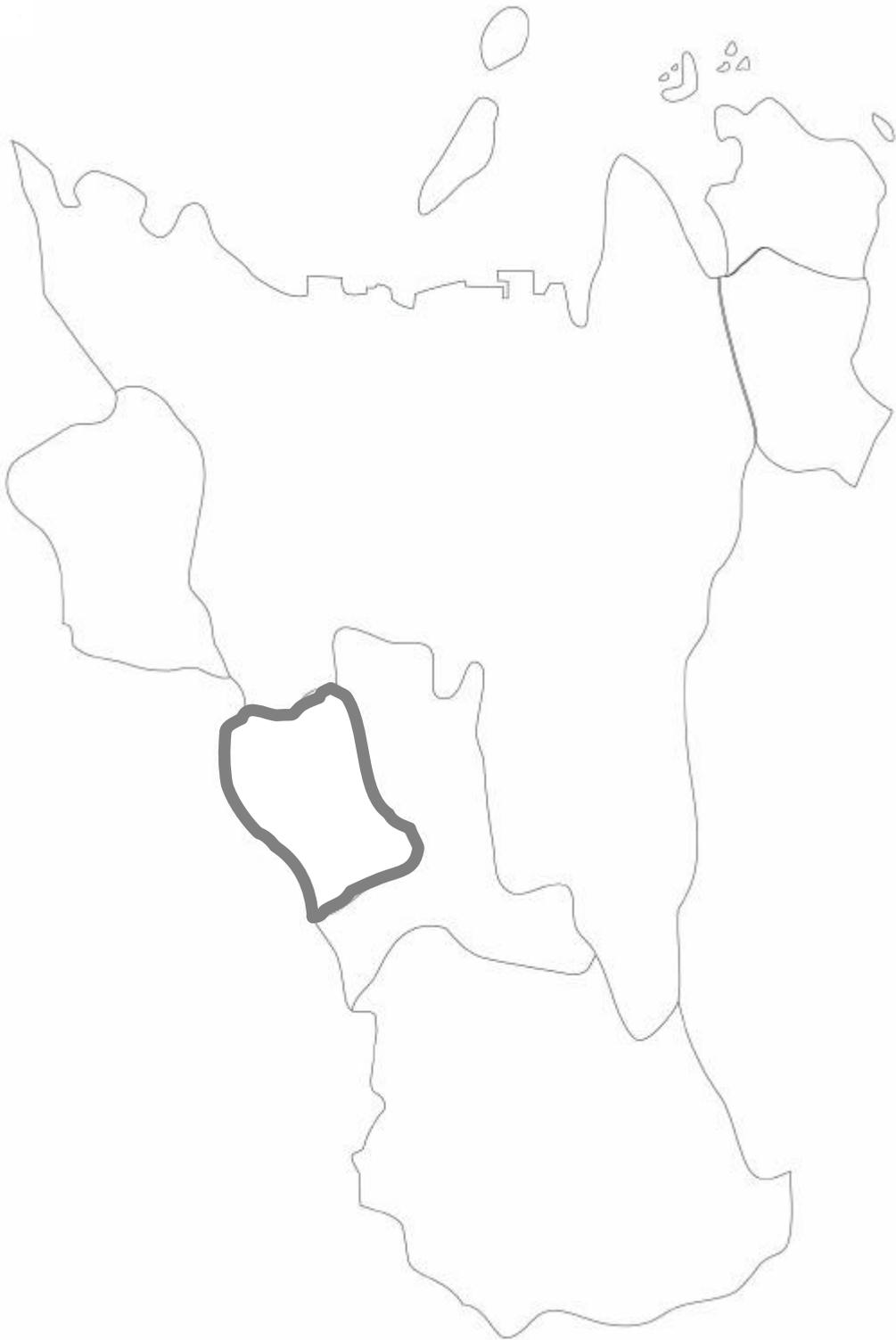
「たかまつ男女共同参画プラン」の推進
「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定
男女共同参画都市宣言推進事業の実施
高松市男女共同参画市民フェスティバルに対する助成
審議会等委員への女性登用の推進
男女共同参画センターの指定管理者による管理への移行

重点取り組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：3億7,370万円
（うち市全体事業費（計画額）：3億5,730万円）

事業の概要：

介護予防の推進（保健所保健センター）
 栄養改善、機能訓練、認知症予防、介護予防教室など
 シルバー人材センターの活動促進（長寿社会対策課）
 人権教育の推進（人権教育課）
 社会教育指導員の配置、子ども学級の実施、親子で人権を考える会・市民講座・研修会の開催、指導資料の作成など



循環のまちづくり

なだらかな丘陵と田園風景が広がり、香東川、ため池などの水辺景観やさぬき空港公園、大上親水公園など、地域全体が自然と公園に包まれた香南地区の豊かな自然環境は、生活にうるおいとやすらぎを提供する貴重な財産であり、この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、自然とふれあえる快適な環境を守るとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にするまちづくり、リサイクル型システムの形成、自然を活用し、自然とふれあい、親しむ機会の創出などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環のまちづくりを進める。

【 循環のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり
 - ・ 河川・ため池の保全と活用
 - ・ 身近な緑の保全・回復

- (2) 水資源を大切にするまちづくり
 - ・ 上水道等の整備
 - ・ 節水対策の推進
 - ・ 下水道等の整備

- (3) リサイクル型社会を構築するまちづくり
 - ・ 環境衛生の充実
 - ・ 地域環境の保全

- (4) 自然環境と親しむ快適なまちづくり
 - ・ 緑と花が彩る景観づくり

かばがわ
香東川水系 椴川ダムの建設 <まちづくり戦略プランに掲載>

河港課
市全体事業費（計画額）：3億2,100万円

目的：

治水・利水・渇水対策機能を持つ多目的ダムとして、香東川水系椴川ダムの建設を進め、渇水時の水道水源の確保を図る。

事業の概要：

椴川ダム建設事業
調査設計、用地補償、付替道路工事、補償工事

水道管網の整備

水道局水道整備課・浄水課
事業費（計画額）：2,800万円

目的：

香南地区において水質基準に適合した安全で良質な水を安定的に供給するため、水源の確保と浄水施設や配水施設の整備、老朽施設の更新などを計画的に進めるとともに、未給水地区の解消に努める。

事業の概要：

平成18年度 配水管の布設（静地区） 約250m
平成19年度 岡ポンプ所池谷送水ポンプの更新および配水管の布設

キーワード：水質基準

・健康に関する項目

体重50kgの人が、一日に飲用する水の量を2リットルとし、食物、空気など水以外からの摂取も考慮しながら、人間が生涯にわたって連続摂取しても健康に影響が生じない水準を基準値としている。

・水道水が有すべき性状に関する項目

色、濁り、においなど生活利用上あるいは腐食性など施設管理上障害の生ずるおそれのある項目。

障害を生ずる濃度レベルを基に評価を行い、項目の選定、基準値の設定をしている。

下水道汚水施設の整備（西部処理区）

下水道建設課

事業費（計画額）：2億6,800万円

目的：

香南地区における快適な居住環境の確保と河川やため池など公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、汚水枝線管渠など下水道施設の整備を進める。

事業の概要：

○平成18年度

汚水管渠工事 Φ150mm 約 1,900m

○平成19年度

汚水管渠工事 Φ150mm 約 2,900m

下水道普及状況

平成17年3月31日現在

	行政区域人口 A	事業計画処理人口 B	処理区域内人口 C	普及率 C/A
市域全体	421,213人	290,842人	221,289人	52.5%
香南地区	8,020人	4,880人	3,073人	38.3%

下水処理場の概要（県施設）

施設名	敷地面積 ha	処理方法	処理能力 (m ³ /日最大)
香東川浄化センター※	約 17.60	標準活性汚泥法	40,800

下水道の計画

平成18年1月現在

処理区名	全体計画				事業計画区域	
	都市計画決定面積 (ha)	計画区域 (ha)	計 (ha)	計画人口 (人)	事業計画区 域 (ha)	計画人口 (人)
市域全体	6,161.4	1,735.1	7,896.5	316,600	6,414.6	290,842
香南地区		320.0	320.0	5,200	253.0	4,880

キーワード：水質の保全：

汚水が直接、公共用水域に排出されると、水質の汚濁を進行させる。下水道は、河川、海域等の公共用水域に排出される汚水を収集し処理場において処理した後、浄化されたきれいな水を水域に還元することから、公共用水域の汚濁の進行をくい止める一方、水域の自然浄化作用を促進し、水質保全に大きな役割を果たしている。

環境基本計画の策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

環境保全課
市全体事業費（計画額）：560万円

目的：

高松市環境基本計画（平成11年2月策定）策定後の社会情勢や環境を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併による市域の拡大や新たな環境問題等に的確に対応するため、環境基本計画を策定する。

事業の概要：

平成18年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・基礎調査（自然環境調査・生物調査・環境意識アンケート・市域からの温室効果ガス排出量算定調査ほか）の実施

平成19年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・環境基本計画の策定

ごみ処理基本計画の策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課
市全体事業費（計画額）：70万円

目的：

高松市ごみ処理基本計画（平成5年3月策定）策定後の社会情勢、廃棄物を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併地区を含めた新市域での安定的かつ効率的なごみ処理を行うため、新たな減量化率、資源化率の設定を含めた、ごみ処理基本計画を策定する。

事業の概要：

平成18年度

- ・庁内検討組織の設置
- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・市民提案の募集

平成19年度

- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・ごみ処理基本計画の策定

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：1,870万円
（うち市全体事業費（計画額）：610万円）

事業の概要：

合併処理浄化槽設置の助成（下水道管理課）

約30基

不法投棄監視体制の推進（廃棄物指導課）

ごみの不法投棄監視体制の充実に向けて、不法投棄防止用監視カメラの設置、パトロール強化等を進める

ISO14001の推進（環境保全課）

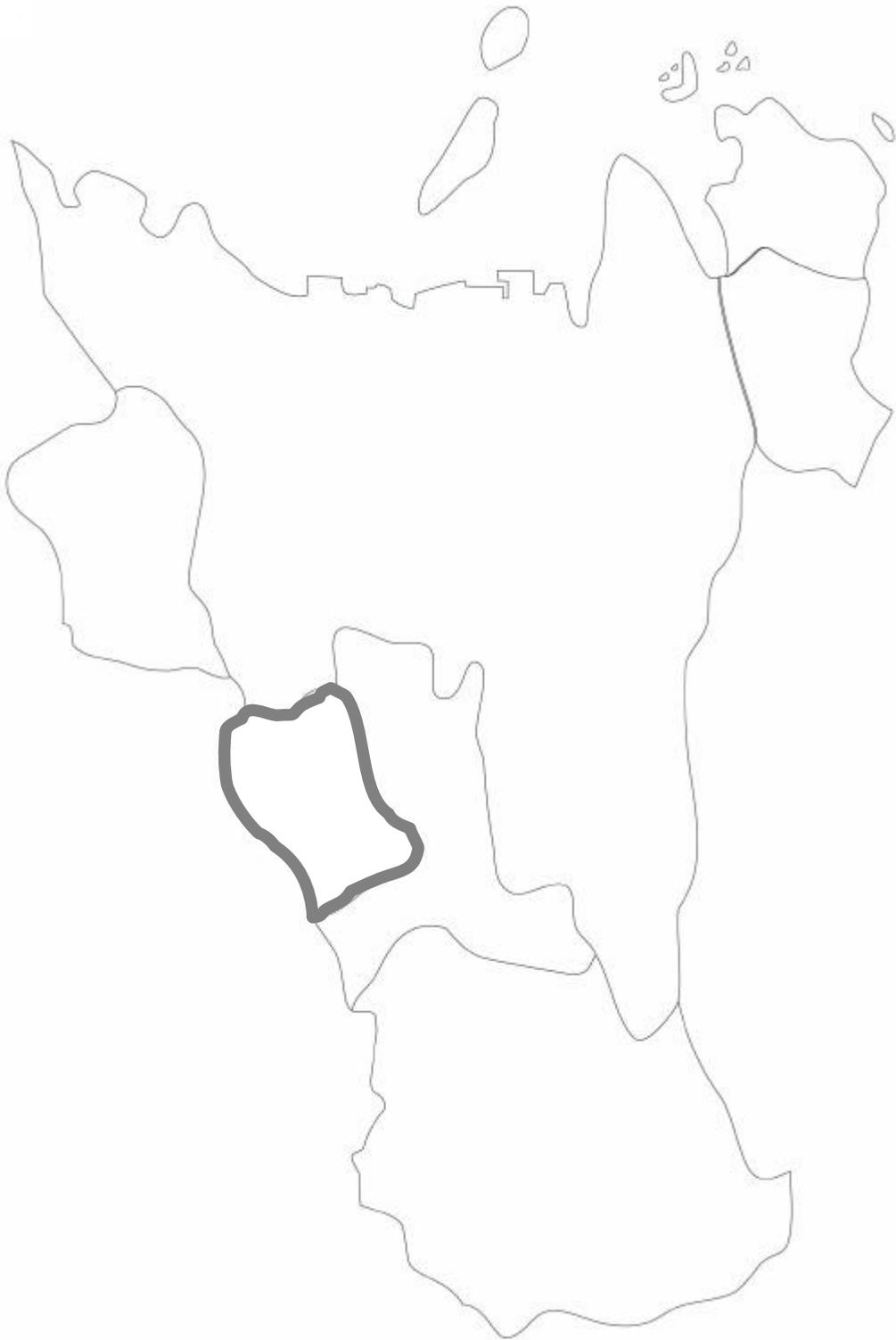
ISO14001の定期審査など

花の国づくり事業の実施（公園緑地課）

市道沿線において、季節ごとの花が楽しめるような空間の創出を進める花づくり活動に対する助成

世代交流花づくりに対する助成（公園緑地課）

世代間交流を通じて花づくり活動を進める団体への助成



連携のまちづくり

香南地区は、緑の丘陵・里山、大小200のため池や冠櫻神社などの自然と田園風景が調和し、都市部への通勤・通学の利便性が高い快適な田園型居住空間を提供し、冠櫻神社の大獅子など地域特有の歴史文化も残されている。

このため、住民と行政が知恵を出し合い、連携することによって、安全、安心な地域環境を築き、豊かな自然に抱かれた環境のもとでの教育・学習環境の充実、地域固有の歴史や文化を生かしたまちづくりを推進することなどにより、安全・安心、うるおい、ゆとり、文化、生活の豊かさを創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

【 連携のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり

- ・ 自然災害対策の推進
- ・ 消防・防災体制の整備
- ・ 交通安全対策の充実
- ・ 防犯対策の充実

(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり

- ・ 家庭教育の充実
- ・ 学校教育の充実
- ・ 教育環境の整備
- ・ 生涯学習の充実
- ・ 生涯スポーツの充実

(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり

- ・ 住環境の整備
- ・ 地域情報化の推進
- ・ 電子市役所の構築

(4) 歴史と伝統文化を生かしたまちづくり

- ・ 伝統文化の保存継承
- ・ 芸術文化活動の育成

防災行政無線システムの整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

庶務課防災対策室

市全体事業費（計画額）：3億3,100万円

目的：

災害時等における緊急情報伝達システムを構築するとともに、合併地区で整備運用している情報連絡施設を、新市の組織体制に合わせて再構築し、全市域における防災行政無線設備として拡張整備することにより、市民に対する情報提供や避難勧告・指示を迅速に行う。

事業の概要：

平成18年度

市役所災害対策本部（基地局）のデジタル化整備および屋外子局13局の整備

平成19年度

ケーブルテレビ・コミュニティFMなど既設システムとの連携・整備

平成20年度以降

旧高松市消防団屯所52箇所および合併地区のデジタル化整備など

南消防署等の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

消防局総務課

市全体事業費（計画額）：15億9,500万円

目的：

道路網の整備や市街地の進展に適切に対応し、現場への到着時間の短縮および平均化を図るため、消防署所の移転・統廃合・耐震化を進めるとともに、移転後の南署に地域防災拠点施設を併設する。

事業の概要：

平成18年度

南消防署用地購入、庁舎と地域防災拠点施設の実施設計

一宮分団第2部消防屯所の整備

平成19年度

南消防署庁舎および地域防災拠点施設の建設（平成20年度完成予定）

学校教育環境の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課

合併地区全体事業費（計画額）：1,680万円

目 的：

学校への防犯監視システム、扇風機の設置などを行い、児童・生徒にとって、安全で快適な、より良い教育環境を創出する。

事業の概要：

学校防犯監視システムの整備（小学校）

正門等に防犯カメラ、センサーを設置

職員室でアラーム音とともに、モニタ表示し、画像を録画

平成20年度末までに、全小学校に整備予定

教室への扇風機の設置（小・中学校）

平成18年度末までに全小・中学校に設置予定

自動体外式除細動器（AED）の設置（中学校）

平成18年度末までに全中学校に設置予定

学校図書館の活性化 <まちづくり戦略プランに掲載>

学校教育課

合併地区（牟礼地区を除く）全体事業費（計画額）：2,440万円

目 的：

学校図書館指導員の効果的な配置を通じ、児童・生徒の読書活動を一層推進し、健全育成を図る。

事業の概要：

学校図書館指導員を全小・中学校に効果的に配置し、蔵書の貸し出し、返却、児童生徒への対応、データベースの整理等を行う。

学校図書館指導員の増員計画

地域	旧高松市	庵治・塩江・香川・香南・国分寺地区	牟礼地区
小・中学校数	57校	16校	4校
配置 人員	増員数	6名	0名
	増員後	23名	4名
配置基準	6時間勤務/1人1日、 児童生徒数700名以上の学校：週3日配置 児童生徒数200名から700名未満の学校：週2日配置 児童生徒数200名未満の学校：週1日配置		4時間勤務 /1人1日、 週5日配置

小・中学校図書データベース用パソコンを整備

公民館の耐震化 <まちづくり戦略プランに掲載>

社会教育課

事業費（計画額）：140万円

目的：

地域の拠点施設であり、災害時の避難所にも指定されている地区公民館のうち、昭和56年以前の旧耐震基準で建築されたものについて、耐震診断を行い、必要な耐震対策を実施し、住民の安全確保を図る。

事業の概要：

香南公民館の耐震診断

耐震診断実施スケジュール

年度	コミュニティセンター・地区公民館施設の耐震診断
18	9館（林、鬼無、木太、太田、円座、東植田の各コミュニティセンター、香南、国分寺北部、国分寺南部の各公民館）
19	8館（川岡、西植田、多肥、屋島、三谷の各コミュニティセンター、牟礼（いきいきセンターを含む）、浅野、川東の各公民館）

移動図書館巡回サービスの実施 <まちづくり戦略プランに掲載>

中央図書館

市全体事業費（計画額）：1億5,800万円

目的：

図書館から遠隔地にあり、図書館の利用が不便な市民等に対し図書館サービスを行う。

事業の概要：

移動図書館車による図書館サービスの充実

合併に伴い移動図書館車を1台（積載図書冊数3,000冊程度）増車し、3台の図書館車で市内の92ステーション（合併地区23ステーションを含む）を毎月巡回する。（平成18年2月から実施）

【平成18年度巡回ステーション】

- ・旧高松市（70箇所）
 - ・塩江地区（3箇所） 塩江支所・上西連絡事務所・塩江小学校
 - ・牟礼地区（2箇所） 牟礼南小学校・牟礼北小学校
 - ・庵治地区（3箇所） 深間庭球場・鎌野自治会館・庵治漁業協同組合
 - ・香川地区（8箇所） 香川支所・香川総合体育館・浅野小学校・浅野公民館
大野公民館・大野小学校・川東公民館・東谷公民館
 - ・香南地区（4箇所） 香南歴史民俗郷土館・香南公民館・香南幼稚園・池西農村環境改善センター
 - ・国分寺地区（3箇所） 福家児童館・讃岐国分寺跡資料館・新居東児童館
- 香川図書館（仮称）開館時に、香川町の移動図書館サービスステーション、香南町の移動図書館サービスステーションは縮小

新成人祝賀講演会の開催

社会教育課
市全体事業費（計画額）：150万円

目的：

講演を通じて、次代を担う新成人に新たな視点づくりを促し、豊かな人間形成を目指す。

事業の概要：

平成19年高松市成人式において、新成人を対象に講演を行う。

開催日時 平成19年1月8日（月・成人の日）

開催会場 サンポートホール高松大ホール

参加定員 1,500人

市営住宅の整備

住宅課
事業費（計画額）：3,990万円

目的：

施設や設備の老朽化が進んでいる改良住宅について、保健・福祉施策との連携を図りながら、計画的に改修、改善、建替えなどを進める。

事業の概要：

北部団地の整備（除却14戸・道路・広場・緑地整備）

CATVの整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

広聴広報課
市全体事業費（計画額）：2億円

目的：

地域における総合的情報通信網として、CATV網の整備および合併地区へのエリア拡大を促進し、CATVによる市政情報の提供等情報通信機能の充実を図る。

事業の概要：

CATV関連施設整備事業に対する助成

・未整備合併地区へのエリア拡大

キーワード：CATV

光ファイバーケーブルなどを利用した特定地域対象の有線放送テレビ。自主制作を含む様々な番組を多チャンネルで放送する。ケーブルの有する大容量と双方向機能を活用し、放送と通信サービスを総合的に提供するメディアとして期待されている。(Cable Television)

電子市役所構築の推進 <まちづくり戦略プランに掲載>

情報システム課
市全体事業費(計画額): 7,200万円

目的:

国の進める電子政府構築に対応して、電子市役所の構築を推進することにより、行政事務の一層の簡素化、効率化を図るとともに、より高度な行政サービスを実現する。

事業の概要:

平成18年度

- ・電子調達(CALS/EC)システム稼働(電子入札)
- ・戸籍総合システム稼働(現在戸籍・附票)
- ・財務会計システム再構築(調査検討、仕様書作成)
- ・生涯学習情報システム再構築(かがわ電子自治体システムへの移行)

平成19年度

- ・戸籍総合システム稼働(除籍、改製原戸籍)
- ・財務会計システム再構築(システム開発)
- ・新生涯学習情報システム稼働(かがわ電子自治体システム内生涯学習施設予約部分)

平成20年度

- ・新財務会計システム稼働(予算編成)

香南歴史民俗郷土館の運営

歴史資料館
事業費(計画額): 3,210万円

目的:

市民が身近に芸術・文化に親しむことができるよう、市民の自主的な活動を促進する拠点として、芸術・文化施設の整備や機能の充実を図る。

事業の概要:

「合併企画展」、「夏休み埋蔵文化財展」などの特別展・企画展の開催、各種教育普及事業の実施

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：5億2,450万円
（うち市全体事業費（計画額）：5億2,090万円）

事業の概要：

自主防災組織等の結成促進（消防局予防課）

交通安全施設の整備（道路課）

自転車歩行者道、交差点改良、道路標識、区画線、防護柵、道路照明灯、視線誘導標、道路反射鏡、交差点案内標識などの整備

防犯灯の整備促進（市民生活課）

子どもの居場所づくりの推進（社会教育課）

子どもの居場所づくり指導者の養成、のびのび子どもプラザモデル事業の実施、子どもわくわく体験支援事業の実施

香南地区子ども会育成事業の推進（社会教育課）

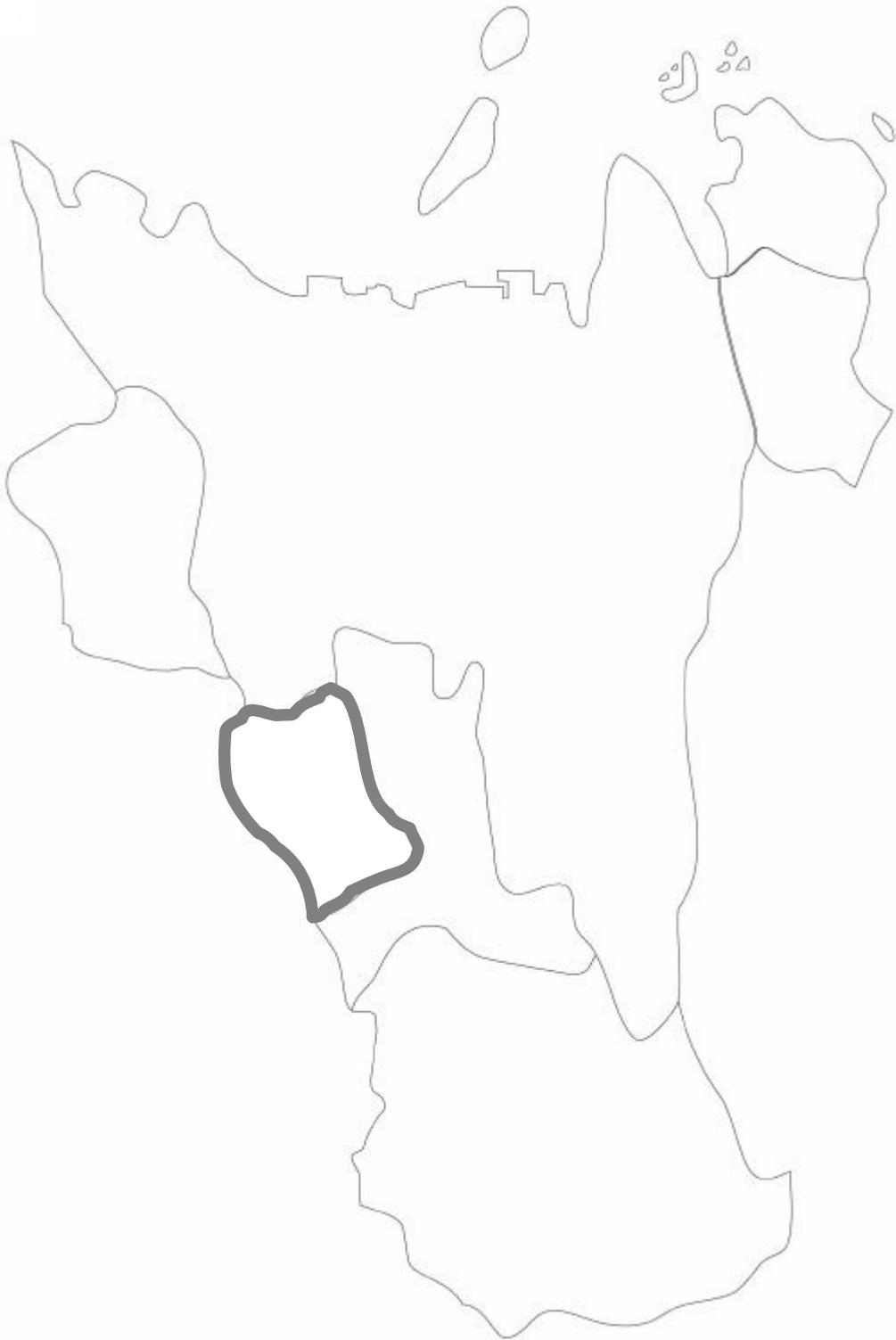
まなびCAN開設5年記念事業の開催（生涯学習センター）

地区文化祭の開催（文化振興課）

香南招待少年サッカー大会の開催（市民スポーツ課）

町民運動会に対する助成（市民スポーツ課）

総合型地域スポーツクラブに対する助成（市民スポーツ課）



交流のまちづくり

香南地区は、花き、果樹栽培などの振興に取り組んできたが、比較的小規模農家が多く、農業経営の改善、担い手の育成、生活基盤の整備、空港など地域特性を生かした農産物の高付加価値化、ブランド化などの課題への対応が求められている。

また、商工業は、経済不況の長期化や郊外型店舗の立地など環境の変化への対応が求められており、経営基盤の安定・強化や経営改革等を図ることが課題となっている。

このため、高松空港を擁するなど、地域の潜在力を活用し、時代の変化に柔軟に対応できる産業の育成を図るとともに、これを支える利便性の高い交流基盤（交通・情報通信）や都市基盤の整備により、四国の空の玄関としての特性を生かした、活気あふれるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

【 交流のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり
 - ・ 農業の振興
 - ・ 商工業の振興
 - ・ コミュニティビジネス等の振興
- (2) 魅力ある観光を育てるまちづくり
 - ・ 体験型農業やグリーンツーリズムの展開
 - ・ 交流資源のネットワーク化
- (3) 広域的な交流を育てるまちづくり
 - ・ 地域間交流の促進
 - ・ 国際交流の促進と人材の育成
- (4) 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり
 - ・ 道路の整備
 - ・ 公共交通の整備
 - ・ 都市基盤の整備

香川型水田農業振興総合対策の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：1億2,800万円

目的：

国は平成19年度から、経営規模が4ha以上の認定農業者や20ha以上の集落営農などに施策を重点化・集中化し、展開しようとしている。小規模農家が大半である本市農業の現状を考慮して、農業従事者の高齢化・後継者不足等から作業の省力化・効率化を目指し、農業機械の共同利用の促進、さらには、農作業支援体制の確立による農業振興を図る。

事業の概要：

米改革推進リーダー支援事業

売れる米づくりや水田農業の望ましい生産構造の実現を図るため、米改革推進リーダーを設置し、調整活動などを実施する。

地域水田農業ビジョン実現総合支援事業

地域で策定された地域水田農業ビジョンの実現のために必要な条件整備に関する事業を実施する。

麦、大豆本作化推進事業

「さぬきの夢2000」の品質向上および作付け拡大を図る。

農作業支援システム導入促進事業

担い手の労働を補完する定植・出荷・調整作業や担い手が少ない地域での農作業受託の実施などに必要な農業機械等の整備を行う。

認定農業者の育成・確保の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：180万円

目的：

認定農業者連絡協議会を通じて、経営改善指導や遊休地等土地利用集積による規模拡大を推進する。

事業の概要：

認定農業者の連携推進

高松市認定農業者連絡協議会を開催し、認定農業者相互の連絡を密にし、効率的かつ安定的な農業経営の改善を図る。

キーワード：認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づく制度で経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、基準に適合する農業者として市町村から認定を受けた者

圃場の整備

土地改良課
事業費（計画額）：1億3,300万円

目的：

農業生産性の向上とともに農村環境の整備、地域活性化などを図り、農地基盤の整備の充実を図る。

事業の概要：

吉光地区

平成18年度 農道整備 一式
農業用排水路の整備外一式

中部地区

平成18年度 換地設計外一式

香南アグリのームの機能の活用

農林水産課
事業費（計画額）：1,360万円

実施主体：有限会社 香南町農業振興公社

目的：

農業の担い手育成や農作業の受託、農地の保全・管理とともに、都市住民等との交流促進による農業・農村の活性化を総合的に推進する。

事業の概要：

体験農園において、会員制による農業講座を定期的開設し、都市住民との交流促進のため収穫祭等のイベント開催

農畜産物加工体験施設（カモミール）において、ウィンナーや手打ちうどん、手作り豆腐等の体験教室を開催

柿、りんご、ハーブ類、キク等の生産、アイスクリーム、豆腐、パン等の加工品製造および販売

「香南アグリのーム」、産直市場「香南朝市」の管理運営

新規就農キク栽培者の研修および農業用施設の利用貸付・管理運営

ため池の整備

土地改良課
事業費（計画額）：1,680万円

目的：

ため池の整備により、農業に必要不可欠な用水を確保し、安定的に水を供給して、環境の保全および農業の振興を図る。

事業の概要：

まどころいけ
政所池の整備

平成17年度 提体工 L = 178 m
取水施設工 1か所
(底樋管 600 mm L = 21 m、土砂吐ゲート等一式)

平成18年度 提体工 L = 297 m
洪水吐工 1か所
(越流堰式 B = 1.4 m、L = 17.4 m)

「高松産ごじまん品」生産・消費の促進 <まちづくり戦略プランに掲載>

農林水産課
市全体事業費（計画額）：900万円

目的：

消費者ニーズを的確に把握し、市内農作物の需要拡大と地産地消を推進するため、「高松産ごじまん品」を選定し、農業の振興を図る。

事業の概要：

平成18年度において、新たに合併地区の特産品を高松産ごじまん品に選定し、「たかまつ食と農のフェスタ」等により新市域の農業のPRを図る。

情報発信等推進事業

新ごじまん品の選定、ごじまん品リーフレットの作成、米の消費拡大等

生産者・消費者相互理解促進事業

たかまつ食と農のフェスタの開催、ごじまん品キャラクターの利用促進等消費者と生産者の交流の推進

生産振興等対策事業

園芸塾の開催、米粉の利用拡大・定着化、新品目の実証圃・展示圃の設置
生産マニュアルの確立、加工品の普及等による生産振興の推進

市民農園の整備促進

農林水産課

庵治・香南・国分寺地区事業費（計画額）：930万円

目的：

遊休農地を活用し、都市住民にレクリエーションの場を提供し、農作業を通じて農業や農作物への理解を深めるとともに、交流を通じた地域農業の振興を図る。

事業の概要：

市民農園の維持管理、栽培講習会の開催、栽培指導など

観光振興計画の策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

観光課

市全体事業費（計画額）：370万円

目的：

市町合併による、新しい市域の地理的優位性と多様な人的・物的観光資源を最大限に活用し、地域の個性や特色を生かすとともに、観光を取り巻く環境の変化に対応した持続可能な観光振興施策を展開するため、現行の観光振興計画に替えて、新しい観光振興計画を策定する。

事業の概要：

新しい本市観光振興計画を策定

環境の変化に対応し持続可能な観光振興を図ることができるよう、行政の過度の関与を控え、民間の自助努力を引き出していくことを基本的なコンセプトとする計画を策定（目標年次：平成29年度）

市道の整備

道路課

事業費（計画額）：3億2,400万円

目的：

香南地区における、幅員が狭く、ネットワーク化が不十分な生活道路について、路側改良などによる拡幅や待避所の設置、1.5車線化などの整備を進め、地域住民の利便性の向上を図る。

事業の概要：

市道の改良事業

・香川綾南線道路改良	W = 9 . 5 m	L = 約 2 4 0 m
・楠中ノ丁線道路改良	W = 5 m	L = 約 1 0 0 m
・坂下樽谷線道路改良	W = 5 m	L = 約 2 5 0 m
・下榊中上線道路改良	W = 5 m	L = 約 1 0 0 m
・桜本中蓮線道路改良	W = 5 m	L = 約 1 0 0 m
・下榊大股線道路改良	W = 5 m	L = 約 1 0 0 m
・中蓮下田井線道路改良	W = 5 m	L = 約 1 0 0 m
・北原宮前線道路改良	W = 5 m	L = 約 1 2 0 m

市道の舗装事業

・道路打換舗装		L = 約 7 0 0 m
---------	--	---------------

鉄道施設の整備 <まちづくり戦略プランに掲載>

都市計画課交通政策室

市全体事業費（計画額）：5,840万円

実施主体：市、高松琴平電気鉄道㈱

目的：

自動車交通の環境問題や、高齢者、障害者等の移動に配慮し、公共交通の快適性や利便性を高め、公共交通の利用を促進するため、鉄道の新駅の設置やP & R用駐車場・駐輪場の整備を行い、合併地区も含めた市南部地域住民の通勤時間の短縮や定時性の確保などを図る。

事業の概要：

琴電琴平線の新駅（仮称：寺井駅）整備に対する助成（国庫補助対象事業）

琴電琴平線の新駅（仮称：寺井駅）のP & R用駐車場・駐輪場の整備

キーワード：P & R（パーク・アンド・ライド）

交通渋滞を避けるために、郊外の駐車場に車を置き（パーク）、そこから電車やバスに乗り換えて（ライド）都心に入ること。公共交通機関の利用を促進し、都心部の渋滞緩和と排気ガスによる大気汚染の防止などに役立てようとするもの。

都市計画マスタープランの策定

都市計画課

市全体事業費（計画額）：1,130万円

目 的：

平成16年5月の線引き制度の廃止を含む新しい都市計画制度の施行や、合併による市域の拡大などを踏まえ、都市計画マスタープランの見直しを行い、土地利用などの基本方向を明らかにし、適正な土地利用の誘導を図る都市づくりの総合的な指針とする。

事業の概要：

- 都市計画マスタープランの修正
 - ・アンケート調査
 - ・地域別構想、全体構想の検討
 - ・対象範囲：都市計画区域

高松市都市計画区域

区 分	旧高松市	牟礼地区	香川地区	香南地区	国分寺地区	合 計
都計区域	161.95 km ²	16.48 km ²	20.36 km ²	14.72 km ²	26.25 km ²	239.76 km ²

キーワード：新しい土地利用コントロール制度

平成16年5月17日から都市計画法に基づく市街化区域・市街化調整区域を区分する制度（線引き制度）が廃止され、新しい土地利用コントロール制度が導入された。

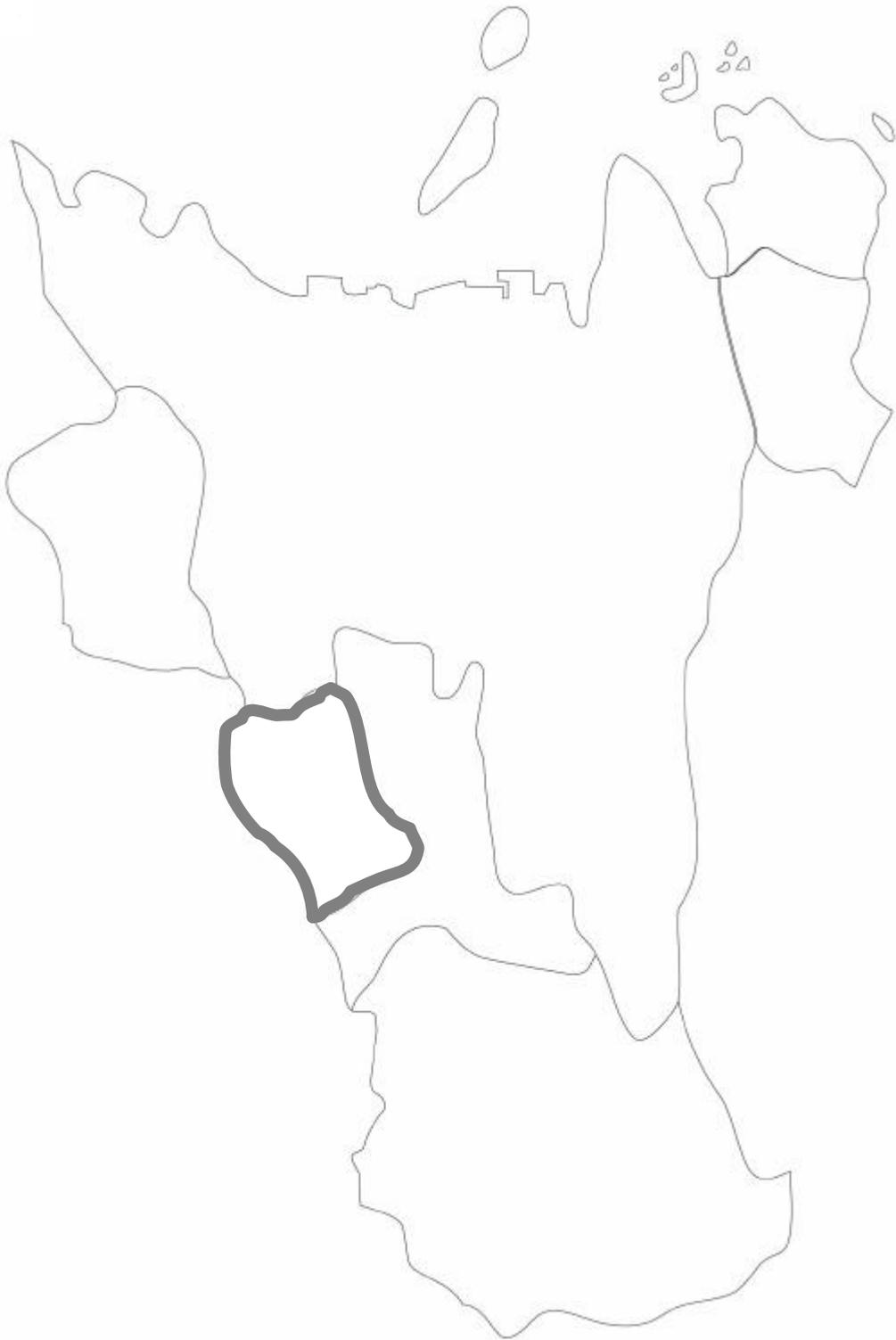
重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：6,310万円
 （うち市全体事業費（計画額）：500万円）

事業の概要：

- 麦作推進対策の助成（農林水産課）
 - 麦作農家への助成
- 農業団体の助成（農林水産課）
 - 農業生産団体への助成
- 園芸産地の助成（農林水産課）
 - 果樹・花卉等生産農家への助成
- 園芸団体の助成（農林水産課）
 - 園芸団体への助成
- 中小企業指導団体等の助成（商工労政課）
 - 商工会への助成
- 香南楽湯の運営（観光課）
- 観光総合パンフレット（日・英）の制作（観光課）
- ボン・フェスティバル I N 香南の開催（観光課）



参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、行政区域が広がることによる住民と行政の距離が遠くなるなどの懸念に対応するため、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を最大限に発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

【 参加のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり
 - ・ 行財政運営の効率化と支所等の機能整備

- (2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり
 - ・ コミュニティ活動の支援

- (3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり
 - ・ 住民との協働の推進
 - ・ 情報公開の推進

合併記念各種イベントの開催<まちづくり戦略プランに掲載>

関係課

市全体事業費(計画額): 2億6,000万円

目 的:

平成18年度の1年間を通じて、各種のイベントについて、「合併記念事業」として位置づけた取組みを行い、新しい市の一体感の醸成に資する。

事業の概要:

各イベントに「合併記念」の冠をつけて実施

合併記念各種イベント一覧表

実施月	事業名	担当課
4月	塩江さくらまつり	観光課
	さぬき高松ボンポコまつり	
4月~5月	歴史資料館収蔵品展「新たに仲間となりました」(仮称)	歴史資料館
	美術館「エミール・ガレとドーム兄弟展」	美術館
5月	フラワーフェスティバル・交通安全フェア	公園緑地課・交通安全対策課
	かがわ国際フェスタ2006	国際交流室
	暮らしをみなおす市民のつどい	市民生活課
	保育まつり	こども未来課
	50歳以上男子ファーストピッチソフトボール大会	市民スポーツ課
5~6月	石のさとフェスティバル	文化振興課
6月	ほたるの里フォトコンテスト写真公募展	美術館
	塩江ホテルまつり	観光課
	水道週間行事	水道局
	さわやかママさんバレーボール大会	市民スポーツ課
6~7月	アーツフェスタたかまつ2006	文化振興課
7月	外国人のど自慢・お国自慢交流大会	国際交流室
	福祉のつどい	障害福祉課
	国分寺いん石20周年展(仮称)	市民文化センター
	市民遠泳大会	市民スポーツ課
7~9月	屋島山上石あかりロード(仮称)	観光課
8月	高松まつり	
	塩江温泉まつり	
	ボン・フェスティバルIN香南	
	国分寺町まつり	
高松市子ども会フットベースボール大会	社会教育課	
8~9月	牟礼石あかりロード	観光課
9月	健康まつり	保健センター
	高松市合併ふれあい展	美術館
9~11月	市民スポーツフェスティバル	市民スポーツ課
10月	音のまつり	文化振興課

実施月	事業名	担当課
10月	高松秋のまつり	観光課
	仏生山竹あかりロード	
	義経・与一合同サミット	
	グリーンフェスタ国分寺盆栽まつり	農林水産課
	ファミリーマラソン in Aji	市民スポーツ課
	合併企画展	歴史資料館
10～11月	菊池寛記念館文学展「愛の手紙」(仮称)	菊池寛記念館
11月	男女共同参画フェスティバル	女性センター
	塩江もみじまつり	観光課
	農産品まつり	農林水産課
	平和記念室収蔵品巡回展	市民文化センター
	健脚大会	市民スポーツ課
	さわやかママさんソフトボール大会	
	60歳以上男子スローピッチソフトボール大会	
	まなびCAN開設5年記念事業	生涯学習センター
	美術館コレクション展	美術館
11～1月	高松冬のまつり	観光課
12月	元気ハツラツドッジボール大会	市民スポーツ課
	国分寺町冬のまつり	観光課
1月	新成人祝賀講演会	社会教育課
	まちづくり講演会	市民生活課
2月	新春子どもフェスティバル	社会教育課
	校区別混成ソフトバレーボール大会	市民スポーツ課
	たかまつ食と農のフェスタ	農林水産課
3月	塩江温泉竹あかりのみち	観光課
通年	サンポートにぎわいづくりイベント	

上記以外のイベントについても、随時、合併記念イベントに位置づけて実施するものとする。

合併記念市民交流・地域間交流事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,840万円

目的:

合併後の新しい市において、速やかな地域の一体化と融合を図るため、旧高松市や合併地区のそれぞれの市民が、新しい市の各地域の特色ある施設や地域資源を知るとともに、地域性のあるまつりにおけるイベントへの参加を通じてふれあうことにより、市民の一体感を醸成することを目的として合併記念市民交流・地域間交流事業を実施する。

事業の概要:

一体感醸成イベントの実施

旧高松市および合併地区における比較的規模の大きい“まつり”において、まつりの会場の一画を利用し、まつりのプログラムと関連づけながら、市民の一体感を醸成

するイベント（プログラム）を付加して実施する。

最初のまつりとなる「フラワーフェスティバル・交通安全フェア」において、交流事業スタートイベントを実施する。

対象のまつりおよび開催月

名 称	地区名	開催月
フラワーフェスティバル・交通安全フェア	旧高松	5月
石のさとフェスティバル	庵治	6月
塩江ホテルまつり	塩江	6月
アーツフェスタたかまつ2006	旧高松	7月
ボン・フェスティバルIN香南	香南	8月
塩江温泉まつり	塩江	8月
牟礼石あかりロード	牟礼	9月
ひょうげまつり	香川	9月
高松秋のまつり	旧高松	10月
音のまつり	国分寺	10月

合併記念巡回ふれあいバスツアーの運行

各地域の特色ある施設やまつりなどを巡るバスツアーを運行する。

実施月

6月から11月までの6か月間

回数と対象

訪問見学場所

各地域の特色ある自然・歴史・文化・産業などに関連する施設、スポット、地域に根ざした“まつり”、休憩施設など

合併一周年記念事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費（計画額）：160万円

目 的：

市民の企画提案により、市全域の市民参加による合併一周年を祝う記念事業を実施する。

事業の概要：

市民から企画提案を募集

市民による実行委員会で運営

実施時期：平成19年1月～2月ごろ

新しい総合計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,000万円

目的:

近隣町との合併による新しい高松市の誕生に伴い、新たな市域における主体的かつ計画的なまちづくりのための根幹的指針として、新しい総合計画を策定する。

策定に当たっては、現行の総合計画や合併地区の建設計画(合併基本計画)を踏まえながら、時代の潮流や国の動向、厳しい財政環境、新しい行政課題への対応、さらには市民の意見を反映する中で、成果主義に基づいた政策評価の考え方を取り入れながら、より戦略的な計画の策定を目指す。

事業の概要:

- 平成18年度 策定要綱の制定
 まちづくり100人委員会の設置
 市民意識調査の実施(合併地区)
 地区別まちづくり計画基礎調査の実施
 市民提言の募集 など
- 平成19年度 たかまつタウンミーティングの開催
 基本構想原案作成
 総合計画審議会設置・開催
 パブリックコメントの実施
 基本構想の議決
 主要事業計画策定 など

行財政改革の推進(行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築)

<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課 行政改革推進室

市全体事業費(計画額): 60万円

目的:

厳しい行財政環境、地方分権の進展、市町合併後の対応、少子高齢社会の到来、高度情報化の進展、市民の市政への参画意識の高まり等、本市を取り巻く状況に対応し、中核市にふさわしい行財政システムの確立を目指し、次期行財政改革計画を策定する。

また、総合計画の進行管理と行政評価を同一のシステムで行い、「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルの確立を目指すとともに、財務会計システムとの連携および調書作成作業の省力化・効率化を図ることにより、政策・施策・事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性を向上させる。

事業の概要：

次期行財政改革計画の策定

- ・平成18年度に、平成19年度を計画期間の始期とする次期行財政改革計画を策定
- 行政評価システムの構築
- ・新たに策定する総合計画と連動させ、既の実施している事務事業評価に加え、施策評価・政策評価に発展させることにより、一体的な行政評価システムを構築する。
「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルを確立することにより、政策・施策や事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性の向上を図る。

自治会組織の充実とコミュニティづくり

市民生活課

市全体事業費（計画額）：1億5,200万円

目的：

多様化する地域課題の解決に、地域の多様な人々が自らの問題として積極的にかかわり、主体的に参加し、選択・決定するという、地域みずからのまちづくりを推進する。

そのため、それぞれの地域で培われてきた歴史、文化、個性などをいかし、地域活動の基盤となる自治会組織の強化を図るとともに、自治会を中心に、各種の地域団体、NPO、企業等が連携する地域コミュニティ組織の構築を促進する。

事業の概要：

自治会活動補助金や自治会加入・結成奨励に対する助成

地域コミュニティ構築の支援

自治会等各種団体と連携し、人材養成事業、地域ふれあい交流事業を実施

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：3,050万円

（うち市全体事業費（計画額）：2,900万円）

事業の概要：

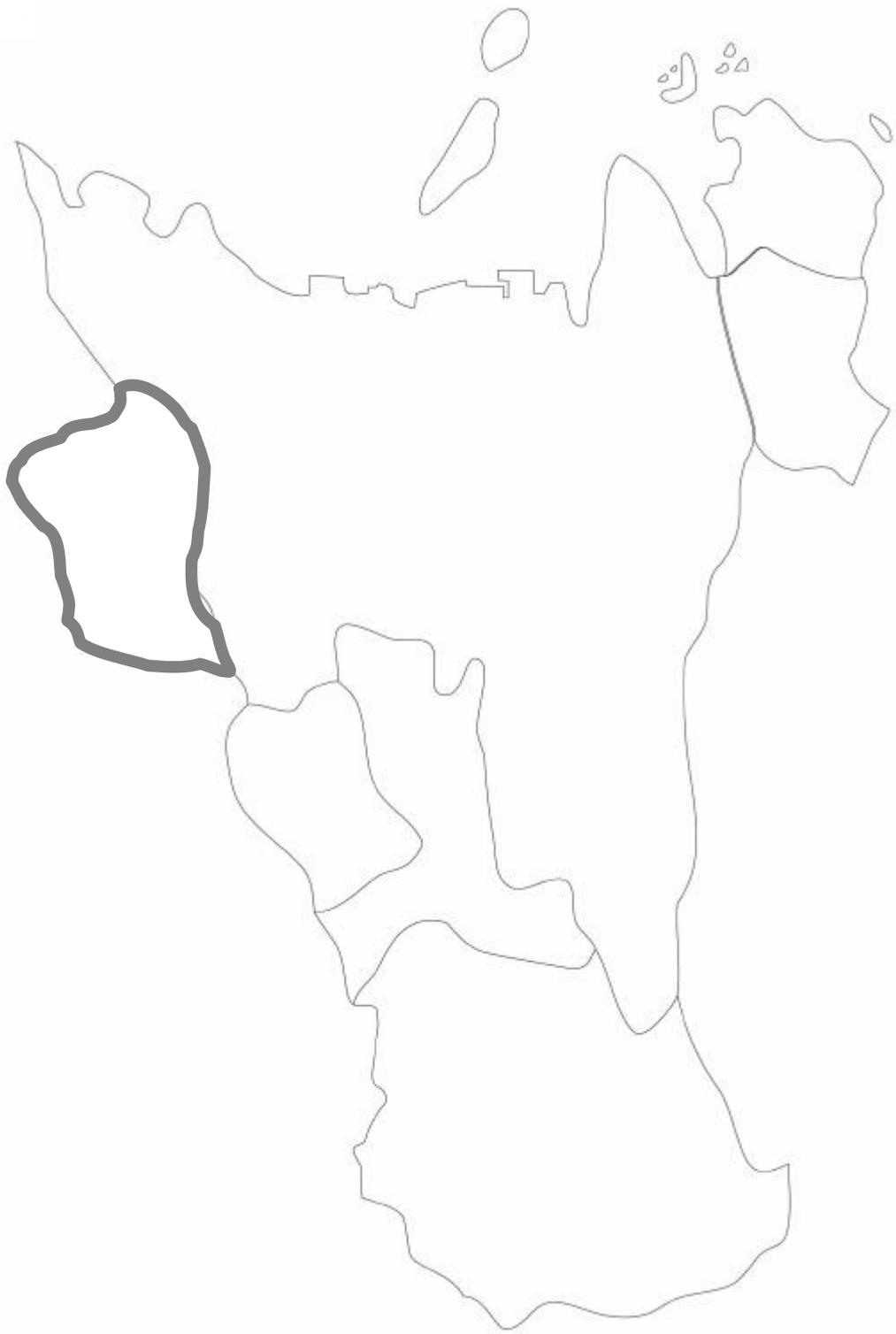
地域審議会の開催（市民生活課）

NPOとの協働の推進（市民生活課）

協働企画提案事業、ボランティア・市民活動センター管理運営委託など
情報公開制度および個人情報保護制度の推進（庶務課）

国分寺地区建設計画

平成18・19年度実施計画



目 次

国分寺地区の実施計画	193
連帯のまちづくり	199
地域包括支援センターの設置運営	200
男女共同参画社会の形成	201
重点取組み事項関連事業の推進	201
循環のまちづくり	203
水道管網の整備	204
下水道汚水施設の整備（西部処理区）	204
環境基本計画の策定	205
ごみ処理基本計画の策定	206
重点取組み事項関連事業の推進	206
連携のまちづくり	209
砂防ダムの建設	210
防災行政無線システムの整備	210
学校施設の耐震化	210
学校教育環境の整備	211
学校施設の整備	211
学校図書館の活性化	212
移動図書館巡回サービスの実施	212
公民館の耐震化	213
新成人祝賀講演会の開催	213
市営住宅の整備	214
CATVの整備	214
電子市役所構築の推進	215
讚岐国分寺跡資料館の運営	215
重点取組み事項関連事業の推進	216
交流のまちづくり	219
市民農園の整備促進	220
特産品の情報発信イベントの開催	220
香川型水田農業振興総合対策の推進	220
認定農業者の育成・確保の推進	221
「高松産ごじまん品」生産・消費の促進	221
観光振興計画の策定	222
市道の整備	222
コミュニティバスの運行	223
都市計画マスタープランの策定	223
重点取組み事項関連事業の推進	224
参加のまちづくり	225

合併記念各種イベントの開催	226
合併記念市民交流・地域間交流事業の実施	227
合併一周年記念事業の実施	228
新しい総合計画の策定	229
行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築）	229
自治会組織の充実とコミュニティづくり	230
重点取り組み事項関連事業の推進	230

国分寺地区の実施計画

はじめに

国分寺地区は、瀬戸大橋を経て本州に至るＪＲ、国道を擁し、高松空港にも近いなど、高松都市圏の西の玄関として、大きく発展する可能性を有している地域である。

また、年齢構成の若い地域でもあり、豊かな自然、文化環境を背景とした福祉、教育、文化等生活環境を基礎として住民による多彩で、意欲的な活動を育成することにより、うるおいのあるライフスタイルを創造するとともに、都市圏全体に発信・普及させてゆく先導的な役割を発揮していく地域として、コミュニティ文化を創造していくことが期待されている。

さらに、都市近郊農業地域として、米、野菜、果樹などの生産供給の役割を果たしてきたが、盆栽などの地場産業や果樹栽培など個性的な農業は、地域住民のみならず、近隣市町住民のうるおい、学習等交流の場として活用できる可能性をもっている。

今後、地域の特性を生かし、住民に身近なコミュニティ文化、生活文化および交流の創造と発信を担う機能を育てていくことが望まれており、建設計画において、国分寺地区は、「歴史と文化が調和し、コミュニティ文化を創造する生活交流ゾーン」として位置づけられている。

こうした役割と機能を踏まえ、個性ある活力に満ちた地域社会の実現に向けて、国分寺地区のまちづくりを展開する。

実施計画の期間：平成１８・１９年度

実施計画事業数：７０事業

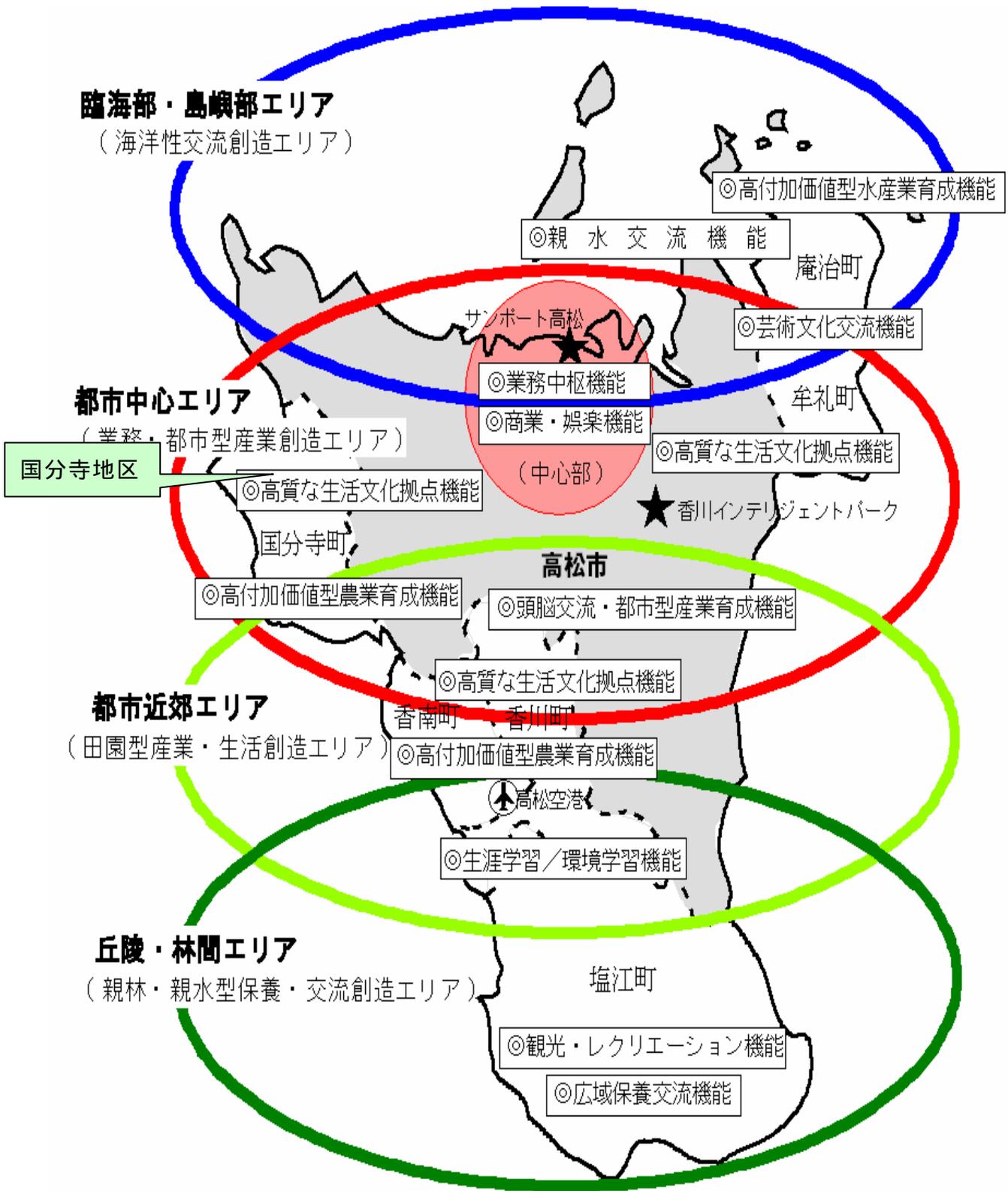
（国分寺地区のみの事業：３４事業、市全体等事業：３６事業）

概算事業費

単位：万円

	国・県支出金	市債	その他	一般財源	事業費
国分寺地区のみの事業	82,290	68,180	0	50,440	200,910
市全体等の事業	59,460	30,690	73,110	178,590	341,850
合計	141,750	98,870	73,110	229,030	542,760

市全体等の事業とは、全市的事业および旧高松市や合併各町など、複数の地区で実施する事業で、各地区ごとに事業費を区別することができない事業を指し、それぞれの事業の事業費（計画額）のところに、「市全体」または「
・
地区」などと記載しているものである。



(注) ◎は特に重点的な育成が図られるべき機能

実施計画事業の概要について

連帯のまちづくり

老年人口比率の低い国分寺地域においても、緩やかに少子・高齢化が進行する中で、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 地域包括支援センターの設置運営
- ・ 男女共同参画社会の形成
- ・ 重点取り組み事項関連事業の推進

循環のまちづくり

五色台や猪尻山、鷲ノ山などの山々に囲まれ、盆地状の地形の中に、関ノ池、橘池など大小のため池が点在する田園風景が広がる国分寺地区の豊かな自然環境は、ふるさとの原風景であり、生活にうるおいを提供するかけがえのない財産である。この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、良好な環境機能を維持・増進させるとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、環境への負荷の少ないシステムの形成、自然とふれあい、親しむ機会の創出などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 水道管網の整備
- ・ 下水道汚水施設の整備（西部処理区）
- ・ 環境基本計画の策定
- ・ ごみ処理基本計画の策定
- ・ 重点取り組み事項関連事業の推進

連携のまちづくり

国分寺地区は、緑豊かな自然、田園環境と調和した居住空間を提供するとともに、讃岐国分寺史跡に象徴される歴史のまちとして、先人の知恵を受け継ぎ、未来に伝える数多くの文花的資源にも恵まれており、地域に根ざした文化的な風土は、住民が“ふるさと”を実感し、豊かな生活を創造するうえでの貴重な財産となっている。

このため、これら財産を活用して、生活の基礎となる安全・安心な地域環境を築くとともに、住民と行政が連携し、知恵を出しあうことにより、豊かな自然や文化を生かし、安全・安心、香り高い文化とうるおい、ゆとりで満たした豊かな生活を創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 砂防ダムの建設
- ・ 学校施設の耐震化
- ・ 学校施設の整備
- ・ 移動図書館巡回サービスの実施
- ・ 新成人祝賀講演会の開催
- ・ C A T Vの整備
- ・ 讃岐国分寺跡資料館の運営
- ・ 防災行政無線システムの整備
- ・ 学校教育環境の整備
- ・ 学校図書館の活性化
- ・ 公民館の耐震化
- ・ 市営住宅の整備
- ・ 電子市役所構築の推進
- ・ 重点取組み事項関連事業の推進

交流のまちづくり

国分寺地区は、ベッドタウンとして人口が急増し、農村的な町から都市近郊の田園住宅都市へと発展してきており、宅地化の進展や郊外型店舗の進出などによる農地の減少、兼業化などにより、農業の生産性は低下し、生産基盤の整備や経営体の育成、盆栽に次ぐ新たなブランド農産品の開発・育成などの課題への対応が求められている。

また、新しい都市型産業、農林業を基礎とした集客・交流産業などの起業化などへの対応も課題となっている。

このため、時代の変化に対応した産業の育成を図るとともに、これを支える利便性の高い交流基盤（交通・情報通信）の整備により、豊かな潜在力を生かした、高松の西の玄関にふさわしい活気あふれるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 市民農園の整備促進
- ・ 香川型水田農業振興総合対策の推進
- ・ 「高松産ごじまん品」生産・消費の促進
- ・ 市道の整備
- ・ 都市計画マスタープランの策定
- ・ 特産品の情報発信イベントの開催
- ・ 認定農業者の育成・確保の推進
- ・ 観光振興計画の策定
- ・ コミュニティバスの運行
- ・ 重点取り組み事項関連事業の推進

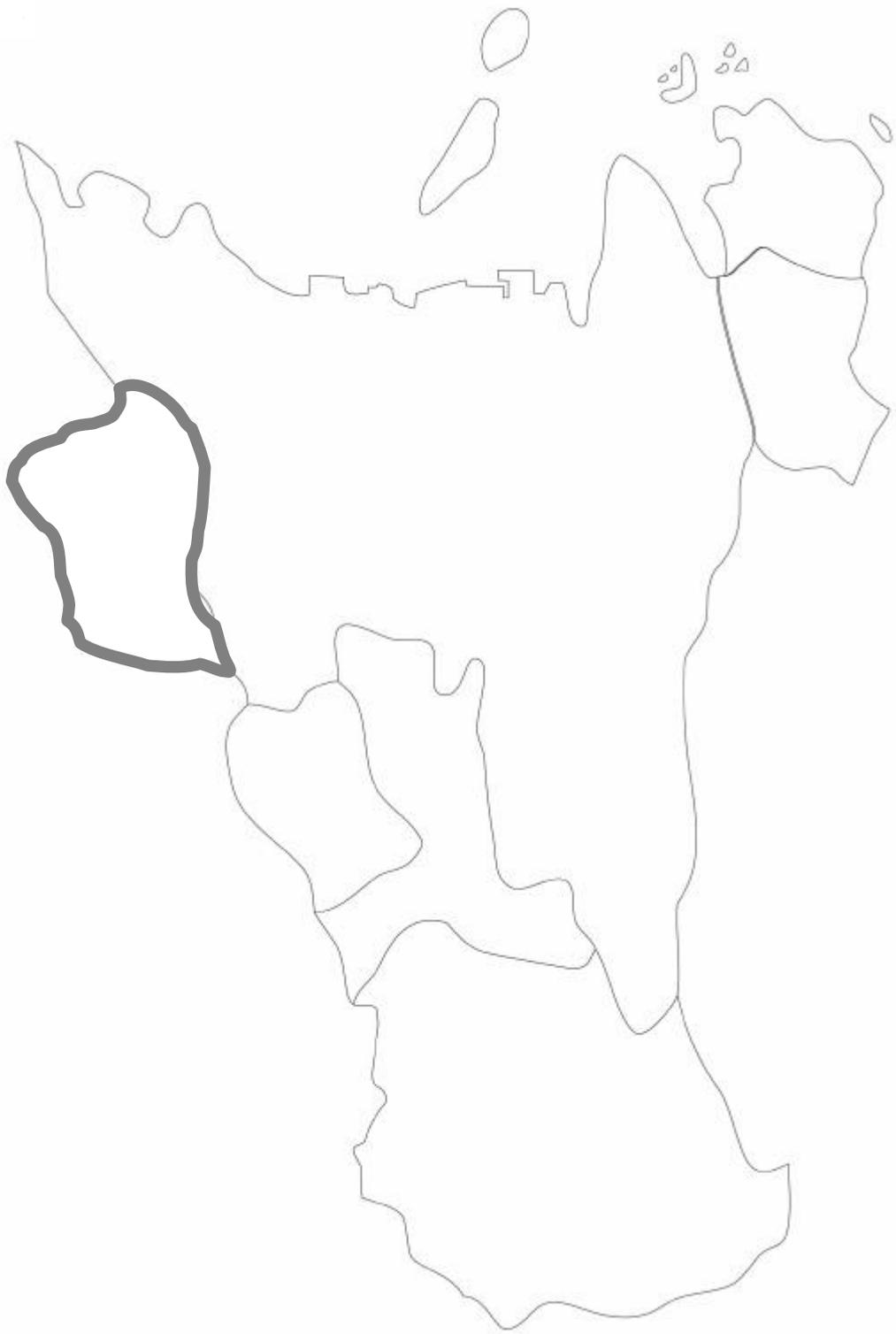
参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を可能な限り発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを強化し、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツ、観光、交流など、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

次項で概要説明をする実施計画事業は次のとおり。

- ・ 合併記念各種イベントの開催
- ・ 合併一周年記念事業の実施
- ・ 行財政改革の推進（行財政改革計画の策定、行政評価のシステムの構築）
- ・ 自治会組織の充実とコミュニティづくり
- ・ 重点取り組み事項関連事業の推進
- ・ 合併記念市民交流・地域間交流事業の実施
- ・ 新しい総合計画の策定



連帯のまちづくり

老年人口比率の低い国分寺地域においても、緩やかに少子・高齢化が進行する中で、保健・医療・福祉に対する住民ニーズは、増大するとともに、多様化しており、こうした課題に対応していくために、住民と行政が共に手を携え、みずからの問題としてとらえ「自助、共助、公助」の原則のもとに解決していくことが求められている。

このため、連帯に基づいた保健・医療・福祉の充実した心身ともに健康に暮らせるまち、さらには、その根幹となる基本的人権を尊重する社会の実現を目指し、連帯のまちづくりを進める。

【 連帯のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり
 - ・ 地域福祉の充実
 - ・ 施設福祉・在宅福祉サービスの充実
 - ・ 社会参加の促進
 - ・ 地域社会のバリアフリー化の促進

- (2) 保健と医療の充実したまちづくり
 - ・ 健康づくりの推進
 - ・ 医療体制の充実

- (3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり
 - ・ 保育サービスの充実
 - ・ 子育て支援サービスの充実

- (4) 基本的人権を尊重するまちづくり
 - ・ 人権尊重社会の実現
 - ・ 男女共同参画社会の形成

地域包括支援センターの設置運営<まちづくり戦略プランに掲載>

介護保険課

市全体事業費(計画額): 10億2,900万円

目的:

公正・中立な立場から、地域の高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために必要な支援を行うとともに、介護保険サービスのみならず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、支えあいなどの多様な社会資源を有機的に結びつけ、高齢者の心身の状態の変化に応じて生活の質が低下しないように適切なサービスを継続的に提供するため、地域包括支援センターの設置・運営を行う。

事業の概要:

地域包括支援センターの設置・運営

設置か所数: 8か所(全て直営)

センター	設置予定場所
中央	高松市保健センター
一宮	コトデン一宮駅前店舗
古高松	古高松公民館
山田	旧山田支所
勝賀	ふれあい福祉センター勝賀
香川	香川保健センター
(香南)	香南保健センター
(塩江)	塩江保健センター
牟礼	牟礼老人福祉センター
(庵治)	庵治保健センター
国分寺	国分寺保健センター

実施時期: 平成18年10月設置運営開始

センターの機能:

公正・中立性を確保し、要支援・要介護になるおそれのある高齢者や軽度の要介護認定者への介護予防マネジメント、ケアマネジャー支援、困難事例の相談、高齢者の権利擁護を推進するための活動拠点とする。

・ 共通的支援基盤構築

地域に、総合的、重層的なサービスネットワークを構築する。

・ 総合相談支援・権利擁護

高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぐ。また、虐待の防止など高齢者の権利擁護に努める。

・ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援する。

・ 介護予防マネジメント

介護予防事業、新たな予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なマネジメントを行う。

男女共同参画社会の形成 <まちづくり戦略プランに掲載>

女性センター
市全体事業費（計画額）：5,550万円

目的：

平成14年度スタートの「たかまつ男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画に関する意識高揚を図るとともに、同プランに続く「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定を行う。また、平成18年度から男女共同参画センター（女性センターを名称変更）に指定管理者制度を導入し、より柔軟な企画運営および施設管理を図る中で、男女共同参画社会の形成を推進する。

事業の概要：

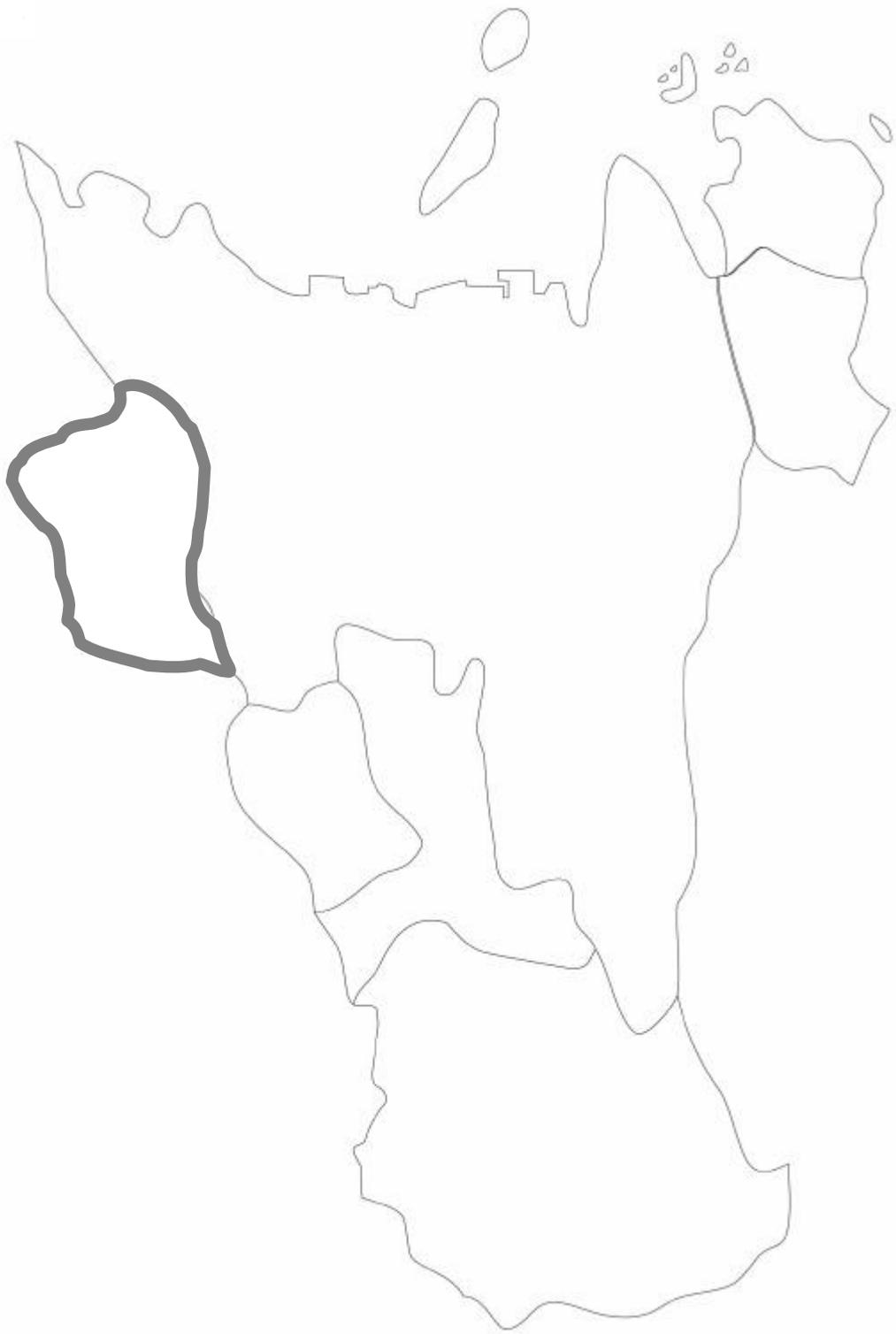
「たかまつ男女共同参画プラン」の推進
 「第2次たかまつ男女共同参画プラン」（仮称）の策定
 男女共同参画都市宣言推進事業の実施
 高松市男女共同参画市民フェスティバルに対する助成
 審議会等委員への女性登用の推進
 男女共同参画センターの指定管理者による管理への移行

重点取組み事項関連事業の推進

関係課
事業費（計画額）：3億9,130万円
（うち市全体事業費（計画額）：3億5,730万円）

事業の概要：

精神障害者福祉の推進（保健所）
 精神障害者共同作業所の運営助成
 介護予防の推進（保健所保健センター）
 栄養改善、機能訓練、認知症予防、介護予防政策など
 シルバー人材センターの活動促進（長寿社会対策課）
 就業を通じて生きがいの増進と社会活動への参加
 人権教育の推進（人権教育課）
 社会教育指導員の配置、子ども学級の実施、親子で人権を考える会・市民講座・研修会の開催、指導資料の作成など
 国分寺女性教室の開催（社会教育課）



循環のまちづくり

五色台や猪尻山、鷲ノ山などの山々に囲まれ、盆地状の地形の中に、関ノ池、橘池など大小のため池が点在する田園風景が広がる国分寺地区の豊かな自然環境は、ふるさとの原風景であり、生活にうるおいを提供するかけがえのない財産である。この豊かな自然環境を保全するシステムを、地域ぐるみで創出することによって、良好な環境機能を維持・増進させるとともに、地域資源の循環を図ることは、美しい郷土を次世代に引き継ぐための責務である。

このため、自然環境の保全、水資源の確保と水を大切にすまちづくり、環境への負荷の少ないシステムの形成、自然とふれあい、親しむ機会の創出などにより、自然を守り、生かした、自然と共生するまちの実現を目指し、循環のまちづくりを進める。

【 循環のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり
 - ・ 森林・里山の保全と活用
 - ・ 河川・ため池の保全と活用
 - ・ 身近な緑の保全・回復

- (2) 水資源を大切にすまちづくり
 - ・ 上水道等の整備
 - ・ 節水対策の推進
 - ・ 下水道等の整備

- (3) 環境にやさしい社会を構築すまちづくり
 - ・ 環境衛生の充実
 - ・ 地域環境の保全

- (4) 自然環境とふれあう快適なまちづくり
 - ・ 水と緑のネットワークの整備

水道管網の整備

水道局水道整備課
事業費（計画額）：4,960万円

目的：

国分寺地区において水質基準に適合した安全で良質な水を安定的に供給するため、水源の確保と浄水施設や配水施設の整備、老朽施設の更新などを計画的に推進する。

事業概要：

平成18年度	老朽石綿セメント管の更新	約500m
平成19年度	老朽石綿セメント管の更新を継続して計画的に実施する。	

・キーワード：水質基準

・健康に関する項目

体重50kgの人が、一日に飲用する水の量を2リットルとし、食物、空気など水以外からの摂取も考慮しながら、人間が生涯にわたって連続摂取しても健康に影響が生じない水準を基準値としている。

・水道水が有すべき性状に関する項目

色、濁り、においなど生活利用上あるいは腐食性など施設管理上障害の生ずるおそれのある項目。

障害を生ずる濃度レベルを基に評価を行い、項目の選定、基準値の設定をしている。

下水道汚水施設の整備（西部処理区）

下水道建設課
事業費（計画額）：9億8,600万円

目的：

国分寺地区における快適な居住環境の確保と河川やため池など公共水域の水質汚濁の防止を図るため、汚水枝線管渠の整備および既設老朽管渠の更生など下水道施設の整備を進める。

事業の概要：

平成18年度			
汚水管渠工事	200mm	約	4,800m
平成19年度			
汚水管渠工事	200mm	約	3,200m
管更生工事	200mm	約	1,100m

下水道普及状況

平成17年3月31日現在

	行政区域人口 A	事業計画処理人口 B	処理区域内人口 C	普及率 C/A
市域全体	421,213人	290,842人	221,289人	52.5%
国分寺地区	24,789人	11,830人	6,122人	24.7%

下水処理場の概要(県施設)

施設名	敷地面積 ha	処理方法	処理能力 (m ³ /日最大)
香東川浄化センター※	約 17.60	標準活性汚泥法	40,800

下水道の計画

平成18年1月現在

処理区名	全体計画				事業計画区域	
	都市計画決定面積 (ha)	計画区域 (ha)	計 (ha)	計画人口 (人)	事業計画区域 (ha)	計画人口 (人)
市域全体	6,161.4	1,735.1	7,896.5	316,600	6,414.6	290,842
国分寺地区	384.0	32.0	416.0	14,600	350.0	11,830

キーワード：水質の保全

汚水が直接、公共用水域に排出されると、水質の汚濁を進行させる。下水道は、河川、海域等の公共用水域に排出される汚水を収集し処理場において処理した後、浄化されたきれいな水を水域に還元することから、公共用水域の汚濁の進行をくい止める一方、水域の自然浄化作用を促進し、水質保全に大きな役割を果たしている。

環境基本計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

環境保全課

市全体事業費(計画額)：560万円

目的：

高松市環境基本計画(平成11年2月策定)策定後の社会情勢や環境を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併による市域の拡大や新たな環境問題等に的確に対応するため、環境基本計画を策定する。

事業の概要：

○平成18年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会 of 開催
- ・基礎調査(自然環境調査・生物調査・環境意識アンケート・市域からの温室効果ガス排出量算定調査ほか)の実施

平成19年度

- ・環境問題庁内連絡会議の開催
- ・環境審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・環境基本計画の策定

ごみ処理基本計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

環境政策課

市全体事業費(計画額):70万円

目的:

高松市ごみ処理基本計画(平成5年3月策定)策定後の社会情勢、廃棄物を取り巻く状況の変化等を踏まえ、合併地区を含めた新市域での安定的かつ効率的なごみ処理を行うため、新たな減量化率、資源化率の設定を含めた、ごみ処理基本計画を策定する。

事業の概要:

平成18年度

- ・庁内検討組織の設置
- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・市民提案の募集

平成19年度

- ・廃棄物減量等推進審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・ごみ処理基本計画の策定

重点取り組み事項関連事業の推進

関係課

事業費(計画額):1億710万円

(うち市全体事業費(計画額):610万円)

事業の概要:

ISO14001の推進(環境保全課)

ISO14001の定期審査など

不法投棄監視体制の推進(廃棄物指導課)

ごみの不法投棄監視体制の充実に向けて、不法投棄防止用監視カメラの設置、パトロール強化等を進める

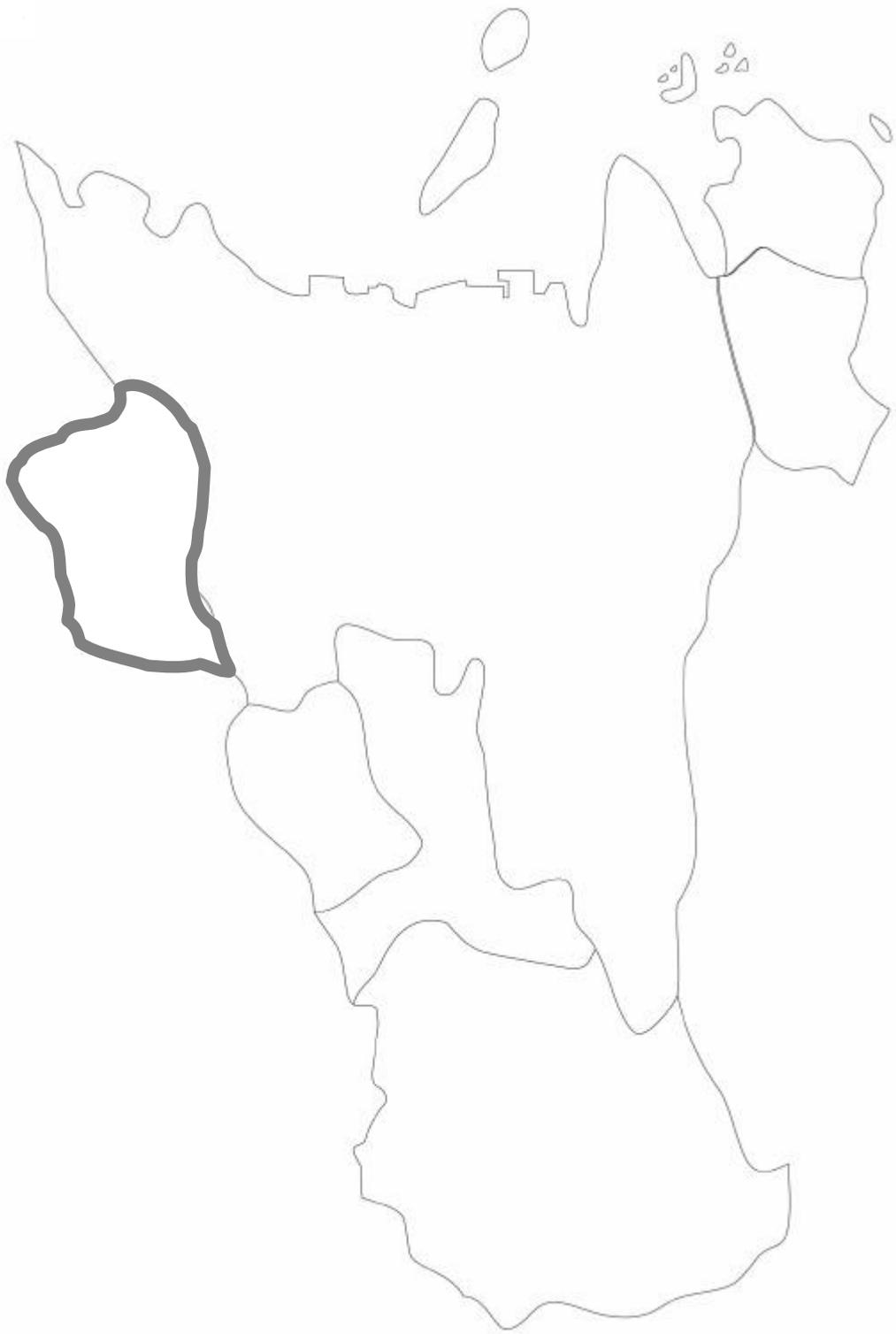
合併処理浄化槽設置の助成(下水道管理課)

約310基

枝葉リサイクルの推進（農林水産課）

各家庭から発生する剪定枝を関連施設で集積し、チップ、コンポスト化を行う
廃プラスチック処理の推進（農林水産課）

農ビ、肥料袋、パイプ、ホース、その他の廃プラをマニフェストにより処理する



連携のまちづくり

国分寺地区は、緑豊かな自然、田園環境と調和した居住空間を提供するとともに、讃岐国分寺史跡に象徴される歴史のまちとして、先人の知恵を受け継ぎ、未来に伝える数多くの文花的資源にも恵まれており、地域に根ざした文化的な風土は、住民が“ふるさと”を実感し、豊かな生活を創造するうえでの貴重な財産となっている。

このため、これら財産を活用して、生活の基礎となる安全・安心な地域環境を築くとともに、住民と行政が連携し、知恵を出しあうことにより、豊かな自然や文化を生かし、安全・安心、香り高い文化とうるおい、ゆとりに満ちた豊かな生活を創造するまちの実現を目指し、連携のまちづくりを進める。

【 連携のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり

- ・ 自然災害対策の推進
- ・ 消防・防災体制の整備
- ・ 交通安全対策の充実
- ・ 防犯対策の充実

(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり

- ・ 家庭教育の充実
- ・ 学校教育の充実
- ・ 教育環境の整備
- ・ 生涯学習・生涯スポーツの充実

(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり

- ・ 住環境の整備
- ・ 地域情報化の推進
- ・ 電子市役所の構築

(4) 歴史と伝統文化を生かしたまちづくり

- ・ 伝統文化の保存・継承と活用
- ・ 芸術・文化の育成

砂防ダムの建設

農林水産課

事業費（計画額）：1億1,030万円

目的：

平成16年の台風23号の豪雨で、陸上自衛隊国分台演習場東側斜面の土砂崩れにより、下流域の河川、ため池に土砂が流入したため、新たに砂防ダムを建設し、土砂流出被害を防止する。

事業の概要：

砂防ダム1基を建設（H=8.5m）

- ・場所：国分台演習場東側 本津川水系 東奥川
- ・建設スケジュール

平成17年度 実施設計等 平成18・19年度 砂防堰堤工事

防災行政無線システムの整備<まちづくり戦略プランに掲載>

庶務課防災対策室

市全体事業費（計画額）：3億3,100万円

目的：

災害時における緊急情報伝達システムを構築するとともに、国分寺町で既に運用している防災行政無線施設を新市の組織体制に合わせて再構築し、全市域における防災行政無線設備として拡張整備することにより、市民に対する情報提供や避難勧告・指示を迅速に行う。

事業の概要：

平成18年度

市役所災害対策本部（基地局）のデジタル化整備および屋外子局13局の整備

平成19年度

ケーブルテレビ・コミュニティFMなど既設システムとの連携・整備

平成20年度以降

旧高松市消防団屯所52箇所および合併地区のデジタル化整備など

学校施設の耐震化<まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課

事業費（計画額）：560万円

目 的：

学校施設の耐震診断を行い、その結果、大地震時に倒壊の危険性があるとされた校舎等について、計画的に耐震化を行い、児童・生徒等の安全を確保する。

事業の概要：

国分寺北部小学校校舎・屋内運動場、国分寺中学校校舎・屋内運動場、国分寺南部小学校屋内運動場の耐震診断の実施

平成17年3月に見直しされた高松市地域防災計画で示された東南海・南海地震の想定震度6弱に基づき、耐震診断結果の評価（a, b, c, dの4段階）のうち、倒壊の危険性が高いa評価およびb評価の校舎等について、a評価のものから順次耐震化を行う。

学校教育環境の整備<まちづくり戦略プランに掲載>

教育部総務課

合併地区全体事業費（計画額）：1,680万円

目 的：

学校への防犯監視システム、扇風機の設置などを行い、児童・生徒にとって、安全で快適な、より良い教育環境を創出する。

事業の概要：

学校防犯監視システムの整備（小学校）

正門等に防犯カメラ、センサーを設置

職員室でアラーム音とともに、モニタ表示し、画像を録画

平成20年度末までに、全小学校に整備予定

教室への扇風機の設置（小・中学校）

平成18年度末までに全小・中学校に設置予定

自動体外式除細動器（AED）の設置（中学校）

平成18年度末までに全中学校に設置予定

学校施設の整備

教育部総務課

事業費（計画額）：770万円

目 的：

老朽化した学校施設の改修を行い、生徒のより良い教育環境を創出する。

事業の概要：

平成18年度

国分寺中学校プールサイド附属室の改修

学校図書館の活性化 < まちづくり戦略プランに掲載 >

学校教育課

市全体事業費（計画額）：2,440万円

目的：

学校図書館指導員の効果的な配置を通じ、児童・生徒の読書活動を一層推進し、健全育成を図る。

事業の概要：

学校図書館指導員を全小・中学校に効果的に配置し、蔵書の貸し出し、返却、児童生徒への対応、データベースの整理等を行う。

学校図書館指導員の増員計画

地 域		旧高松市	庵治・塩江・香川・香南・国分寺地区	牟礼地区
小・中学校数		57校	16校	4校
配 置 人 員	増員数	5名	6名	0名
	増員後	23名	6名	4名
配置基準		6時間勤務 / 1人1日、 児童生徒数700名以上の学校：週3日配置 児童生徒数200名から700名未満の学校：週2日配置 児童生徒数200名未満の学校：週1日配置		4時間勤務 / 1人1日、 週5日配置

小・中学校図書データベース用パソコンを整備

移動図書館巡回サービスの実施 < まちづくり戦略プランに掲載 >

中央図書館

市全体事業費（計画額）：1億5,800万円

目的：

図書館から遠隔地にあり、図書館の利用が不便な市民等に対し図書館サービスを行う。

事業の概要：

移動図書館車による図書館サービスの充実

合併に伴い移動図書館車を1台（積載図書冊数3,000冊程度）増車し、3台の図書館車で市内の92ステーション（合併地区23ステーションを含む）を毎月巡回する。

（平成18年2月から実施）

平成18年度巡回ステーション

- ・旧高松市（70箇所）
- ・塩江地区（3箇所） 塩江支所・上西連絡事務所・塩江小学校

- ・牟礼地区（2箇所） 牟礼南小学校・牟礼北小学校
- ・庵治地区（3箇所） 深間庭球場・鎌野自治会館・庵治漁業協同組合
- ・香川地区（8箇所） 香川支所・香川総合体育館・浅野小学校・浅野公民館
大野公民館・大野小学校・川東公民館・東谷公民館
- ・香南地区（4箇所） 香南歴史民俗郷土館・香南公民館・香南幼稚園・池西農村環境改善センター
- ・国分寺地区（3箇所） 福家児童館・讃岐国分寺跡資料館・新居東児童館

香川図書館（仮称）開館時に、香川町の移動図書館サービスステーション、香南町の移動図書館サービスステーションは縮小

公民館の耐震化<まちづくり戦略プランに掲載>

社会教育課
事業費（計画額）：310万円

目的：

地域の拠点施設であり、災害時の避難所にも指定されている地区公民館のうち、昭和56年以前の旧耐震基準で建築されたものについて、耐震診断を行い、必要な耐震対策を実施し、住民の安全確保を図る。

事業の概要：

国分寺北部公民館、国分寺南部公民館の耐震診断

耐震診断実施スケジュール

年度	コミュニティセンター・地区公民館施設の耐震診断
18	9館（林、鬼無、木太、太田、円座、東植田の各コミュニティセンター、香南、国分寺北部、国分寺南部の各公民館）
19	8館（川岡、西植田、多肥、屋島、三谷の各コミュニティセンター、牟礼（いきいきセンターを含む）、浅野、川東の各公民館）

新成人祝賀講演会の開催

社会教育課
市全体事業費（計画額）：150万円

目的：

講演を通じて、次代を担う新成人に新たな視点づくりを促し、豊かな人間形成を目指す。

事業の概要：

平成19年高松市成人式において、新成人を対象に講演を行う。

開催日時 平成19年1月8日(月・成人の日)

開催会場 サポートホール高松大ホール

参加定員 1,500人

市営住宅の整備

住宅課

事業費(計画額): 4億4,100万円

目的:

施設や設備の老朽化が進んでいる改良住宅について、保健・福祉施策と連携し、計画的に改修、改善、建替えなどを進める。

事業の概要:

平成18年度

下向田団地の住宅建設(第2期)住宅建設8戸、除却住戸10戸整備

平成19年度

下向田団地の住宅建設(第3期)住宅建設8戸、除却住戸6戸整備

CATVの整備<まちづくり戦略プランに掲載>

広聴広報課

市全体事業費(計画額): 2億円

目的:

地域における総合的情報通信網として、CATV網の整備および合併地区へのエリア拡大を促進し、CATVによる市政情報の提供等情報通信機能の充実を図る。

事業の概要:

CATV関連施設整備事業に対する助成

- ・未整備合併地区へのエリア拡大

キーワード: CATV

光ファイバーケーブルなどを利用した特定地域対象の有線放送テレビ。自主制作を含む様々な番組を多チャンネルで放送する。ケーブルの有する大容量と双方向機能を活用し、放送と通信サービスを総合的に提供するメディアとして期待されている。(Cable Television)

電子市役所構築の推進<まちづくり戦略プランに掲載>

情報システム課

市全体事業費(計画額): 7,200万円

目的:

電子市役所構築により、市民サービスの拡充を図るとともに、市町合併による事務処理の増加や更なる事務の効率化・省力化に対応する。

事業の概要:

平成18年度

- ・電子調達(CALS/EC)システム稼働(電子入札)
- ・戸籍総合システム稼働(現在戸籍・附票)
- ・財務会計システム再構築(調査検討、仕様書作成)
- ・生涯学習情報システム再構築(かがわ電子自治体システムへの移行)

平成19年度

- ・戸籍総合システム稼働(除籍、改製原戸籍)
- ・財務会計システム再構築(システム開発)
- ・新生涯学習情報システム稼働(かがわ電子自治体システム内生涯学習施設予約部分)

平成20年度

- ・新財務会計システム稼働(予算編成)

讃岐国分寺跡資料館の運営

歴史資料館

事業費(計画額): 2,470万円

目的:

市民が身近に芸術・文化に親しむことができるよう、市民の自主的な活動を促進する拠点として、芸術・文化施設の整備や機能の充実を図る。

事業の概要:

「讃岐国分寺史跡まつり」、「ふるさと文化財探偵団/古代のお米を現代に再現しよう」など各種教育普及事業の実施

参 考 :



讃岐国分寺跡資料館

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費(計画額): 5億4,390万円
 (うち市全体の事業費(計画額): 5億2,090万円)

事業の概要:

自主防災組織等の結成促進(消防局予防課)

交通安全施設の整備(道路課)

自転車歩行者道、交差点改良、道路標識、区画線、防護柵、道路照明灯、視線誘導標、道路反射鏡、交差点案内標識などの整備

防犯灯の整備促進(市民生活課)

幼稚園の整備(教育部総務課)

国分寺南部幼稚園の給排水設備の改修

国分寺町文化施設(生涯学習センター)整備の検討(文化振興課)

生涯学習施設のあり方の検討

国分寺図書館資料の充実(中央図書館)

子どもの居場所づくりの推進(社会教育課)

子どもの居場所づくり指導者の養成、のびのび子どもプラザモデル事業の実施、子どもわくわく体験支援事業の実施

国分寺地区子ども会の育成(社会教育課)

校区子ども会への助成

国分寺青年会の支援（社会教育課）

国分寺青年会活動への助成

国分寺やっぴんまいスポレク事業の支援（社会教育課）

まなびCAN開設5年記念事業の開催（生涯学習センター）

町民運動会に対する助成（市民スポーツ課）

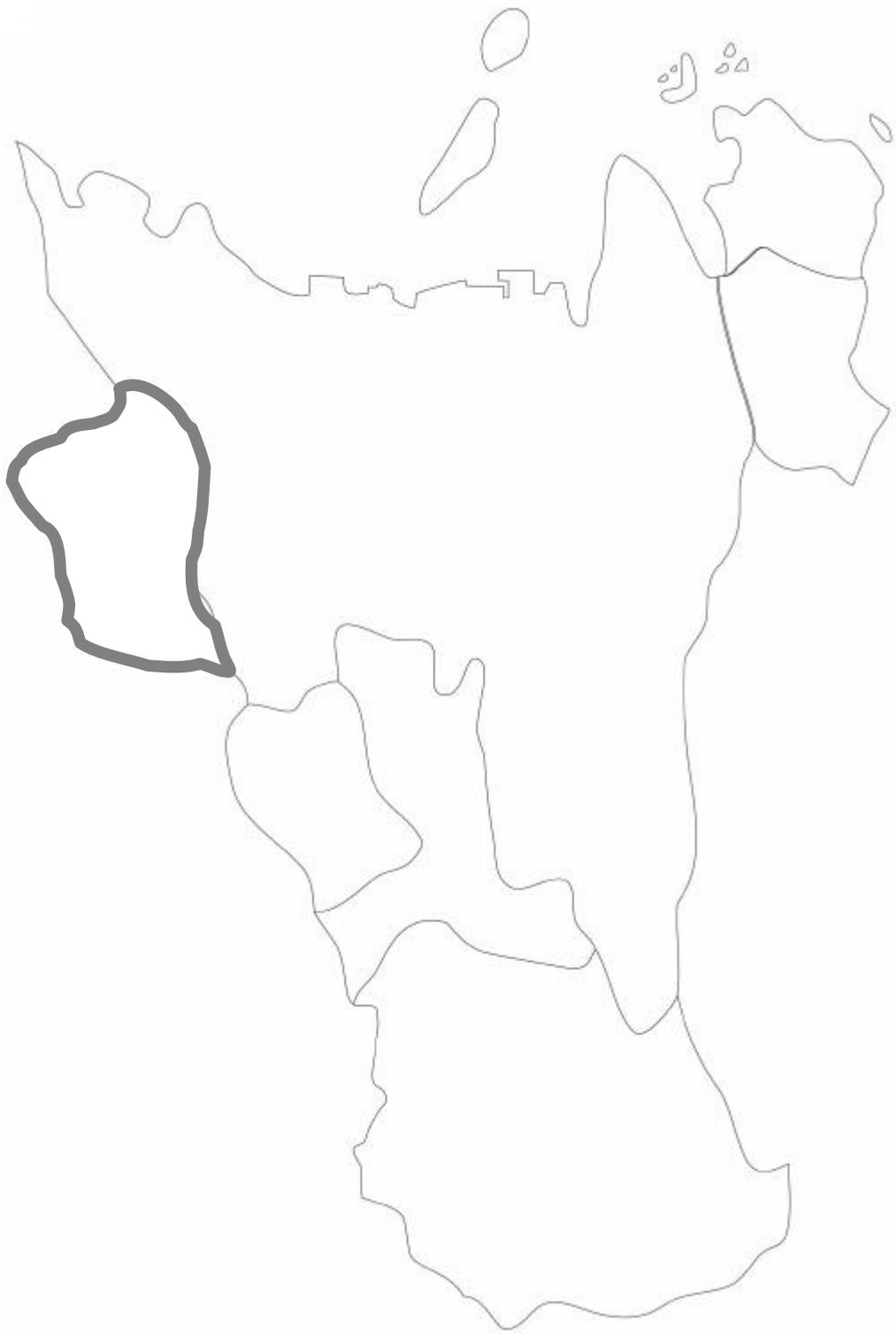
特別史跡讃岐国分寺跡・史跡国分尼寺跡の保存整備（文化振興課）

讃岐国分寺太鼓保存会活動の助成（文化振興課）

国分寺音の祭りの開催（文化振興課）

邦楽を中心とした夜間の野外コンサートの実施

地区文化祭の開催（文化振興課）



交流のまちづくり

国分寺地区は、ベッドタウンとして人口が急増し、農村的な町から都市近郊の田園住宅都市へと発展してきており、宅地化の進展や郊外型店舗の進出などによる農地の減少、兼業化などにより、農業の生産性は低下し、生産基盤の整備や経営体の育成、盆栽に次ぐ新たなブランド農産品の開発・育成などの課題への対応が求められている。

また、新しい都市型産業、農林業を基礎とした集客・交流産業などの起業化などへの対応も課題となっている。

このため、時代の変化に対応した産業の育成を図るとともに、これを支える利便性の高い交流基盤（交通・情報通信）の整備により、豊かな潜在力を生かした、高松の西の玄関にふさわしい活気あふれるまちの実現を目指し、交流のまちづくりを進める。

【 交流のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

（１）時代の変化に応える産業を育てるまちづくり

- ・農林業の振興
- ・商工業の振興
- ・コミュニティビジネス等の振興

（２）魅力ある観光・交流を育てるまちづくり

- ・観光・交流の振興
- ・観光振興イベントの開催

（３）広域的な交流を育てるまちづくり

- ・地域間交流の促進
- ・国際交流の促進と人材の育成

（４）利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり

- ・道路の整備
- ・公共交通の整備
- ・都市基盤の整備

市民農園の整備促進

農林水産課

庵治・香南・国分寺地区事業費（計画額）：930万円

目的：

遊休農地を活用し、都市住民にレクリエーションの場を提供し、農作業を通じて農業や農作物への理解を深めるとともに、交流を通じた地域農業の振興を図る。

事業の概要：

市民農園の維持管理、栽培講習会の開催、栽培指導など

特産品の情報発信イベントの開催

農林水産課

事業費（計画額）：520万円

目的：

全国的にも有名な盆栽や農産物をPRするために、展示・販売等で品質の秀逸さを示すことにより、地域の特産品の普及・発展に寄与する。

事業の概要：

盆栽やブドウなどのイメージアップやブランド化を進めるため、ブランド農産品の認証やグリーンフェスタ国分寺等各種イベントの開催、効果的な情報発信

香川型水田農業振興総合対策の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：1億2,800万円

目的：

国は平成19年度から、経営規模が4ha以上の認定農業者や20ha以上の集落営農などに施策を重点化・集中化し、展開しようとしている。小規模農家が大半である本市農業の現状を考慮して、農業従事者の高齢化・後継者不足等から作業の省力化・効率化を目指し、農業機械の共同利用の促進、さらには、農作業支援体制の確立による農業振興を図る。

事業の概要：

米改革推進リーダー支援事業

売れる米づくりや水田農業の望ましい生産構造の実現を図るため、米改革推進リーダーを設置し、調整活動などを実施する。

地域水田農業ビジョン実現総合支援事業

地域で策定された地域水田農業ビジョンの実現のために必要な条件整備に関する事業を実施する。

麦、大豆本作化推進事業

「さぬきの夢2000」の品質向上および作付け拡大を図る。

農作業支援システム導入促進事業

担い手の労働を補完する定植・出荷・調整作業や担い手が少ない地域での農作業受託の実施などに必要な農業機械等の整備を行う。

認定農業者の育成・確保の推進

農林水産課

市全体事業費（計画額）：180万円

目的：

認定農業者連絡協議会を通じて、経営改善指導や遊休地等土地利用集積による規模拡大を推進する。

事業の概要：

認定農業者の連携推進

高松市認定農業者連絡協議会を開催し、認定農業者相互の連絡を密にし、効率的かつ安定的な農業経営の改善を図る。

キーワード：認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づく制度で経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、基準に適合する農業者として市町から認定を受けた者

「高松産ごじまん品」生産・消費の促進<まちづくり戦略プランに掲載>

農林水産課

市全体事業費（計画額）：900万円

目的：

生活者と生産者のニーズなどに対応しながら、市内農産物の需要拡大と地産地消を図り、本市農業の活性化を推進する。

事業の概要：

平成18年度において、新たに合併地区の特産品を高松産ごじまん品に選定し、「たかまつ食と農のフェスタ」等により新市域の農業のPRを図る。

情報発信等推進事業

新ごじまん品の選定、ごじまん品リーフレットの作成、米の消費拡大等
生産者・消費者相互理解促進事業

たかまつ食と農のフェスタの開催、ごじまん品キャラクターの利用促進等消費者
と生産者の交流の推進

生産振興等対策事業

園芸塾の開催、米粉の利用拡大・定着化、新品目の実証圃・展示圃の設置
生産マニュアルの確立、加工品の普及等による生産振興の推進

観光振興計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

観光課

市全体事業費(計画額): 370万円

目的:

市町合併による、新しい市域の地理的優位性と多様な人的・物的観光資源を最大限に活用し、地域の個性や特色を生かすとともに、観光を取り巻く環境の変化に対応した持続可能な観光振興施策を展開するため、現行の観光振興計画に替えて、新しい観光振興計画を策定する。

事業の概要:

新しい本市観光振興計画を策定

環境の変化に対応し持続可能な観光振興を図ることができるよう、行政の過度の関与を控え、民間の自助努力を引き出していくことを基本的なコンセプトとする計画を策定(目標年次:平成29年度)

市道の整備

道路課

事業費(計画額): 1億4,000千円

目的:

国分寺地区における幅員が狭く、ネットワーク化が不十分な生活道路について、路側改良などによる拡幅や待避所の設置、1.5車線化などの整備を進め、地域住民の利便性の向上を図る。

事業の概要:

市道の改良事業

- ・子烏線道路改良 W = 5 m L = 約 500 m
- ・奥谷下線道路改良 W = 4 m L = 約 420 m

- 市道の舗装事業
 - ・道路打換舗装

L = 約 3,200 m

コミュニティバスの運行

都市計画課交通政策室
事業費（計画額）：3,120万円

目的：

路線バスが廃止された地区やバスが運行されていない地区において、コミュニティバス等を運行し、高齢者等交通弱者の足を確保する。

事業の概要：

- 国分寺町循環バス（平成12年5月から運行）
 - JR予讃線の端岡駅と国分駅、琴電岡本駅とのアクセスを担う循環バス路線を高齢者、児童・生徒等交通弱者の移動手段として維持するとともに、利便性の向上に努め、利用促進を図る

都市計画マスタープランの策定 <まちづくり戦略プランに掲載>

都市計画課
市全体事業費（計画額）：1,130万円

目的：

平成16年5月の線引き制度の廃止を含む新しい都市計画制度の施行や、合併による市域の拡大などを踏まえ、都市計画マスタープランの見直しを行い、土地利用などの基本方向を明らかにし、適正な土地利用の誘導を図る都市づくりの総合的な指針とする。

事業の概要：

- 都市計画マスタープランの修正
 - ・アンケート調査
 - ・地域別構想、全体構想の検討
 - ・対象範囲：都市計画区域

高松市都市計画区域

	旧高松市	牟礼地区	香川地区	香南地区	国分寺地区	合計
都計区域	161.95 km ²	16.48 km ²	20.36 km ²	14.72 km ²	26.25 km ²	239.76 km ²

キーワード：新しい土地利用コントロール制度

平成16年5月17日から都市計画法に基づく市街化区域・市街化調整区域を区分する制度（線引き制度）が廃止され、新しい土地利用コントロール制度が導入された。

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：4,970万円
（うち市全体事業費（計画額）：500万円）

事業の概要：

園芸産地の育成強化（農林水産課）

施設等の整備助成

松くい虫の防除（農林水産課）

中小企業指導団体等の助成（商工労政課）

商工会への助成、町タバコ販売協同組合への助成

国分寺町まつりの開催（観光課）

国分寺町冬のまつりの開催（観光課）

観光総合パンフレット（日・英）制作（観光課）

放置自転車対策の推進（交通安全対策課）

J R 端岡駅周辺の放置禁止区域での放置自転車撤去など

参加のまちづくり

地域の自立と主体的なまちづくりを進めるため、行政組織体制の効率化と健全な財政運営を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを確立し、住民一人ひとりが参画するまちづくりを進めることが重要な課題となっている。

このため、合併の効果を可能な限り発揮させるため、行財政改革を推進するとともに、住民と行政のパートナーシップを強化し、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めるよう、地域づくりをはじめ、福祉、環境、文化、スポーツ、観光、交流など、様々な分野におけるボランティア活動やNPO等に対する支援を行うほか、情報公開の推進や広聴広報活動の充実などにより、住民一人ひとりが参画するまちの実現を目指し、参加のまちづくりを進める。

【 参加のまちづくりとして進めていく施策の方向 】

- (1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり
 - ・行財政運営の効率化と支所等の機能整備
- (2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり
 - ・コミュニティ活動の支援
- (3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり
 - ・住民との協働の推進
 - ・情報公開の推進

合併記念各種イベントの開催<まちづくり戦略プランに掲載>

関係課

市全体事業費(計画額): 2億6,000万円

目的:

平成18年度の1年間を通じて、各種のイベントについて、「合併記念事業」として位置づけた取組みを行い、新しい市の一体感の醸成に資する。

事業の概要:

各イベントに「合併記念」の冠をつけて実施

合併記念各種イベント一覧表

実施月	事業名	担当課
4月	塩江さくらまつり	観光課
	さぬき高松ポンポコまつり	
4月~5月	歴史資料館収蔵品展「新たに仲間となりました」(仮称)	歴史資料館
	美術館「エミール・ガレとドーム兄弟展」	美術館
5月	フラワーフェスティバル・交通安全フェア	公園緑地課 交通安全対策課
	かがわ国際フェスタ2006	国際交流室
	暮らしをみなおす市民のつどい	市民生活課
	保育まつり	こども未来課
	50歳以上男子ファーストピッチソフトボール大会	市民スポーツ課
5~6月	石のさとフェスティバル	文化振興課
6月	ほたるの里フォトコンテスト写真公募展	美術館
	塩江ホテルまつり	観光課
	水道週間行事	水道局
	さわやかママさんバレーボール大会	市民スポーツ課
6~7月	アーツフェスタたかまつ2006	文化振興課
7月	外国人のど自慢・お国自慢交流大会	国際交流室
	福祉のつどい	障害福祉課
	国分寺いん石20周年展(仮称)	市民文化センター
	市民遠泳大会	市民スポーツ課
7~9月	屋島山上石あかりロード(仮称)	観光課
8月	高松まつり	
	塩江温泉まつり	
	ボン・フェスティバルIN香南	
	国分寺町まつり	
	高松市子ども会フットベースボール大会	社会教育課
8~9月	牟礼石あかりロード	観光課
9月	健康まつり	保健センター
	高松市合併ふれあい展	美術館
9~11月	市民スポーツフェスティバル	市民スポーツ課

実施月	事業名	担当課
10月	音のまつり	文化振興課
	高松秋のまつり	観光課
	仏生山竹あかりロード	
	義経・与一合同サミット	
	グリーンフェスタ国分寺盆栽まつり	農林水産課
	ファミリーマラソン in Aji	市民スポーツ課
	合併企画展	歴史資料館
10～11月	菊池寛記念館文学展「愛の手紙」(仮称)	菊池寛記念館
11月	男女共同参画フェスティバル	女性センター
	塩江もみじまつり	観光課
	農産品まつり	農林水産課
	平和記念室収蔵品巡回展	市民文化センター
	健脚大会	市民スポーツ課
	さわやかママさんソフトボール大会	
	60歳以上男子スローピッチソフトボール大会	
	まなびCAN開設5年記念事業	生涯学習センター
	美術館コレクション展	美術館
11～1月	高松冬のまつり	観光課
12月	元気ハツラツドッジボール大会	市民スポーツ課
	国分寺町冬のまつり	観光課
1月	新成人祝賀講演会	社会教育課
	まちづくり講演会	市民生活課
2月	新春子どもフェスティバル	社会教育課
	校区別混成ソフトバレーボール大会	市民スポーツ課
	たかまつ食と農のフェスタ	農林水産課
3月	塩江温泉竹あかりのみち	観光課
通年	サンポートにぎわいづくりイベント	

上記以外のイベントについても、随時、合併記念イベントに位置づけて実施するものとする。

合併記念市民交流・地域間交流事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,840万円

目的:

合併後の新しい市において、速やかな地域の一体化と融合を図るため、旧高松市や合併地区のそれぞれの市民が、新しい市の各地域の特色ある施設や地域資源を知るとともに、地域性のあるまつりにおけるイベントへの参加を通じてふれあうことにより、市民の一体感を醸成することを目的として合併記念市民交流・地域間交流事業を実施する。

事業の概要：

一体感醸成イベントの実施

旧高松市および合併地区における比較的規模の大きい“まつり”において、まつりの会場の一画を利用し、まつりのプログラムと関連づけながら、市民の一体感を醸成するイベント（プログラム）を付加して実施する。

最初のまつりとなる「フラワーフェスティバル・交通安全フェア」において、交流事業スタートイベントを実施する。

対象のまつりおよび開催月

名 称	地区名	開催月
フラワーフェスティバル・交通安全フェア	旧高松	5月
石のさとフェスティバル	庵治	6月
塩江ホテルまつり	塩江	6月
アーツフェスタたかまつ2006	旧高松	7月
ボン・フェスティバルIn香南	香南	8月
塩江温泉まつり	塩江	8月
牟礼石あかりロード	牟礼	9月
ひょうげまつり	香川	9月
高松秋のまつり	旧高松	10月
音のまつり	国分寺	10月

合併記念巡回ふれあいバスツアーの運行

各地域の特色ある施設やまつりなどを巡るバスツアーを運行する。

実施月

6月から11月までの6か月間

回数と対象

月2回実施する。集合地を2か所設けて、各回2台で運行する。訪問する地域ごとの一般ツアーと、特定のジャンルの施設等を巡る特別ツアーを運行する。

訪問見学場所

各地域の特色ある自然・歴史・文化・産業などに関連する施設、スポット、地域に根ざした“まつり”、休憩施設など

合併一周年記念事業の実施<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費（計画額）：160万円

目 的：

市民の企画提案により、市全域の市民参加による合併一周年を祝う記念事業を実施する。

事業の概要：

- 市民から企画提案を募集
- 市民による実行委員会で運営
- 実施時期：1～2月ごろ

新しい総合計画の策定<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課

市全体事業費(計画額): 1,000万円

目的：

近隣町との合併による新しい高松市の誕生に伴い、新たな市域における主体的かつ計画的なまちづくりのための根幹的指針として、新しい総合計画を策定する。

策定に当たっては、現行の総合計画や合併地区の建設計画(合併基本計画)を踏まえながら、時代の潮流や国の動向、厳しい財政環境、新しい行政課題への対応、さらには市民の意見を反映する中で、成果主義に基づいた政策評価の考え方を取り入れながら、より戦略的な計画の策定を目指す。

事業の概要：

- 平成18年度 策定要綱の制定
 - まちづくり100人委員会の設置
 - 市民意識調査の実施(合併地区)
 - 地区別まちづくり計画基礎調査の実施
 - 市民提言の募集 など
- 平成19年度 たかまつタウンミーティングの開催
 - 基本構想原案作成
 - 総合計画審議会設置・開催
 - パブリックコメントの実施
 - 基本構想の議決
 - 主要事業計画策定 など

行財政改革の推進(行財政改革計画の策定、行政評価システムの構築)
<まちづくり戦略プランに掲載>

企画課行政改革推進室

市全体事業費(計画額): 60万円

目的：

厳しい行財政環境、地方分権の進展、市町合併後の対応、少子高齢社会の到来、高度情報化の進展、市民の市政への参画意識の高まり等、本市を取り巻く状況に対応し、中

核市にふさわしい行財政システムの確立を目指し、次期行財政改革計画を策定する。

また、総合計画の進行管理と行政評価を同一のシステムで行い、「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルの確立を目指すとともに、財務会計システムとの連携および調書作成作業の省力化・効率化を図ることにより、政策・施策・事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性を向上させる。

事業の概要：

次期行財政改革計画の策定

- ・平成18年度に、平成19年度を計画期間の始期とする次期行財政改革計画を策定
- 行政評価システムの構築
- ・新たに策定する総合計画と連動させ、既の実施している事務事業評価に加え、施策評価・政策評価に発展させることにより、一体的な行政評価システムを構築する。「計画・実施・評価・改善」の評価サイクルを確立することにより、政策・施策や事務事業の成果を市民にわかりやすい形で評価・公表し、行政運営の透明性の向上を図る。

自治会組織の充実とコミュニティづくり

市民生活課

市全体事業費（計画額）：1億5,200万円

目的：

多様化する地域課題の解決に、地域の多様な人々が自らの問題として積極的にかかわり、主体的に参加し、選択・決定するという、地域みずからのまちづくりを推進する。

そのため、それぞれの地域で培われてきた歴史、文化、個性などをいかし、地域活動の基盤となる自治会組織の強化を図るとともに、自治会を中心に、各種の地域団体、NPO、企業等が連携する地域コミュニティ組織の構築を促進する。

事業の概要：

自治会活動補助金や自治会加入・結成奨励に対する助成

地域コミュニティ構築の支援

自治会等各種団体と連携し、人材養成事業、地域ふれあい交流事業を実施

重点取組み事項関連事業の推進

関係課

事業費（計画額）：3,100万円

（うち市全体事業費（計画額）：2,900万円）

事業の概要：

地域審議会の開催（市民生活課）

NPOとの協働の推進（市民生活課）

協働企画提案事業、ボランティア・市民活動センター管理運営委託など
情報公開制度および個人情報保護制度の推進（庶務課）